

平成 28 年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
平成 28 年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	6
(4) 都市計画税の使途	8
(5) 全会計市債等現在高	8
(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障 4 経費 その他社会保障施策に要する経費	9
(7) 平成 28 年度 普通会計決算状況調書	10

部門別決算成果概要

1 市長公室	12
2 政策経営部	20
3 総務部	27
4 市民環境部	35
5 福祉こども部	78
6 健康長寿部	116
7 建設部	150
8 都市整備部	163
9 教育部	181
10 消防本部	222
11 その他	226
議会事務局	226
選挙管理委員会事務局	227
監査委員事務局	229
公平委員会事務局	229
固定資産評価審査委員会事務局	230
農業委員会事務局	231
12 用品調達基金運用状況表	232

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模並びに総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、平成28年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

平成28年度の決算概要

平成28年度各会計歳入歳出決算の状況は、(1)各会計決算額のとおりとなっている。

また、平成28年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から1億1,351万9千円（△0.5%）の減額となった。各種交付金は、地方消費税交付金や株式等譲渡所得割交付金の減少などにより、前年度から5億7,459万6千円（△13.3%）の減額となった。また、繰入金は、財政調整基金を3億円繰り入れたことなどにより、今年度は4億2,619万3千円（117.4%）の増額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、民生費が臨時福祉給付金給付事業や障害者介護給付費などにより、4億6,127万6千円（1.7%）、教育費が小・中学校大規模改造事業や（仮）宇治川太閤堤跡歴史公園史跡ゾーン整備事業などにより、5億324万円（9.1%）の増額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、退職手当などの影響により前年度から3億6,265万2千円（△3.1%）の減額、扶助費は、前年度から3億9,707万7千円（2.2%）の増額、公債費は、前年度から2億4,479万1千円（4.5%）の増額となり、義務的経費全体で、前年度から2億7,921万6千円（0.8%）の増額となった。なお、小・中学校大規模改造事業や自転車等駐車場整備事業などの影響により、普通建設事業費は、前年度から12億5,572万7千円（33.3%）の増額、災害復旧事業費は、前年度から9,961万1千円（△78.3%）の減額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成28年度	61,724,666	61,356,380	368,286	130,849	237,437	△ 39,559
	平成27年度	60,984,890	60,582,265	402,625	125,629	276,996	△ 15,129
	差引	739,776	774,115	△ 34,339	5,220	△ 39,559	△ 24,430
国民健康保険 事業特別会計	平成28年度	23,618,854	22,787,738	831,116	0	831,116	414,983
	平成27年度	23,650,505	23,234,372	416,133	0	416,133	△ 67,265
	差引	△ 31,651	△ 446,634	414,983	0	414,983	482,248
後期高齢者医療 事業特別会計	平成28年度	2,479,665	2,468,844	10,821	0	10,821	△ 932
	平成27年度	2,285,359	2,273,606	11,753	0	11,753	△ 913
	差引	194,306	195,238	△ 932	0	△ 932	△ 19
介護保険事業 特別会計	平成28年度	13,464,326	13,052,687	411,639	0	411,639	65,172
	平成27年度	13,121,949	12,775,482	346,467	0	346,467	△ 141,923
	差引	342,377	277,205	65,172	0	65,172	207,095
墓地公園事業 特別会計	平成28年度	36,605	36,605	0	0	0	0
	平成27年度	37,633	37,633	0	0	0	0
	差引	△ 1,028	△ 1,028	0	0	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	平成28年度	3,863,087	3,452,960	410,127			
	平成27年度	3,439,070	3,276,021	163,049			
	差引	424,017	176,939	247,078			
水道事業会計 (資本的収支)	平成28年度	970,543	1,719,431	△ 748,888			
	平成27年度	831,099	1,368,097	△ 536,998			
	差引	139,444	351,334	△ 211,890			
公共下水道 事業会計 (収益的収支)	平成28年度	5,407,427	5,255,750	151,677			
	平成27年度	5,172,274	5,172,329	△ 55			
	差引	235,153	83,421	151,732			
公共下水道 事業会計 (資本的収支)	平成28年度	3,286,322	4,848,374	△ 1,562,052			
	平成27年度	4,865,831	6,195,595	△ 1,329,764			
	差引	△ 1,579,509	△ 1,347,221	△ 232,288			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	28年度決算額 (千円)	構成比 (%)	27年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	23,212,561	37.7	23,326,080	38.4	△ 113,519	△ 0.5
うち個人市民税	9,773,698	15.9	9,724,215	16.0	49,483	0.5
うち法人市民税	1,088,946	1.8	1,466,165	2.4	△ 377,219	△ 25.7
うち固定資産税	9,420,685	15.3	9,214,201	15.2	206,484	2.2
地方譲与税	339,623	0.5	351,027	0.6	△ 11,404	△ 3.2
利子割交付金	42,155	0.1	68,847	0.1	△ 26,692	△ 38.8
配当割交付金	137,036	0.2	204,709	0.3	△ 67,673	△ 33.1
株式等譲渡所得割交付金	80,339	0.1	198,557	0.3	△ 118,218	△ 59.5
地方消費税交付金	3,135,847	5.1	3,477,480	5.7	△ 341,633	△ 9.8
ゴルフ場利用税交付金	33,713	0.1	33,355	0.1	358	1.1
自動車取得税交付金	109,610	0.2	103,192	0.2	6,418	6.2
地方特例交付金	103,201	0.2	128,859	0.2	△ 25,658	△ 19.9
地方交付税	6,598,378	10.7	6,722,160	11.1	△ 123,782	△ 1.8
普通交付税	6,235,728	10.1	6,355,461	10.5	△ 119,733	△ 1.9
特別交付税	362,650	0.6	366,699	0.6	△ 4,049	△ 1.1
交通安全対策特別交付金	27,976	0.1	29,475	0.1	△ 1,499	△ 5.1
分担金及び負担金	550,308	0.9	833,451	1.4	△ 283,143	△ 34.0
使用料	1,312,643	2.1	1,323,777	2.2	△ 11,134	△ 0.8
手数料	128,657	0.2	130,714	0.2	△ 2,057	△ 1.6
国庫支出金	12,053,193	19.6	11,156,846	18.4	896,347	8.0
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	66,094	0.1	66,093	0.1	1	0.0
府支出金	4,613,145	7.5	4,523,811	7.5	89,334	2.0
財産収入	92,778	0.1	64,747	0.1	28,031	43.3
寄付金	160,351	0.3	129,131	0.2	31,220	24.2
繰入金	789,323	1.3	363,130	0.6	426,193	117.4
繰越金	402,625	0.7	450,605	0.7	△ 47,980	△ 10.6
諸収入	2,719,381	4.4	2,731,946	4.5	△ 12,565	△ 0.5
地方債	4,800,400	7.8	4,268,500	7.0	531,900	12.5
うち臨時財政対策債	2,313,000	3.8	2,953,100	4.9	△ 640,100	△ 21.7
歳入合計	61,509,337	100.0	60,686,492	100.0	822,845	1.4
うち一般財源等	38,344,780	62.3	39,233,384	64.6	△ 888,604	△ 2.3
うち経常一般財源等	32,250,137	52.4	33,087,606	54.5	△ 837,469	△ 2.5

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	28年度決算額 (千円)	構成比 (%)	27年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	436,610	0.7	468,745	0.8	△ 32,135	△ 6.9
総務費	4,668,895	7.6	4,962,431	8.2	△ 293,536	△ 5.9
民生費	28,003,104	45.8	27,541,828	45.7	461,276	1.7
衛生費	4,390,475	7.2	4,345,855	7.2	44,620	1.0
労働費	49,212	0.1	89,568	0.1	△ 40,356	△ 45.1
農林水産業費	353,031	0.6	282,093	0.5	70,938	25.1
商工費	1,836,204	3.0	2,018,727	3.3	△ 182,523	△ 9.0
土木費	7,467,742	12.2	7,376,134	12.2	91,608	1.2
消防費	2,186,980	3.6	2,098,108	3.5	88,872	4.2
教育費	6,020,295	9.8	5,517,055	9.2	503,240	9.1
災害復旧費	27,602	0.1	127,213	0.2	△ 99,611	△ 78.3
公債費	5,700,901	9.3	5,456,110	9.1	244,791	4.5
歳出合計	61,141,051	100.0	60,283,867	100.0	857,184	1.4

性質別決算状況

	28年度決算額 (千円)	構成比 (%)	27年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	11,410,534	18.6	11,773,186	19.5	△ 362,652	△ 3.1
物件費	5,869,930	9.6	5,945,522	9.9	△ 75,592	△ 1.3
維持補修費	718,364	1.2	743,526	1.2	△ 25,162	△ 3.4
扶助費	18,139,990	29.7	17,742,913	29.4	397,077	2.2
補助費等	5,668,816	9.3	5,698,567	9.4	△ 29,751	△ 0.5
公債費	5,700,901	9.3	5,456,110	9.1	244,791	4.5
積立金	174,522	0.3	304,564	0.5	△ 130,042	△ 42.7
投資及び出資金	421,829	0.7	876,799	1.5	△ 454,970	△ 51.9
貸付金	2,384,883	3.9	2,373,665	3.9	11,218	0.5
繰出金	5,592,991	9.1	5,466,840	9.1	126,151	2.3
普通建設事業費	5,030,689	8.2	3,774,962	6.3	1,255,727	33.3
災害復旧事業費	27,602	0.1	127,213	0.2	△ 99,611	△ 78.3
歳出合計	61,141,051	100.0	60,283,867	100.0	857,184	1.4
うち義務的経費	35,251,425	57.7	34,972,209	58.0	279,216	0.8
経常的経費	49,830,144	81.5	49,774,230	82.6	55,914	0.1

ウ 財政構造

平成 28 年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去 3 カ年平均）は 0.755（27 年度 0.746）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は 0.7%（27 年度 0.8%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は 98.8%（27 年度 94.8%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は 93.3%（27 年度 94.9%）

エ 基金現在高

基金全体の平成 28 年度末現在高（普通会計）は、74 億 4,860 万 9 千円で、前年度から 5 億 6,603 万 5 千円の減額となった。繰入については、財政調整基金を 3 億円繰り入れた。一方、積立については、財政調整基金に 1,564 万 8 千円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に 1 億 492 万 6 千円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は 14 億 3,548 万 4 千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
財政調整基金	300,000	財源対策	300,000
公共施設等整備基金	105,100	排水路改良事業	23,400
		黄檗公園再整備事業	31,700
		消防機械器具整備事業	50,000
減債基金	330,000	財源対策	330,000
国際交流基金	184	カムループス市交流促進事業	184
文化事業基金	2,031	文化センター文化事業補助金	2,031
地域福祉振興基金	3,116	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	3,116
社会福祉事業基金	622	在宅要援護老人対策事業	622
福祉基金	12,648	社会福祉施設等振興備品配付事業	12,648
母子福祉基金	90	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	90
玉井高齢者福祉事業基金	155	在宅要援護老人対策事業	155
高齢者活動基金	749	高齢者活動事業	599
		生涯学習センター高齢者活動事業	150
篤志者奨学基金	79	奨学資金貸与	79
国際ソロプチミスト宇治 交通遺児奨学基金	20	交通遺児激励事業	20
スポーツ振興基金	4,065	スポーツ振興基金活用事業	3,987
		全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	78
中小企業振興基金	491	中小企業振興対策事業	491
大気質測定基金	9,379	自動車排出ガス監視測定局運営事業	9,379
交通安全事業基金	179	交通安全対策事業	179
火災予防等事業基金	384	火災予防等事業基金活用事業	384
ふるさと応援基金	3,000	源氏ろまん事業	1,000
		高品質茶推進事業補助金	1,000
		名勝指定検討事業	1,000
図書館図書等整備基金	1,992	図書館資料提供事業	1,992
合計	774,284		

オ 地方債現在高

平成 28 年度末における地方債の現在高は 445 億 1,489 万 9 千円となり、前年度から 4 億 8,526 万 3 千円の減少となった。発行額は、一般債が 23 億 6,220 万円、臨時財政対策債及び減収補てん債の特例債が 24 億 3,820 万円で、総額 48 億 40 万円となり、前年度から 5 億 3,190 万円の増額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成 19 年 6 月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成 19 年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の 4 つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業、簡易水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4 つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第 5 条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	28年度 決算	27年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.62%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標（一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率）
連結実質赤字 比率	—	—	16.62%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標（全会計の赤字の標準財政規模に対する比率）
実質公債費比率	2.1%	2.1%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率）
将来負担比率	—	—	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示している。

※ 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	28年度決算	27年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0%
公共下水道事業会計	—	—	20.0%

※ 資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「—」で表示している。

(4) 都市計画税の使途

平成 28 年度に実施した都市計画税充当対象事業費 23 億 9,084 万円（下水道事業含む）に対して、都市計画税 16 億 6,389 万 7 千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	府営事業負担金	3,360
下水道事業	下水道事業	430,256
その他事業	名木川改修 他	23,383
公債費（下水道事業分含む）		1,206,898
合 計		1,663,897

(5) 全会計市債等現在高

	28 年度末 (千円)	27 年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	92,675,527	93,167,524	△491,997	△0.5
一般会計	45,213,265	45,731,849	△518,584	△1.1
墓地公園事業特別会計	27,256	37,887	△10,631	△28.1
水道事業会計	5,535,608	5,429,811	105,797	1.9
公共下水道事業会計	41,899,398	41,967,977	△68,579	△0.2

(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

平成28年度一般会計における社会保障施策経費への充当状況については、次のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金（社会保障財源化分） 1,397,536千円

【歳出】社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 19,275,458千円

＜社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費＞ (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国府支出金	市債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	生活保護事業	2,310,092	1,838,598	0	4,325	64,107	403,062
	児童福祉事業	8,691,894	4,517,013	0	734,564	472,093	2,968,224
	母子福祉事業	2,891	0	0	671	305	1,915
	高齢者福祉事業	310,213	698	0	29,054	38,486	241,975
	障害者福祉事業	153,925	5,965	0	271	20,266	127,423
	その他社会福祉事業	163,883	14,561	0	13,626	18,621	117,075
	小計	11,632,898	6,376,835	0	782,511	613,878	3,859,674
社会保険	国民健康保険事業	1,706,628	931,984	0	0	106,299	668,345
	後期高齢医療事業	2,065,092	261,190	0	0	247,538	1,556,364
	介護保険事業	1,788,800	0	0	0	245,466	1,543,334
	小計	5,560,520	1,193,174	0	0	599,303	3,768,043
保健衛生	母子保健事業	507,337	136,052	0	2,882	50,554	317,849
	高齢者医療事業	231,839	119,254	0	2,326	15,130	95,129
	障害者医療事業	754,558	436,389	0	1,073	43,513	273,583
	疾病予防対策事業	423,942	582	0	1,974	57,824	363,562
	健康増進対策事業	95,618	0	0	7,760	12,056	75,802
	その他保健事業	68,746	1,070	0	29,213	5,278	33,185
	小計	2,082,040	693,347	0	45,228	184,355	1,159,110
合計	19,275,458	8,263,356	0	827,739	1,397,536	8,786,827	

※ 地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

(7) 平成28年度 普通会計決算状況調査

262048	宇治市			
市町村類型	IV - 1			
交付税種地	I - 5			
産業構造	区分	第1次	第2次	第3次
	27国調	574人	19,292人	55,354人
		0.8%	25.6%	73.6%
	22国調	496人	20,332人	55,538人
		0.6%	26.6%	72.7%

(単位:千円)

人口	国調	27年	184,678人	△2.6%	面積	67.54km ²		
		22年	189,609人	0.0%		人口密度	27国調	2,734人/km ²
		17年	189,591人	0.3%			22国調	2,807人/km ²
	住基	H29.1.1	188,674人	△0.5%	人口集中地区人口	27国調	180,546人	
		H28.1.1	189,623人	△0.6%		22国調	185,499人	
		H27.1.1	190,856人	△0.5%		世帯数	H29.1.1	82,628世帯

区分		平成28年度	平成27年度	増減率	区分		平成28年度	平成27年度	
歳入総額	A	61,509,337	60,686,492	1.4%	財政力指数(単年/3力年)	0.765	0.755	0.758	0.746
歳出総額	B	61,141,051	60,283,867	1.4%	歳出決算倍率	1.769		1.730	
歳入歳出差引(A-B)	C	368,286	402,625	△8.5%	実質収支比率	0.7 %		0.8 %	
翌年度に繰り越すべき財源	D	130,849	125,629	4.2%	経常一財等比率	93.3 %		94.9 %	
実質収支(C-D)	E	237,437	276,996	△14.3%	公債費負担比率	14.2 %		13.2 %	
単年度収支	F	△ 39,559	△ 16,216	△144.0%	公債費比率(単年/3力年)	8.3%	8.0%	8.1%	7.9%
積立金	G	3,438	160,833	△97.9%	起債制限比率(単年/3力年)	6.8%	6.2%	6.2%	5.9%
繰上償還金	H	0	0	-	地方債残高比率	128.8 %		129.1 %	
積立金取崩し額	I	300,000	0	皆増	実質債務残高比率	141.8 %		138.7 %	
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	△ 336,121	144,617	△332.4%	経常収支比率	98.8 %		94.8 %	
基準財政収入額		20,381,830	20,080,313	1.5%	経常収支比率(臨財・減税除)	106.3 %		103.2 %	
基準財政需要額		26,639,473	26,477,521	0.6%	健全化判断比率	平成28年度		平成27年度	
標準税収入額等		26,006,154	25,546,922	1.8%	実質赤字比率	-		-	
標準財政規模		34,554,893	34,855,596	△0.9%	連結実質赤字比率	-		-	
地方債現在高		44,514,899	45,000,162	△1.1%	実質公債費比率(単年/3力年)	2.3%	2.1%	2.0%	2.1%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		4,483,186	3,361,186	33.4%	将来負担比率	-		-	

一般職の状況(H29.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし	
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	京都府衛生管理組合 淀川木津川水防事務組合 京都府自治会館管理組合 京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合 京都府後期高齢者医療広域連合 京都地方税機構
一般職員	39.00 歳	835 人	307,446 円	市長	1,021,250 円	H29.2.1より		
教育公務員	44.25 歳	33 人	341,484 円	副市長	850,250 円	〃		
消防関係職員	39.08 歳	207 人	337,695 円	教育長	745,750 円	〃		
技能労務職員	42.42 歳	191 人	324,285 円	議長	635,000 円	H15.12.1より		
臨時職員	-	-	-	副議長	585,000 円	〃		
合計	39.67 歳	1,266 人	315,820 円	議員	535,000 円	〃		
ラスパイレース指数(H28.4.1)			103.7					

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	2,494,935	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
22,408,077	4,949,136	10,162,400	減債	1,652,245	国保特会	23,618,854	22,787,738	1,708,048
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,435,484	後期高齢特会	2,479,665	2,468,844	474,161
0	6,995,286	44,514,899	退職手当	11,502	介護特会	13,464,326	13,052,687	1,863,524
減収補てん債		臨時財政対策債	その他	3,289,927				
発行額	310,400	発行額	2,313,000	合計	8,884,093			

(単位:千円・%)

歳入						歳出(性質別)							
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比		区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常収支比率		
地方税	23,212,561	37.7	21,548,664	66.8		人件費	11,410,534	18.6	10,413,208	10,233,437	29.5		
地方譲与税	339,623	0.5	339,623	1.1		うち職員給	8,178,823	13.4	7,441,981	7,351,523	21.2		
利子割交付金	42,155	0.1	42,155	0.1		扶助費	18,139,990	29.7	5,510,350	5,417,420	15.6		
配当割交付金	137,036	0.2	137,036	0.4		公債費	5,700,901	9.3	5,458,909	5,458,909	15.7		
株式等譲渡所得割交付金	80,339	0.1	80,339	0.3		元利償還金	5,663,865	9.3	5,421,873	5,421,873	15.6		
地方消費税交付金	3,135,847	5.1	3,135,847	9.7		一借利子	37,036	0.1	37,036	37,036	0.1		
ゴルフ場利用税交付金	33,713	0.1	33,713	0.1		(義務的経費計)	35,251,425	57.6	21,382,467	21,109,766	60.8		
特別地方消費税交付金	0	0.0	0	0.0		物件費	5,869,930	9.6	4,774,047	4,293,607	12.4		
自動車取得税交付金	109,610	0.2	109,610	0.4		維持補修費	718,364	1.2	681,950	681,950	2.0		
地方特例交付金	103,201	0.2	103,201	0.3		補助費等	5,668,816	9.3	5,255,410	3,817,714	11.0		
地方交付税	6,598,378	10.7	6,235,728	19.3		うち一組負担金	1,838,084	3.0	1,838,084	1,220,675	3.5		
普通交付税	6,235,728	10.1	6,235,728	19.3		積立金	174,522	0.3	97,540	-	-		
特別交付税	362,650	0.6	-	-		投・出・貸付金	2,806,712	4.6	350,900	46,201	0.1		
小計	33,792,463	54.9	31,765,916	98.5		繰入金	5,592,991	9.1	4,374,807	4,336,218	12.5		
交通安全対策特別交付金	27,976	0.1	27,976	0.1		前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額			
分担金及び負担金	550,308	0.9	0	0.0		投資的経費	5,058,291	8.3	1,059,373	38,344,780			
使用料	1,312,643	2.1	356,996	1.1		うち人件費	64,890	0.1	46,850	経常一般財源等			
手数料	128,657	0.2	0	0.0		普通建設	5,030,689	8.2	1,056,571	32,250,137			
国庫支出金	12,053,193	19.6	-	-		補助	2,602,747	4.2	97,038	臨時一般財源等			
国有提供施設等交付金	66,094	0.1	66,094	0.2		単独	2,361,173	3.9	951,064	6,094,643			
府支出金	4,613,145	7.5	-	-		府営事業負担金	66,769	0.1	8,469	経常経費充当一財等			
財産収入	92,778	0.1	26,673	0.1		災害復旧	27,602	0.1	2,802	34,285,456			
寄付金	160,351	0.3	-	-		歳出合計	61,141,051	100.0	37,976,494				
繰入金	789,323	1.3	-	-		歳出(目的別)							
繰越金	402,625	0.7	-	-		区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等			
諸収入	2,719,381	4.4	6,482	0.0		議会費	436,610	0.7	0	436,610			
地方債	4,800,400	7.8	-	-		総務費	4,668,895	7.6	395,013	3,773,266			
歳入合計	61,509,337	100.0	32,250,137	100.0		民生費	28,003,104	45.8	173,828	13,205,481			
市町村税の状況						衛生費	4,390,475	7.2	49,643	4,049,782			
						労働費	49,212	0.1	0	18,639			
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	353,031	0.6	80,132	231,463		
	市民税	個人均等割	293,537	1.3	0.3	293,543	-	商工費	1,836,204	3.0	23,274	394,975	
		所得割	9,480,161	40.8	0.5	9,893,929	-	土木費	7,467,742	12.2	2,337,362	4,257,852	
		法人均等割	371,554	1.6	2.3	325,872	61,367	消防費	2,186,980	3.6	223,559	2,010,977	
		法人税割	717,392	3.1	△ 35.0	1,004,488	141,815	教育費	6,020,295	9.8	1,747,878	4,135,738	
	固定資産税	9,420,685	40.6	2.2	9,135,963	-	災害復旧費	27,602	0.1	-	2,802		
	うち純固定資産税	9,312,667	40.1	2.2	-	-	公債費	5,700,901	9.3	-	5,458,909		
	軽自動車税	279,226	1.2	22.7	307,869	-	諸支出金	0	0.0	0	0		
	市町村たばこ税	986,109	4.2	△ 5.7	995,344	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0		
	特別土地保有税	0	0.0	皆減	-	-	合計	61,141,051	100.0	5,030,689	37,976,494		
計	21,548,664	92.8	△ 0.6	21,957,008	203,182	市税収入率							
目的税	都市計画税	1,663,897	7.2	0.9	-	-	うち市民税	うち資産税		合計			
	計	1,663,897	7.2	0.9	-	-	現年	98.84%	98.73%	98.81%			
合計	23,212,561	100.0	△ 0.5	21,957,008	203,182	合計	95.93%	95.91%	96.04%				

部門別決算成果概要

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市長公室	
中分類	01 住民自治の推進		
小分類	02 市民参画・協働の推進		
事務事業名	市民と市長の対話ミーティング事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	76千円
事業内容	市民と市長の対話を通し市民参画・協働を推進するとともに地域力の向上を図ることにより、新しい宇治に向けたまちづくりを推進する。		
成果・実績	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>開催状況</p> <p>第13回 テーマ 住みなれた地域で生活していくために ～だれもがいきいきと暮らせるまちを目指して～</p> <p>日 時 6月4日（土）午後2時～4時30分 場 所 東宇治地域福祉センター</p> <p>第14回 テーマ 食育の推進で健康長寿日本一を 日 時 9月3日（土）午後1時～2時10分 場 所 南宇治コミュニティセンター</p>		
事業評価	各分野で活動している市民と活発な議論を行うことにより、市民参画・協働の推進及び地域力向上を図ることができた。今後も様々な分野の市民意見を市政に反映させるように努めるとともに、取組のあり方について検討していく必要がある。		



総合計画の体系		所管部局	
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室	
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実		
小分類	02 広報・広聴活動の充実		
事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	24,202千円
事業内容	コミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアであり、その特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。また、災害時において、有効な情報伝達媒体として市民に発信することができる。		
成果・実績	エフエム宇治放送を活用し、市政情報を伝える番組を月曜日から金曜日まで毎日30分間流したほか、環境問題及び男女共同参画などの啓発スポット放送を流した。平成28年9月の台風16号接近時等には、災害時の情報伝達媒体としてその役割を果たした。		
事業評価	市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送を活用することにより、市民に広く市政情報の発信ができた。今後も引き続き放送内容の充実、より効果的な災害時の対応などを検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	市政だより発行費	所管課	秘書広報課						
		決算額	23,644千円						
事業内容	市政に関することを市民に知らせるため、広報紙「宇治市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。								
成果・実績	<p>写真及びイラストを活用し、見やすくわかりやすい市政情報の提供に取り組んだ。ポスティングにより、市内全戸へ配布している。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">年間発行部数</td> <td style="text-align: right;">1,963,200部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ポスティング配布部数</td> <td style="text-align: right;">1,950,607部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">12,593部</td> </tr> </table>			年間発行部数	1,963,200部	ポスティング配布部数	1,950,607部	その他	12,593部
年間発行部数	1,963,200部								
ポスティング配布部数	1,950,607部								
その他	12,593部								
事業評価	紙面の工夫に取り組むことにより、市民に提供する市政情報の充実を図ることができた。今後は紙面改革に取り組み、わかりやすい市政情報の発信に努めるとともに、引き続きより効果的な情報発信手法を検討する必要がある。								

事務事業名	映像広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	19千円
事業内容	市の施策をはじめ、文化、観光などに関する情報を、職員が制作する映像でわかりやすく放映する。また、字幕を付けること等により、聴覚障害者にとってもわかりやすい映像としている。		
成果・実績	インターネット動画サイトを活用し「宇治市ちはや茶んねる」で宇治市長が市の施策等について語る「宇治市長語る」を年2回発信したほか、高校生が作成したPR動画等を掲載し同様に発信した。		
事業評価	インターネット動画サイトを活用した広報活動により、市の施策及び観光情報などを広く発信できた。今後は、より多くの視聴につながるように、情報発信手法の工夫に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	2,441千円
事業内容	広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページの運用などを行う。		
成果・実績	宇治日刊記者クラブ（9社）と宇治日刊地方記者クラブ（2社）に対し、報道資料の提供及び市長定例会見をはじめとする記者発表を行った。 また、宇治市宣伝大使ちはや姫の積極的な活動にも取り組んだ。		
事業評価	市ホームページ、報道機関へ積極的な情報提供を図ることにより、市内外の多くの人への広報に努めることができた。また、キャラクター及びSNSを活用したプロモーション活動の充実にも努めることができた。市政情報の発信及びシティプロモーションの展開などに向けた、より効果的な情報発信手法を検討する必要がある。		

事務事業名	市民カレンダー発行費	所管課	秘書広報課
		決算額	4,108千円
事業内容	市民生活に関わりの深い情報及び市政情報を提供するため、市民カレンダーを毎年発行する。		
成果・実績	「市民カレンダーと手びき」を85,000部発行し、ポスティングによる全戸配布を行った。手びき部分には、市の行事予定のほか、災害時避難所・給水場所マップ・福祉避難所、市内公共施設等マップ、資源ごみの分別収集方法、各種相談案内、保健予防年間日程、主な市の施設・市内の官公署一覧を掲載し、情報発信に努めた。		
事業評価	「市民カレンダーと手びき」を発行することにより、市民に提供する市政情報の充実を図ることができた。今後は、より効果的な情報媒体の把握、分析に努め、総合的に市政情報を提供できる新たな手法について検討する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	魅力発信プロモーションビデオ制作費 及びちはや姫広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	9,200千円
事業内容	市の魅力を市内外に広く発信するために、市宣伝大使「ちはや姫」を活用した広報活動等を行うとともに、市の認知度と好感度を向上させ、郷土愛の醸成、交流人口の増加、移住促進などを図ることを目的に、動画を制作しプロモーションを行う。		
成果・実績	<p>動画は平成29年3月3日に配信を開始してから、多くの再生がされ、また各種メディアにも取り上げられるなどの反響があった。 また、ちはや姫のノベルティ等を制作した。</p> <p>◎魅力発信プロモーションビデオ制作及びプロモーション費 6,156千円 ・ 動画再生回数 延べ約20万回 (市公式YouTube「City of Uji 宇治市ちはや茶んねる」、平成28年度末現在)</p> <p>◎ちはや姫ノベルティ等制作費 3,044千円</p>		
事業評価	各種グッズを作成し、ちはや姫の周知・広報に努めるとともに、オリジナルの宇治魅力発信プロモーションビデオを制作・公開したことにより、市の魅力を発信することができた。今後も市のプロモーションとなる取組について検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献
小分類	01 国際化・広域交流活動の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	国際交流促進事業費	所管課	秘書広報課
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、相互の友好交流を促進する。		
成果・実績	<p>ヌワラエリヤ市からの公式訪問団の来訪、写真展の開催、咸陽市からの公式訪問団の来訪、小学生文通事業、カムループス市への公式訪問団と中学生訪問団の派遣、及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <p>◎咸陽市交流促進費 513千円 ・咸陽市公式訪問団来訪 3人 7月31日～8月2日</p> <p>◎ヌワラエリヤ市交流促進費 800千円 ・ヌワラエリヤ市公式訪問団来訪 6人 5月8日～5月11日</p> <p>◎カムループス市交流促進費 5,429千円 ・宇治市公式訪問団の派遣 行政訪問団員 4人 6月30日～7月6日 市民訪問団員に随行の行政訪問団員 1人 6月30日～7月8日</p> <p>・市中学生訪問団の派遣 7月22日～7月28日 市内在住の中学生 12人 引率者（市職員・中学校教諭） 2人</p> <p>・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣 3人（自費留学生を含む）</p>	  	
事業評価	公式訪問団及び中学生の派遣などにより、市民間の国際交流を促進し、友好を深めることができた。今後は、より多くの分野での市民間交流の発展に向けて、その交流手法等について検討する必要がある。		


平成28年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	05 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成	

事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
		決算額	7,342千円
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>人口減少社会を迎えた今、市民ニーズを的確に把握する中で、時代の変化を敏感に察知し、活力にあふれ持続的に発展する魅力ある宇治市を築いていくため、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>主な研修</p> <p>管理職研修…所属長を対象に、管理職としての責任を自覚するとともに、行政を総合的に推進することを目指し意識改革を図った。</p> <p>新任管理職・監督者研修…職場の労務管理、服務、また、監督者の役割を把握し、管理職・監督者としての資質の向上を図った。</p> <p>階層別研修…初級・中級職員を対象に人権研修を行い、また、職場における立場及び役割の自覚を促し意識改革を図った。</p> <p>求められる職員像</p> <ol style="list-style-type: none"> 「創造する職員」 <ul style="list-style-type: none"> ●長期的かつ多面的な視野で新しい宇治市を創造【Create】 「ニーズや変化をキャッチする職員」 <ul style="list-style-type: none"> ●市民ニーズを的確に把握、時代の変化を敏感に察知【Catch】 「チャレンジする職員」 <ul style="list-style-type: none"> ●困難な状況や課題に対して前向きに挑戦【Challenge】 「コミュニケーション能力の高い職員」 <ul style="list-style-type: none"> ●市民から信頼される誠実な対応、周囲との積極的な意思疎通【Communicate】 「市民と協働する職員」 <ul style="list-style-type: none"> ●地域の方々と連携し、市民参加・協働を促進【Collaborate】 <p>基本研修 新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、管理職研修など</p> <p>特別研修 人権研修、安全運転研修、市長と職員の対話研修、メンタルヘルス研修、おもてなし研修、認知症あんしんサポーター養成講座など</p> <p>派遣研修 京都府市町村振興協会、全国市町村国際文化研修所など</p>		
		 <p>管理職研修 (平成29年2月2日)</p>  <p>市長と職員の対話研修 (平成28年9月7日)</p>	
事業評価	各種研修の実施により、職務の遂行に必要な知識、技能の向上等を図った。今後も、階層別職員の実務能力の向上及び管理監督者の管理能力の向上のための研修等により計画的な人材育成に取り組む中で、研修効果について検証する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市長公室
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理課								
		決算額	5,452千円								
事業内容	地域の防災力向上を図り、本市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施する。また、市立小学校に防災倉庫を設置し備蓄品等の計画的な更新整備を行うとともに、医療品等の点検、交換を行う。										
成果・実績	<p>日頃から地域の自主防災組織が中心となり、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、積極的に自主防災活動が展開されることを目的として、平成28年9月4日に防災訓練を実施し、自主防災リーダーフォローアップ研修については、計3回実施した。</p> <p>また、市立小学校5校に防災倉庫を設置するとともに、備蓄食糧としてカンパン、アルファ米、要配慮者生活用品として粉ミルクの更新を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">防災訓練開催費</td> <td style="text-align: right;">901千円</td> </tr> <tr> <td>自主防災リーダーフォローアップ研修会開催費</td> <td style="text-align: right;">13千円</td> </tr> <tr> <td>防災倉庫設置費</td> <td style="text-align: right;">2,618千円</td> </tr> <tr> <td>災害時用備蓄食糧・要配慮者生活用品購入費</td> <td style="text-align: right;">1,376千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>市防災訓練</p> </div>			防災訓練開催費	901千円	自主防災リーダーフォローアップ研修会開催費	13千円	防災倉庫設置費	2,618千円	災害時用備蓄食糧・要配慮者生活用品購入費	1,376千円
防災訓練開催費	901千円										
自主防災リーダーフォローアップ研修会開催費	13千円										
防災倉庫設置費	2,618千円										
災害時用備蓄食糧・要配慮者生活用品購入費	1,376千円										
事業評価	自主防災リーダーフォローアップ研修の実施等により、地域の防災力向上を図ることができた。今後も引き続き、災害発生時に重要となる関係機関との連携強化等を図ること並びに自主防災リーダーの養成を行うことにより、さらなる地域の防災力の向上に努める必要がある。										

事務事業名	自主防災組織育成事業補助金	所管課	危機管理課						
		決算額	1,143千円						
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成する制度を創設し、自主防災組織の育成を図る。								
成果・実績	<p>町内会・自治会等が実施する防災訓練等の経費に対し補助金を交付した。</p> <p>補助金交付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 35%;">補助金交付額 (千円)</th> <th style="width: 50%;">交付団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">1,143</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>町内会・自治会等の防災訓練</p> </div>			年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数	28	1,143	36
年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数							
28	1,143	36							
事業評価	地域の自主防災組織育成に係る補助制度の総合的な見直しを行い、より多くの団体から申請を受け付けることにより、地域防災力の向上を促進することができた。今後も自主防災組織率の向上を図り、地域の継続的な自主防災活動及び避難行動要支援者の避難支援の取組に努める必要がある。								

平成28年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	05 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成	

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	22,191千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健康診断業務及びメンタルヘルス対策を講じるための相談業務などを行う。		
成果・実績	<p>定期健康診断等（文書報告含む）の受診率は99.5%であり、生活習慣改善教室及び産業医による個別指導等の事業を行い、職員の意識向上に努めた。</p> <p>メンタルヘルス対策については、「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき予防から再発防止までのメンタルヘルス対策の推進を図った。</p> <p>労働安全衛生法の規定に基づき、月45時間以上の超過勤務者（延べ401人）に対し健康調査を行い、健康状態の把握に努めるとともに、特に月80時間超（延べ25人）及び月100時間超（延べ4人）の超過勤務者を含む71人に対して産業医による面接指導を行い、メンタルヘルス不調及び疾病の予防に努めた。</p> <p>職員健康管理医師報酬 1,440千円 産業医、職員の健康診断の実施及び健康管理についての指導・助言 長時間超過勤務者の面談、安全衛生管理業務、安全衛生委員会委員</p> <p>心の相談等医師謝礼（メンタルヘルス対策） 969千円 相談事業の実施、メンタルヘルス研修会、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>職員（嘱託含む）各種健診手数料 12,484千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査、深夜業務健康診断など</p> <p>特殊健康診断等委託料 6,804千円 二次健診、生活習慣改善教室・個別指導、頸腕・腰痛健康診断、 VDT作業従事者健康診断、各種健診の有所見者事業、卒煙セミナー等禁煙指導など</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として実施する職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握及び疾病防止とメンタルヘルス対策について正しい情報を提供したことにより、職員の健康増進を図ることができた。今後も、職員の健康保持増進に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	02 行政改革の推進	

事務事業名	行政改革審議会運営費	所管課	行政経営課
		決算額	121千円
事業内容	社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現の推進及び行政改革の適切な進行管理を図るため、審議会を設置し行政改革大綱策定及び行政改革推進に必要な事項について調査及び審議、意見交換などを行う。		
成果・実績	「宇治市第6次行政改革実施計画」（計画期間：平成25～29年度）の平成27年度の実績を受けて、宇治市行政改革審議会を1回開催し、市民公募を含めた各委員から意見を聞き、実施計画に反映させた。		
事業評価	審議会を開催することにより、行政改革実施計画の進行管理に努めることができた。		

事務事業名	ふるさと応援寄付金（歳入）	所管課	行政経営課																		
		決算額	63,095千円																		
事業内容	自治体に寄付をすると住民税等が控除となるふるさと納税制度について、本市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。																				
成果・実績	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>1,403</td> <td>2,607</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>925</td> <td>1,648</td> <td>1,397</td> <td>37,842</td> <td>63,095</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月と10月にお礼の特典を拡充した。 ・ふるさと応援寄付金を有効に活用するため、観光振興及び子育て支援などに用途を拡充する宇治市ふるさと応援基金条例の改正を行った。 </div>			年度	24	25	26	27	28	件数	18	24	26	1,403	2,607	金額(千円)	925	1,648	1,397	37,842	63,095
年度	24	25	26	27	28																
件数	18	24	26	1,403	2,607																
金額(千円)	925	1,648	1,397	37,842	63,095																
事業評価	前年度に比べて、寄付件数・金額が大幅に増加しており、本市のPRIにも寄与することから、今後も制度のさらなる広報及び内容の充実を図る必要がある。																				

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	06 持続的なまちの発展を目指した取組の推進	

事務事業名	公共施設等総合管理計画策定費	所管課	行政経営課
		決算額	9,669千円
事業内容	人口減少・少子高齢社会の進展等を踏まえ、今後の公共施設等の利用需要に変化が見込まれることから、公共施設の老朽化等の現状を把握するとともに、その更新、統廃合、長寿命化など、次の世代にできる限り負担を残さない公共施設等のあり方を検討する。		
成果・実績	公共施設等総合管理計画の策定に向けて、全庁調査を実施し、公共施設等に関する台帳及び既存資料などの集約並びにデータの分析を行うとともに、宇治市都市経営戦略推進本部及び専門部会、宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会により宇治市公共施設等総合管理計画の検討を行った。 また、市民アンケートを実施するとともに、平成28年12月から今後の公共施設等のあり方を市民とともに考える各種市民懇談会等を行った。		
事業評価	公共施設等総合管理計画の策定に向けて、宇治市都市経営戦略推進本部及び専門部会、宇治市公共施設等総合管理計画検討委員会において検討を行った。また、今後の公共施設等のあり方を市民とともに考える市民懇談会等を行った。今後も平成29年度の計画策定を目指し引き続き実施する。		

事務事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議運営費	所管課	行政経営課
		決算額	407千円
事業内容	平成27年度に策定した「宇治市人口ビジョン」及び「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少への歯止め等を目指して、各種施策を実施するとともに、市民をはじめ産学官金労言を含めた宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催し進捗管理を行う。		
成果・実績	「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：平成27～31年度）の平成27年度の実績を受け、宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を1回開催した。市民をはじめ産学官金労言の各委員からの意見も踏まえながら重要業績評価指標（KPI）の目標値の見直しを行った。		
事業評価	宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催し、市民をはじめ産学官金労言の各委員からの意見も踏まえながら重要業績評価指標（KPI）の目標値の見直しを行った。今後も総合戦略の適切な進捗管理に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	政策推進課
		決算額	6,107千円
事業内容	統計法の規定に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢等について実態を把握する。		
成果・実績	法定受託事務として、下表の基幹統計に関する業務を実施した。		
	名称 (所管)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等
	学校基本調査 (文部科学省)	28年5月1日 (毎年・ 全数調査)	幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設などを調査し、学校に関する基礎資料を得る。
	工業統計調査 (経済産業省)	(毎年実施・ 経済センサス- 活動調査実施 年は中止)	製造業を営む事業所を対象に、従業者数、出荷額等の調査を行い、工業に関する施策の基礎資料を得るための調査実施に向けた準備業務。
	経済センサス 調査区管理 (総務省)	—	調査実施上の支障が生じないように、必要に応じ調査区を修正する。また追加された事業所情報等について、調査区の確認を行う。
	平成28年 経済センサス- 活動調査 (総務省・経済 産業省)	28年6月1日 (5年毎・ 全数調査)	全産業分野における事業所及び企業を対象として、経済活動の実態を明らかにするとともに、各種統計調査の母集団情報を得る。
	◎調査員確保対策事業(所管：総務省)	48千円	
	統計調査員の募集チラシを作成し、市内公共施設に配架を行い、調査員の確保に努めた。		
事業評価	各種統計調査を法定受託事務として適正に実施したことにより、本市の人口・経済・社会情勢等の実態把握を各施策に活用することができた。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立	

事務事業名	政策研究費	所管課	政策推進課
		決算額	1,320千円
事業内容	先進他都市の優れた制度を取り入れるとともに、本市の組織レベルの課題解決能力及び政策立案能力を高めるため、調査・研究等を行う。		
成果・実績	庁内で募集した研究課題の中から市民ニーズ等を踏まえて採択し、担当課において研究を行った。		
	採択事業一覧		
	担当課	研究テーマ	
	商工観光課	人口減少社会を見据えた商店街活性化施策について	
	環境企画課	公共施設におけるデマンド計活用の効果について	
	ごみ減量推進課	ごみの収集方式の研究	
	障害福祉課	障害のある子どもたちの就業体験（放課後ジョブ）に向けた研究	
	健康生きがい課	成年後見制度利用促進に係る市民後見人育成事業の検討	
	都市計画課他3課	宇治市の発展を支える産業基盤づくり（産業誘致）	
	生涯学習課	宇治公民館のあり方についての検討	
	各図書館	図書館のサービス充実に向けた取組の研究	
	歴史資料館他1課	デジタルアーカイブ構築による歴史資料の活用のための研究	
警防救急課	救急救命士の再教育について		
	京都文教大学・短期大学との共同研究		
市民課	オリジナル婚姻届及び出生届を用いた市の魅力発信に関する研究		
ごみ減量推進課	食品ロス問題についての意識啓発に関する取り組みの研究		
事業評価	行政課題の改善に取り組むとともに、職員の政策立案能力の向上に資することができた。また、京都文教大学・短期大学と連携し、共同研究を行うことで、大学の豊富な知識を活かし充実した研究を行うことができた。今後も引き続き、採択基準等について検討を行い、幅広い行政分野での積極的な研究活動を促進する必要がある。		

事務事業名	総合計画関連事業費	所管課	政策推進課
		決算額	618千円
事業内容	「宇治市第5次総合計画」の平成30年度から平成33年度までを計画期間とする具体的プログラムである「第3期中期計画」について、これまでの施策・事業を評価する中で社会情勢に柔軟に対応した実現性の高い計画となるように策定する。		
成果・実績	平成30年度から平成33年度までを計画期間とする「第3期中期計画」の策定に向けて宇治市総合計画審議会を開催した。		
	宇治市総合計画審議会委員報酬	250千円	
	宇治市総合計画審議会委員 28人 宇治市総合計画審議会 1回 (第2期中期計画策定時市民公募委員数5人を今回8人に増加)		
	第5次総合計画及び中期計画事務費	368千円	
事業評価	宇治市第5次総合計画の実現に向け、事業の進捗管理及び各事業担当課との調整など、計画行政の推進を図ることができた。第3期中期計画に向けて、引き続き施策・事業の遂行に努める。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	06 持続的なまちの発展を目指した取組の推進	

事務事業名	魅力発信プラットフォーム運営等事業費	所管課	政策推進課
		決算額	401千円


事業内容
 少子高齢社会の進展及び地方分権の推進による自治体間競争の激化が予測される時代であっても、多くの人に選ばれ持続的に発展するまちとなるため、「宇治市魅力発信行動指針」に基づき、市民、事業者、関係団体との協働により、本市の様々な魅力について発信する仕組みづくりを構築するなど具体的な取組を実施する。

成果・実績


宇治魅力発信プラットフォーム会議 開催数 3回
 「宇治市魅力発信行動指針」に基づき、宇治の魅力づくり、魅力発信に携わる市民の方、NPO団体、その他関係機関が主体となり、参加者の方々が相互に連携することで、持続的な宇治のにぎわいの構築を目的とするプラットフォームで意見交換を行った。

高校生版プラットフォーム「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」 開催数 18回
 プラットフォーム会議での意見を踏まえ、特に高校生のエネルギーをまちづくりに活かすことを目的に高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」を開催し、企画、運営のイベントを実施した。

- ・宇治橋通りわんさかフェスタにて足湯の設置 10月22日
- ・和服をテーマにしたファッションショー「宇治コレクション」の開催
 11月20日 (高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテストと同時開催)
 12月10日 (京都文教大学ともいき「共生」フェスティバルにて開催)



宇治橋通りわんさかフェスタの足湯



宇治コレクション

高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 20作品
 最優秀賞・宇治に届け賞 (高校生審査員賞) 同時受賞 1作品
 優秀賞・一般審査員賞 各 1作品

宇治魅力発信大使の委嘱
 「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」で活動していた高校生を、卒業後も宇治の魅力を発信してもらうために宇治魅力発信大使として委嘱した。

事業評価
 本市の様々な魅力について発信するため、宇治魅力発信プラットフォーム会議の開催及び高校生による様々な取組を実施し、市の魅力発信に努めた。今後も引き続き市の魅力発信に向けた具体的な取組を実施する。

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立	

事務事業名	地方創生加速化・推進交付金（歳入）	所管課	財務課																
		決算額	79,424千円																
事業内容	地方の活性化を促していくことを目的とした国の緊急経済対策の一環として、交付金を活用し、子育て支援事業及び観光地域づくり事業を実施した。																		
成果・実績	<p style="text-align: center;">＜地方創生加速化交付金＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">対象事業</th> <th style="width: 40%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魅力発信プラットフォーム運営等事業</td> <td style="text-align: right;">9,200 千円</td> </tr> <tr> <td>観光振興事業</td> <td style="text-align: right;">26,654 千円</td> </tr> <tr> <td>観光インバウンド推進事業</td> <td style="text-align: right;">7,668 千円</td> </tr> <tr> <td>宇治茶活用事業</td> <td style="text-align: right;">13,259 千円</td> </tr> <tr> <td>源氏物語のまちづくり等事業</td> <td style="text-align: right;">9,117 千円</td> </tr> <tr> <td>子育て支援・学習環境等充実事業</td> <td style="text-align: right;">8,676 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">74,574 千円</td> </tr> </tbody> </table>			対象事業	充当事業費	魅力発信プラットフォーム運営等事業	9,200 千円	観光振興事業	26,654 千円	観光インバウンド推進事業	7,668 千円	宇治茶活用事業	13,259 千円	源氏物語のまちづくり等事業	9,117 千円	子育て支援・学習環境等充実事業	8,676 千円	合 計	74,574 千円
	対象事業	充当事業費																	
魅力発信プラットフォーム運営等事業	9,200 千円																		
観光振興事業	26,654 千円																		
観光インバウンド推進事業	7,668 千円																		
宇治茶活用事業	13,259 千円																		
源氏物語のまちづくり等事業	9,117 千円																		
子育て支援・学習環境等充実事業	8,676 千円																		
合 計	74,574 千円																		
事業評価	<p style="text-align: center;">＜地方創生推進交付金＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">対象事業</th> <th style="width: 40%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治茶ブランド化事業</td> <td style="text-align: right;">116 千円</td> </tr> <tr> <td>まち巡りを仕掛ける基盤づくり</td> <td style="text-align: right;">2,069 千円</td> </tr> <tr> <td>子育て支援環境充実事業</td> <td style="text-align: right;">1,399 千円</td> </tr> <tr> <td>宇治の魅力の深化事業</td> <td style="text-align: right;">1,266 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">4,850 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>交付金を活用して、市の観光資源の積極的な発信及び市民に身近な公共施設の子育て支援環境の充実を図ることができた。今後も、国の動向を注視し、各種事業の状況の把握、効果等の分析に努め、実施事業を検討する必要がある。</p>			対象事業	充当事業費	宇治茶ブランド化事業	116 千円	まち巡りを仕掛ける基盤づくり	2,069 千円	子育て支援環境充実事業	1,399 千円	宇治の魅力の深化事業	1,266 千円	合 計	4,850 千円				
対象事業	充当事業費																		
宇治茶ブランド化事業	116 千円																		
まち巡りを仕掛ける基盤づくり	2,069 千円																		
子育て支援環境充実事業	1,399 千円																		
宇治の魅力の深化事業	1,266 千円																		
合 計	4,850 千円																		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	902千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>◎市民の防犯意識の啓発 30千円 年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>◎安全・安心まちづくりへの助成 840千円 小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p>		
事業評価	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを推進できた。地域における自主的な防犯活動が一層推進されるように、宇治市第3次防犯推進計画に定める各種施策に取り組む必要がある。		

事務事業名	防犯カメラ設置事業費	所管課	総務課										
		決算額	502千円										
事業内容	市民の安全で安心な暮らしの実現に向け、街頭における犯罪の防止と市民の体感治安の向上を目的として、防犯カメラを設置する。												
成果・実績	<p>市内の駅周辺を中心に7台のカメラ設置を行った。</p> <p>◎カメラ等設置委託 392千円 ◎光熱費等 110千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>			年度	台数	26	2	27	12	28	7	合計	21
年度	台数												
26	2												
27	12												
28	7												
合計	21												
事業評価	路上犯罪の発生密度が高く、不特定多数の市民等が利用する駅周辺への設置を行うことにより、市民の体感治安の向上を図ることができた。今後も防犯カメラ設置の効果を検証し、引き続き市民の体感治安向上に努める必要がある。												

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	情報公開審査会委員報酬 5人分	所管課	総務課
		決算額	391千円
事業内容	情報公開制度の適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市情報公開審査会（学識経験者5人）を設置し、審査を行う。		
成果・実績	公文書公開請求に係る審査請求が1件あった。異議申立てに係る諮問事項を審議するため及び平成27年度の実施状況報告等のために1回、異議申立てに係る諮問事項を審議するため及び情報公開条例の改正に係る報告のために1回、異議申立てに係る諮問事項を審議するために1回、異議申立て及び審査請求に係る諮問事項を審議するために2回、情報公開審査会を開催した。		
事業評価	審査会を開催することにより、情報公開制度の適正な運用を図ることができた。円滑な審査会運営に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	情報公開事務費	所管課	総務課										
		決算額	46千円										
事業内容	市政への積極的な市民参加と公正な市政を推進するため、宇治市情報公開条例に沿って、市が保有する公文書の閲覧または写しの交付を請求することができることにより、市民の知る権利を具体的に保障する。												
成果・実績	<p>市が保有する情報を公開することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正な市政を推進した。</p> <p>◎公文書公開請求 452件 (件)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>全部公開</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>部分公開</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>非公開 (うち不存在)</td> <td>18 (15)</td> </tr> <tr> <td>取下げ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>審査請求</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>◎市出資法人（宇治市土地開発公社等8法人）及び指定管理者に対する公開申出 0件</p>			全部公開	118	部分公開	309	非公開 (うち不存在)	18 (15)	取下げ	7	審査請求	1
全部公開	118												
部分公開	309												
非公開 (うち不存在)	18 (15)												
取下げ	7												
審査請求	1												
事業評価	公文書公開請求に応じて公文書の閲覧、写しの交付など、適正な事務を執行することにより、公正な市政を推進することができた。今後も制度の円滑な運用に努める必要がある。												

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	個人情報保護審議会委員報酬 8人分	所管課	総務課
		決算額	213千円
事業内容	個人情報を保護し、適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市個人情報保護審議会（学識経験者5人、市民代表3人）を設置し、審議を行う。		
成果・実績	個人情報開示請求に係る審査請求は0件であった。平成27年度の運用状況に係る報告、防犯カメラの設置状況及び個人情報の収集等の管理運営状況に係る報告、個人情報保護条例の改正に係る報告、個人情報紛失事案に係る報告及び実施機関における個人情報の取扱いについての審議のために1回、実施機関における個人情報の取扱いについての審議のために1回、個人情報保護審議会を開催した。		
事業評価	審議会を開催することにより、個人情報保護制度の適正な運用を図ることができた。円滑な審議会運営に努め、今後も引き続き実施する。		


事務事業名	個人情報事務費	所管課	総務課								
		決算額	37千円								
事業内容	宇治市個人情報保護条例は、行政の保有する個人情報に対するアクセス権及びコントロール権を具体的に保障し、個人の権利利益の保護を図るものである。情報公開制度とあわせ、制度の円滑な運用を行うことにより、より充実した豊かな市民生活を実現する。										
成果・実績	<p>個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利利益の保護を図った。</p> <p>これまでの個人情報流出事案については、人事異動及び担当業務再編などに伴い、特に新年度当初の4月及び5月に発生する傾向がみられることから、年度当初に職員が個人情報保護についての正しい認識と、緊張感を持って個人情報の取扱いを行うよう徹底を図った。</p> <p>◎個人情報開示請求 28件 (件)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>全部開示</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>部分開示</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>不開示 (うち不存在)</td> <td>9 (7)</td> </tr> <tr> <td>審査請求</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎市出資法人（宇治市土地開発公社等8法人）及び指定管理者に対する開示申出等 0件</p>			全部開示	9	部分開示	10	不開示 (うち不存在)	9 (7)	審査請求	0
全部開示	9										
部分開示	10										
不開示 (うち不存在)	9 (7)										
審査請求	0										
事業評価	個人情報取扱事務登録簿の整備、個人情報開示事務などを適切に実施したことにより、個人情報の保護施策を適正に運用することができた。今後も制度の円滑な運用に努める必要がある。										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち		総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実		
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進		

事務事業名	廃棄文書リサイクル事業費	所管課	総務課				
		決算額	281千円				
事業内容	個人情報保護及び資源の有効利用の観点から、庁内業務で使用した個人情報を含む廃棄文書をリサイクル施設で溶解し、紙への資源再生処理を行う。						
成果・実績	機密文書をリサイクル施設で溶解し、文書の復元が不可能な状態にしてから、紙への再生処理を行った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">廃棄文書リサイクル委託料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">281千円</td> </tr> <tr> <td>廃棄文書量</td> <td style="text-align: right;">52.22 t</td> </tr> </table>			廃棄文書リサイクル委託料	281千円	廃棄文書量	52.22 t
廃棄文書リサイクル委託料	281千円						
廃棄文書量	52.22 t						
事業評価	個人情報を含む廃棄文書を適正に処理し、個人情報保護とともに環境資源を有効活用することができた。紙の使用量削減に努める中で、用紙の再生利用を今後も引き続き実施する。						

総合計画の体系			所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち		総務部
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献		
小分類	02 平和への貢献		

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課		
		決算額	3,256千円		
事業内容	本市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。				
成果・実績	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、宇治市平和都市推進協議会が実施する、小・中学生平和訪問団の広島への派遣を始め、市民平和祈念集会及び市人権啓発課・市教育委員会と共同開催した「平和☆ひゅうまん夏フェスタ」の開催、また、平成28年度からの新規事業である戦争体験アーカイブの作成などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎平和都市推進協議会補助金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">3,256千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>平和訪問の様子</p> </div>			◎平和都市推進協議会補助金	3,256千円
◎平和都市推進協議会補助金	3,256千円				
事業評価	啓発等の平和事業を実施したことにより、平和への市民意識の醸成を図ることができた。平和事業への参加者増加を図るなど、さらなる事業効果の向上を図るため、事業内容の工夫・検討に努める必要がある。今後も引き続き、あらゆる機会を通して平和への啓発を実施する。				

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 行政情報化の推進	

事務事業名	情報システム運営費（京都府共同開発分含む）	所管課	IT推進課												
		決算額	316,569千円												
事業内容	市民サービスの向上及び迅速な事務処理、適切な情報管理のため、住民基本台帳システム及び各種税システムをはじめとするサーバ機を利用した様々なシステムを稼働させ情報処理を行っている。また、パソコンの利用促進により、システム化になじまない少量・多種・非定形の業務領域でのOA化を進め、より効率的な行政運用を図る。														
成果・実績	<p>情報システムで使用する機器、ソフトウェアなどの維持管理及び安定運用のための機器更新、並びに制度改正に伴う情報システムの変更作業を行った。これらにより、情報システムの安定稼働を実現し、市民へのサービス提供の維持に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎保守・機器賃借等</td> <td style="text-align: right;">189,143千円</td> </tr> <tr> <td>◎システム機器更新等</td> <td style="text-align: right;">59,389千円</td> </tr> <tr> <td>◎社会保障・税番号制度導入</td> <td style="text-align: right;">16,146千円</td> </tr> <tr> <td>◎制度改正に伴うシステム改修</td> <td style="text-align: right;">20,567千円</td> </tr> <tr> <td>◎電算処理にかかるパンチ業務</td> <td style="text-align: right;">14,585千円</td> </tr> <tr> <td>◎京都府・市町村共同開発システム運用等負担金</td> <td style="text-align: right;">9,643千円</td> </tr> </table>			◎保守・機器賃借等	189,143千円	◎システム機器更新等	59,389千円	◎社会保障・税番号制度導入	16,146千円	◎制度改正に伴うシステム改修	20,567千円	◎電算処理にかかるパンチ業務	14,585千円	◎京都府・市町村共同開発システム運用等負担金	9,643千円
◎保守・機器賃借等	189,143千円														
◎システム機器更新等	59,389千円														
◎社会保障・税番号制度導入	16,146千円														
◎制度改正に伴うシステム改修	20,567千円														
◎電算処理にかかるパンチ業務	14,585千円														
◎京都府・市町村共同開発システム運用等負担金	9,643千円														
事業評価	制度改正に対応したシステム改修等により、各事業担当課の業務を円滑に進め、市民サービスを効率的に提供するための環境整備ができた。今後も様々な市民サービスを安定的に提供するため、適切にシステムの改修及び更新を引き続き実施する。														

事務事業名	公共施設情報ネットワークシステム運営費	所管課	IT推進課								
		決算額	80,066千円								
事業内容	市公共施設の情報共有による市民サービスの提供と行政運営の効率化のため、公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行う。										
成果・実績	<p>公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎情報ネットワーク維持管理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">22,032千円</td> </tr> <tr> <td>◎光ファイバー使用料</td> <td style="text-align: right;">16,637千円</td> </tr> <tr> <td>◎情報ネットワーク用機器使用料</td> <td style="text-align: right;">12,543千円</td> </tr> <tr> <td>◎個人認証システム保守業務委託料</td> <td style="text-align: right;">8,586千円</td> </tr> </table>			◎情報ネットワーク維持管理業務委託料	22,032千円	◎光ファイバー使用料	16,637千円	◎情報ネットワーク用機器使用料	12,543千円	◎個人認証システム保守業務委託料	8,586千円
◎情報ネットワーク維持管理業務委託料	22,032千円										
◎光ファイバー使用料	16,637千円										
◎情報ネットワーク用機器使用料	12,543千円										
◎個人認証システム保守業務委託料	8,586千円										
事業評価	公共施設情報ネットワークの安定的な運用を図ることにより、庁外施設を含めて円滑に業務を推進することができた。今後も、適切に維持管理しながら安定した運用に努める必要がある。										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 行政情報化の推進	

事務事業名	情報システムセキュリティ強化費	所管課	IT推進課
		決算額	173,968千円
事業内容	本市の電磁情報を適正に管理するため、国からの通知に基づき現在の自治体に必要とされる情報セキュリティ対策を図る。		
成果・実績	<p>平成27年12月25日付総務省通知に基づいた自治体情報セキュリティ対策を講じるため、庁内ネットワークの環境整備と、コンピュータウィルス及び不正アクセスなど外部からの脅威への対策として京都自治体情報セキュリティクラウドの導入を行った。</p> <p>◎自治体情報セキュリティ強靱化 170,481千円</p>		
事業評価	総務省通知に基づいた本市の内部ネットワークとインターネット環境の分離を行い、インターネット環境については、京都自治体情報セキュリティクラウドの導入により、情報セキュリティ対策の強化を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視しながら、情報セキュリティの強靱化に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		総務部	
中分類	01 環境保全対策の推進			
小分類	01 地球環境対策の推進			
事務事業名	庁舎温室効果ガス削減対策事業費	所管課	管財課	
		決算額	63,706千円	
事業内容	平成25年度から新たに設定された地球温暖化対策実行計画（第4期計画）に沿って、平成29年度までに平成23年度比5%以上温室効果ガス削減を目指し、庁舎における排出量の削減を図るため、老朽化設備の改修等、省エネルギーの実現に向けた取組を行う。			
成果・実績	エネルギー消費の節減を図るため、庁舎建設時より稼働している庁舎中央監視装置の更新を行う事業を平成28年12月完了した。（平成27年度からの2カ年事業）			
	◎庁舎中央監視装置更新工事	63,706千円		
事業評価	老朽化した庁舎中央監視装置の更新をしたことにより、宇治市地球温暖化対策実行計画に定める温室効果ガス排出量の削減に向けて取り組むことができた。今後も引き続き当該計画に基づく事業効果を検証しながら、具体的な取組を進める必要がある。			

総合計画の体系			所管部局	
大分類	06 信頼される都市経営のまち		総務部	
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進			
小分類	03 行政サービスの充実			
事務事業名	市有林造林事業費	所管課	管財課	
		決算額	962千円	
事業内容	国土保全とともに森林の多面的機能及び植林の材質を高めるため、池尾仙郷山等の市有林において、森林経営計画に基づき保育施業（間伐、枝打ち）を行うとともに、間伐材の出材を実施する。			
成果・実績	森林経営計画に基づく保育事業を重点的に施業することとし、宇治市森林組合に間伐1.02ha、出材10m ³ を委託実施した。			
	◎市有林造林事業委託料（間伐・出材）	487千円		
	◎間伐材売払収入	39千円		
事業評価	森林経営計画に基づき事業実施したことにより、市有林の保全を図ることができた。保育施業による森林整備を促進するため、今後も引き続き宇治市森林組合と連携した除間伐等の森林施業に努める必要がある。			

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立	

事務事業名	京都地方税機構負担金	所管課	市民税課・納税課								
		決算額	126,302千円								
事業内容	納税者の利便性向上及び業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を一層推進するため、京都府及び府内25市町村（京都市を除く）で組織する広域連合の京都地方税機構において、法人市民税と軽自動車税の課税事務の一部及び移管した滞納案件の整理を行った。										
成果・実績	<p>法人市民税と軽自動車税の課税事務の一部及び滞納市税の徴収業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向上及び業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を推進した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">京都地方税機構への移管額</td> <td style="text-align: right;">1,992,003千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">移管額のうち収入額</td> <td style="text-align: right;">785,092千円</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎負担金（市民税課）</td> <td style="text-align: right;">8,891千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎負担金（納税課）</td> <td style="text-align: right;">117,411千円</td> </tr> </table>			京都地方税機構への移管額	1,992,003千円	移管額のうち収入額	785,092千円	◎負担金（市民税課）	8,891千円	◎負担金（納税課）	117,411千円
京都地方税機構への移管額	1,992,003千円										
移管額のうち収入額	785,092千円										
◎負担金（市民税課）	8,891千円										
◎負担金（納税課）	117,411千円										
事業評価	京都地方税機構と連携し、効率的に法人市民税、軽自動車税課税事務の一部及び滞納整理事務を行うことにより、公平・公正な税務行政を推進することができた。安定した財政基盤を確保するため、京都地方税機構と連携した市税徴収業務を今後も引き続き実施する。										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	文化自治振興課
		決算額	83千円
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行及び優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。		
成果・実績	地域社会貢献者表彰式 平成29年3月1日 17回目となる平成28年度は、5件表彰した。 受賞者名 石川 梢一 氏 城島 健治 氏 黒田 忠雄 氏 長谷川 雅也 氏 鳶 繁行 氏		
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰したことにより、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図ることができた。		

事務事業名	ふれあいセンター運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	16,188千円
事業内容	菟道、伊勢田、平盛のふれあいセンターの管理、運営を行う。地域のコミュニティ形成の場として子どもから高齢者まで、地域住民の交流、趣味、娯楽、各種会合、講習会及びスポーツといった活動に利用されており、貸館業務を主とした運営を行う。		
成果・実績	市民が気軽に利用できる施設として、子どもから高齢者まで幅広い層に親しまれている。菟道・伊勢田・平盛の3館で、サークル活動及び各種会合などに年間69,156人の利用があった。		
事業評価	ふれあいセンターの適切な管理運営により、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。施設の老朽化及び耐震の課題がある中で、市民ニーズ及び利用状況などを踏まえ、今後のふれあいセンターのあり方について、引き続き検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	文化自治振興課								
		決算額	66,585千円								
事業内容	平成18年度から地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。										
成果・実績	<p>西小倉・東宇治・南宇治・槇島の4つのコミュニティセンターで合わせて14,742件、159,171人の利用があった。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎西小倉コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">15,175千円</td> </tr> <tr> <td>◎東宇治コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">19,006千円</td> </tr> <tr> <td>◎南宇治コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">17,623千円</td> </tr> <tr> <td>◎槇島コミュニティセンター運営費</td> <td style="text-align: right;">14,781千円</td> </tr> </table>			◎西小倉コミュニティセンター運営費	15,175千円	◎東宇治コミュニティセンター運営費	19,006千円	◎南宇治コミュニティセンター運営費	17,623千円	◎槇島コミュニティセンター運営費	14,781千円
◎西小倉コミュニティセンター運営費	15,175千円										
◎東宇治コミュニティセンター運営費	19,006千円										
◎南宇治コミュニティセンター運営費	17,623千円										
◎槇島コミュニティセンター運営費	14,781千円										
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。地域コミュニティの拠点施設として、今後も適切な施設の管理運営に努める必要がある。										

事務事業名	集会所維持管理費	所管課	文化自治振興課
		決算額	39,454千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	市が管理する集会所131カ所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。		
事業評価	公立集会所の適切な管理運営により、地域住民の身近な活動の場としてコミュニティの活性化を図ることができた。施設の耐震診断の結果及び宇治市公共施設等総合管理計画を踏まえて、今後の対策を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書




総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	01 住民自治の推進	
小分類	01 地域コミュニティの育成	

事務事業名	民間集会所支援補助金	所管課	文化自治振興課
		決算額	2,310千円
事業内容	自治会等が自主的に管理運営する民間集会所の新築または修繕などについて補助を行う。		
成果・実績	民間集会所の環境整備として、改修1件、下水道接続1件、耐震診断2件、耐震改修1件、電気料金等29件に補助金を交付した。		
事業評価	宇治市集会所に関する条例の施行により補助要件を拡充した。地域住民の身近な活動の場である民間集会所の改修等に補助することにより、地域コミュニティの活性化を図ることができた。制度の周知を図り、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	地域コミュニティ活動支援事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	210千円
事業内容	地域コミュニティの活性化に向けて、先進他都市の施策について調査・研究等を行うとともに地域コミュニティのあり方及び協働の進め方について検討を行う。地域コミュニティの役割及び重要性について意識の浸透を図り、地域コミュニティ活動の支援に取り組む。		
成果・実績	<p>コミュニティの先進地視察、調査・研究などを行い、地域コミュニティの活性化に向けた施策案を検討した。</p> <p>また、仕組みづくりに向けた研修・講演等を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">＜市管理職研修＞</p> <p style="margin-left: 20px;">テーマ 「公務員に求められる21世紀型スキルー市民協働を進めるためにー」</p> <p style="margin-left: 20px;">日時 平成29年2月2日（木）</p> <p style="margin-left: 20px;">＜講演会＞</p> <p style="margin-left: 20px;">テーマ 「協力・共同の地域づくりから生きがいへ」</p> <p style="margin-left: 20px;">日時 平成29年2月25日（土）</p>		
事業評価	地域コミュニティ推進検討委員会の提言に基づき、市職員向けの研修及び市民向けの講演会を開催することにより、地域コミュニティ活性化につながる人材の育成を図った。今後も地域コミュニティ活性化に向け、引き続き取組を実施する。		


平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化自治振興課																								
		決算額	1,539千円																								
事業内容	<p>子ども手づくり文化祭は、児童・生徒の地域、学校を越えた交流、情操豊かな青少年の育成及び健全な児童文化活動を推進することを目的に行う。市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。</p>																										
成果・実績	<p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催し、市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）を開催した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">子ども手づくり文化祭</td> <td style="width: 15%;">開催日</td> <td style="width: 15%;">9月22日</td> <td rowspan="3" style="width: 40%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約2,600人</td> </tr> <tr> <td>市民文化芸術祭</td> <td>開催日</td> <td>10月29日、30日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>約1,000人</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約5,700人</td> </tr> <tr> <td>同参加事業</td> <td>参加者数</td> <td>約700人</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">子ども手づくり文化祭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約2,400人</td> </tr> </table>			子ども手づくり文化祭	開催日	9月22日			来場者数	約2,600人	市民文化芸術祭	開催日	10月29日、30日		参加者数	約1,000人			来場者数	約5,700人	同参加事業	参加者数	約700人	子ども手づくり文化祭		来場者数	約2,400人
子ども手づくり文化祭	開催日	9月22日																									
	来場者数	約2,600人																									
市民文化芸術祭	開催日	10月29日、30日																									
	参加者数	約1,000人																									
	来場者数	約5,700人																									
同参加事業	参加者数	約700人	子ども手づくり文化祭																								
	来場者数	約2,400人																									
事業評価	<p>文化祭の開催により、市民相互の文化交流を促進し、文化活動の活性化を図ることができた。より文化意識を高めるため、効果的な実施方法を検討しながら、今後も引き続き実施する。</p>																										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	23,293千円
事業内容	ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式を中心としたイベントである「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての本市のイメージアップを図る。		
成果・実績	<p>第26回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞</p> <p>11月20日に贈呈式と記念イベントを行った。贈呈式の前に源氏物語クイズが行われ、贈呈式のオープニングとして源氏物語の朗読を実施した。記念イベントでは、「“美と艶”の今昔～平安から平成まで～」と題し、井上章一氏（国際日本文化研究センター教授）による講演等を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>紫式部文学賞（全国から69作品の推薦）</p> <p>平田 俊子 氏 「戯れ言の自由」</p> <p>紫式部市民文化賞（50作品の応募・推薦）</p> <p>小野 利子 氏 「つれづれの記」</p> <p>選考委員特別賞</p> <p>宇治民話の会 「この子らのために 2 宇治山城で聞いた戦争の話」</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>紫式部文学賞贈呈式</p> </div> </div> <p>宇治十帖スタンプラリー</p> <p>宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社及び平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。</p> <p>開催日数 5日(10月22日、23日、29日、30日、11月3日)</p> <p>踏破者数 17,503人</p> <p>宇治田楽まつり</p> <p>平安時代に栄えた田楽を、現代風アレンジし、10月15日に府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして開催した。</p> <p>出演者数 約120人</p> <p>観覧者数 約2,500人</p>		
事業評価	源氏物語をテーマとするイベントを開催してきたことにより、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。幅広い分野において事業の効果が期待できるような実施方法等を検討する中で、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化自治振興課
		決算額	2,608千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事等に出演する。		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約80人で、毎週土曜日午後の練習、強化合宿、定期演奏会のほかに、市行事及びコンサート出演など、年間10回を超える演奏を行った。また、こどもコーラス・フェスティバル及び第1回「もうひとつの京都」合唱コンクールで銅賞を受賞するなど精力的に活動を行った。</p>		
事業評価	合唱団活動に取り組んだことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努め、今後も引き続き実施する。		



事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	349千円
事業内容	昼休憩時間にミニコンサートを開催し、市庁舎を市民の気軽な音楽活動の発表の場にするにより、音楽文化の促進と市民相互の交流を図るとともに、市民にとって親しみやすい市役所にする。		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回多数の観客を迎えた。</p> <p style="margin-left: 20px;">開催回数 16回 延べ観覧者数 2,790人</p>		
事業評価	市民交流ロビーコンサートを開催したことにより、市民の文化活動及び相互交流を促進することができた。観覧者が多くあることから、今後も引き続き実施する。		



平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	141,063千円
事業内容	<p>(公財) 宇治市文化センターを指定管理者とし、文化会館の健全な管理・運営を行うとともに、企画立案した自主事業の実施及び優れた文化、芸術公演を公開して、市民文化の振興を図る。また、市内団体及びサークルなどが文化会館を使用する際に(公財) 宇治市文化センターが行う使用料の助成(補助)に対して補助を行う。</p>		
成果・実績	<p>(公財) 宇治市文化センターの自主文化事業として、源氏物語宇治十帖朗読劇、第九コンサート、ファミリーミュージカル、宇治シネマ劇場など、幅広い分野の事業に取り組み、20,547人が鑑賞した。</p> <p>また、市民の文化芸術活動の普及及び振興を図るため、市内文化団体等を対象に(公財) 宇治市文化センターが行う文化会館使用料の助成(23件)に対して、文化事業基金を活用し補助を行った。</p>		
事業評価	<p>指定管理者によって、適切に管理運営できた。市民の文化芸術活動の普及・振興を図る施設であり、優れた文化・芸術の発信拠点として、今後も適切な管理運営に努める。</p>		





ファミリーミュージカル「青い鳥」

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
小分類	02 消費生活の充実	

事務事業名	消費者支援事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	674千円
事業内容	事業者と消費者との間の取り引きに関して生じた苦情を専門の消費生活相談員が助言、情報提供、あっせんなどを行うとともに、市民の消費生活の向上を図るための啓発を行う。		
成果・実績	消費生活センターに専門の消費生活相談員を3人配置し、1,064件の相談に応じた。また、複雑多岐にわたる案件に対処する必要から、消費生活相談員の一層のレベルアップを図るために、各種研修会等へ参加した。さらに、消費生活に関する市民啓発等を行った。		
事業評価	専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行うことにより、消費生活の改善、向上に寄与することができた。今後も広範な消費生活に関する苦情及び相談が想定されることから、消費生活に関する市民啓発を図りながら、相談員の一層の資質向上に努める必要がある。		

事務事業名	消費生活展開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	1,010千円
事業内容	「宇治市消費者まつり」として隔年で開催しており、消費生活に関する諸問題を楽しみながら考える場として、また、消費者団体等の市民団体と市民のふれあいの場として、広く市民に親しまれる企画、展示、販売を中心に多彩なイベントを実施している。		
成果・実績	<p>消費者団体で構成する宇治市消費者まつり運営委員会と宇治市の共催で「宇治市消費者まつり」を開催した。約800名が参加し、消費者トラブルに関する寸劇及び悪質商法に関するパネル展示などを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">「宇治市消費者まつり」の開催模様</p>		
事業評価	「宇治市消費者まつり」を開催したことにより、市民の消費生活に関する知識・意識の向上に寄与することができた。継続した市民啓発が必要であることから、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市民環境部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広聴事務費	所管課	文化自治振興課
		決算額	404千円
事業内容	<p>市民の行政に対する苦情、要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>市民相談</p> <p>市民相談・行政懇談会等の内容を関係部課に伝え、適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設29カ所に設置している「市民の声」投書箱により、より広い範囲から市政に対する意見、要望などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩みごと、心配ごとなど日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介するなどの対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,307件 (市政相談882件、他の行政機関等55件、民事相談ほか370件) ・行政懇談会 11回 ・行政相談 12回(毎月第3木曜日) <p>市政モニター</p> <p>広く全市的視野に立った調査広聴として市政モニター事業を実施した。</p> <p>市政モニター157人(平成28年度末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政モニターアンケート(2回3テーマ実施) <ul style="list-style-type: none"> 第1回アンケート(回収率72.0%) <ul style="list-style-type: none"> 宇治市の在宅医療等に関するアンケート 宇治市の広報に関するアンケート 第2回アンケート(回収率71.3%) <ul style="list-style-type: none"> 市政モニター事業に関するアンケート ・市政モニター公共施設見学会(2回実施) <ul style="list-style-type: none"> 市政について理解を深め、市政モニター活動の参考となるよう実施した。 第1回 7月12日 エコ・ポート長谷山、リサイクルセンター長谷山、クリーン21長谷山 第2回 11月14日 うじ安心館 ・市政モニター随時通信 6テーマ ・市政モニターのつどい(5月24日) <ul style="list-style-type: none"> 「市政モニター制度について」「第4次UJIあさぎりプランについて」 		
事業評価	<p>市民相談及び市政モニター事業を実施したことにより、市民ニーズを把握するとともに市民の要望を市政に反映することができた。今後も幅広く市民ニーズを把握できるように広聴手法の充実に努める必要がある。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課														
		決算額	56,396千円														
事業内容	小倉、木幡など市内6カ所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。																
成果・実績	<p>諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。</p> <p style="text-align: center;">市民課業務の年間取扱い件数（公用請求を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">名称</th> <th style="width: 30%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">12,095</td> </tr> <tr> <td>木幡行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">14,496</td> </tr> <tr> <td>南宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">9,126</td> </tr> <tr> <td>槇島行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">7,150</td> </tr> <tr> <td>東宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">6,620</td> </tr> <tr> <td>開行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">4,721</td> </tr> </tbody> </table>			名称	件数	小倉行政サービスコーナー	12,095	木幡行政サービスコーナー	14,496	南宇治行政サービスコーナー	9,126	槇島行政サービスコーナー	7,150	東宇治行政サービスコーナー	6,620	開行政サービスコーナー	4,721
名称	件数																
小倉行政サービスコーナー	12,095																
木幡行政サービスコーナー	14,496																
南宇治行政サービスコーナー	9,126																
槇島行政サービスコーナー	7,150																
東宇治行政サービスコーナー	6,620																
開行政サービスコーナー	4,721																
事業評価	諸証明の発行業務を市内6カ所で実施したことにより、地域住民の利便性向上に努めることができた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実に努める必要がある。																

事務事業名	受付証明等事務費	所管課	市民課																						
		決算額	38,450千円																						
事業内容	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書などの諸証明発行業務を行う。																								
成果・実績	<p>住民票等諸証明発行数（行政サービスコーナー取扱い分を含む）</p> <p style="text-align: right;">（通）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 70%;">印鑑登録証明書交付数</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">59,643</td> </tr> <tr> <td>住民票の写し交付数</td> <td style="text-align: right;">80,632</td> </tr> <tr> <td>戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">17,313</td> </tr> <tr> <td>戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">5,231</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">7,073</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">184</td> </tr> <tr> <td>戸籍附票交付数</td> <td style="text-align: right;">2,945</td> </tr> <tr> <td>閲覧件数</td> <td style="text-align: right;">12</td> </tr> <tr> <td>諸証明交付数</td> <td style="text-align: right;">7,555</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証交付数</td> <td style="text-align: right;">5,913</td> </tr> <tr> <td>通知カード・個人番号カード再交付数</td> <td style="text-align: right;">928</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※</p> <p style="text-align: right;">※は件数</p>			印鑑登録証明書交付数	59,643	住民票の写し交付数	80,632	戸籍全部事項証明書等交付数	17,313	戸籍個人事項証明書等交付数	5,231	除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,073	除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	184	戸籍附票交付数	2,945	閲覧件数	12	諸証明交付数	7,555	印鑑登録証交付数	5,913	通知カード・個人番号カード再交付数	928
印鑑登録証明書交付数	59,643																								
住民票の写し交付数	80,632																								
戸籍全部事項証明書等交付数	17,313																								
戸籍個人事項証明書等交付数	5,231																								
除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,073																								
除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	184																								
戸籍附票交付数	2,945																								
閲覧件数	12																								
諸証明交付数	7,555																								
印鑑登録証交付数	5,913																								
通知カード・個人番号カード再交付数	928																								
事業評価	各種証明書の発行等の事務を適正に執行した。今後は市民ニーズを踏まえて、さらなるサービスの充実に検討する必要がある。																								

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部他
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	04 災害復旧の推進	

事務事業名	平成28年9月28日大雨による災害復旧事業費	所管課	農林茶業課他
		決算額	25,718千円
事業内容	平成28年9月28日の大雨によって大きな被害が発生したため、被災箇所の復旧に取り組む。		
成果・実績	被災箇所の復旧のため、測量設計及び応急復旧工事を実施した。		
	(千円)		
	事業	課名	事業概要
	林業施設災害復旧事業費	農林茶業課	道路、河川、山林などにおける災害復旧への対応に要した費用
	河川等災害復旧事業費	雨水対策課	
維持課		8,030	
		14,702	
事業評価	被災箇所の応急復旧事業に取り組むことにより、被災箇所のさらなる拡大防止を図ることができた。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農道・ため池・農業用施設維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	10,307千円
事業内容	農業基盤の保全整備を図るため、本市が所有または管理する農道及びため池、農業用水路の維持管理等を行う。		
成果・実績	農業用水路の草刈り及び浚渫をはじめ、農業用施設の修繕等維持管理を行った。		
事業評価	農業用施設の適正な維持管理により、農地等の産業基盤の環境保全を図ることができた。今後も適切な施設管理に努める。		

事務事業名	巨椋池地域排水対策協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	7,522千円
事業内容	巨椋池土地改良区管理水路への都市排水流入による維持管理費用の負担について、本市、京都市、久御山町及び巨椋池土地改良区で平成3年6月に設立した巨椋池地域排水対策協議会において、負担割合を定め共同で管理を行う。		
成果・実績	巨椋池地域排水対策協議会への負担を通して、排水路の維持管理を行い、排水機能の保全を図った。 巨椋池地域排水対策協議会管理水路 排水幹線、承水溝3号、主排4号、主排5号、主排8号		
事業評価	関係団体と巨椋池地域排水対策協議会を組織し、共同で適正な維持管理を実施したことにより、管理水路流域の排水機能の保全を図ることができた。今後の維持管理のあり方については引き続き検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	巨椋池農地基盤整備事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	41,653千円
事業内容	<p>国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場の機能を高めるための巨椋池農地基盤整備事業に要する費用を負担する。本市、京都市、久御山町、巨椋池土地改良区で推進協議会を組織し、事業の早期完成を目指す。</p>		
成果・実績	<p>国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場に接続する排水関連施設の整備が、府営事業として実施され、防災機能の強化が進んだ。</p>		
事業評価	<p>関係団体と巨椋池農地基盤整備推進協議会を組織し共同で事業に取り組んだことにより、必要な農業用水の排水関連施設を整備することができた。今後も関係団体と連携して、事業の推進に努める必要がある。</p>		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	26,563千円
事業内容	<p>国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。</p>		
成果・実績	<p>巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の防止に寄与した。</p>		
事業評価	<p>関係団体と巨椋池排水機場管理協議会を組織し排水機場の維持管理及び施設整備を行ったことにより、施設の機能回復及び災害の未然防止を図ることができた。今後も関係団体と連携し、排水機場の適切な施設管理に努める必要がある。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農地中間管理事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,978千円
事業内容	平成26年度から農地流動化を進める手法として、各都道府県に一つ農地中間管理機構が設立された。農業振興地域内の農地を借り受け、担い手に対して転貸を行う農地中間管理機構の委託を受け、農地集積・耕作放棄地解消を図る。また機構を通して農地集積に協力した農業者へ支援を行う。		
成果・実績	<p>農地の借受希望者及び貸出希望者の公募を支援し、マッチングを行った結果、約1.16haの農地を担い手へ集積し、耕作放棄地化の解消・防止とともに担い手の農業経営基盤を強化した。また、農地を貸し付けた農業者等に対して補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッチング 2件 ・ 貸付済面積 約1.16ha <p>機構集積協力金</p> <ul style="list-style-type: none"> 【経営転換協力金】 40.61a 1件 【耕作者集積協力金】 61.29a 1件 		
事業評価	農地の借受希望者と貸出希望者のマッチングと協力金の交付により、農地集積及び耕作放棄地解消を図ることができた。国、京都府の動向に注視し、今後も引き続き当該機構を活用した支援に努める。		

事務事業名	多面的機能支払制度推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	11,966千円
事業内容	農地の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、効率的、安定的な農業構造の確立と併せて、その基盤となる農地、農業用水などの保全と地域の環境保全を図ることを目的として、活動地域において取り組まれる効果の高い共同活動と農業者ぐるみでの先進的な営農活動を一体的に支援する。		
成果・実績	<p>榎島地区農業環境保全組合の地域資源の基礎的保全活動及び質的向上を図る共同活動、並びに巨椋池農地保全会の施設の長寿命化のための活動に対して助成を行い、水路・側溝の泥上げ、路肩・法面の草刈り、破損施設の改修などを通じて、地域における環境意識の向上と農業環境の保全を進めた。</p> <p>対象農用地面積</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地維持支払及び資源向上支払（共同活動） 3,630a 資源向上支払（施設の長寿命化） 23,632a 		
事業評価	農業基盤の保全活動に対して助成したことにより、農地の多面的機能の発揮を促進することができた。国、京都府の動向に注視し、地域が共同で行う農業環境の保全活動の推進に努める。		

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課																																
		決算額	5,597千円																																
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
成果・実績	<p>全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金及び入賞報奨金などを交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">第70回全国 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第69回関西 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第49回宇治市 茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">出品数</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">47</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">優等数</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1等賞</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2等賞</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3等賞</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農林水産大臣賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">産地賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>				第70回全国 茶品評会	第69回関西 茶品評会	第49回宇治市 茶品評会	出品数	37	46	47	優等数	/	/	2	1等賞	3	4	4	2等賞	4	10	2	3等賞	10	12	5	農林水産大臣賞	受賞	受賞	/	産地賞	受賞	受賞	/
	第70回全国 茶品評会	第69回関西 茶品評会	第49回宇治市 茶品評会																																
出品数	37	46	47																																
優等数	/	/	2																																
1等賞	3	4	4																																
2等賞	4	10	2																																
3等賞	10	12	5																																
農林水産大臣賞	受賞	受賞	/																																
産地賞	受賞	受賞	/																																
事業評価	品評会への出品を奨励することにより、生産者の生産意欲を高めるとともにブランド力の向上につなげることができた。継続して質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。																																		

事務事業名	優良茶園振興事業補助金	所管課	農林茶業課															
		決算額	1,205千円															
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、優良茶園の整備が不可欠であり、茶園拡大・新植及び改植事業への支援を通じ、品質及び生産力の向上を図る。																	
成果・実績	<p>茶園拡大及び改植事業に補助金を交付し、優良茶園の拡大を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">茶園拡大</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">27.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">新植</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">改植</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">41.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">68.0</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	茶園拡大	1	27.0	新植	0	-	改植	5	41.0	合計	6	68.0
	事業実施件数	面積(a)																
茶園拡大	1	27.0																
新植	0	-																
改植	5	41.0																
合計	6	68.0																
事業評価	茶園拡大及び改植事業に対し助成したことにより、宇治茶の生産振興を図ることができた。今後も引き続き、優良茶園の整備による質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。																	

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	高品質茶推進事業補助金	所管課	農林茶業課	
		決算額	5,996千円	
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善及び生産性の向上につながる農家の幅広い対策を支援する。			
成果・実績	環境にやさしい茶づくり及び寒冷紗等による茶園管理の省力化などへの支援を行うとともに、本ず茶園及び手摘みによる高品質茶の生産には欠かせない市内産宇治茶の伝統の継承を図る農家の取組にも支援を行った。			
		事業実施件数	面積(a)	
	環境にやさしい茶生産対策	16	1,176.4	
	手摘み茶推進対策	32	-	
	凍霜害対策	1	40.0	
	伝統技術継承対策	18	323.9	
	生産省力化 対策	寒冷紗二重式	5	39.5
		寒冷紗一重式	0	-
		棚整備(永久棚)	0	-
		被覆張替え	8	122.0
点滴灌水		0	-	
	合計	80	1,701.8	
事業評価	本ず茶園及び手摘みなどによる生産を支援することにより、より高品質な宇治茶の生産を促進できた。継続して宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持するとともに、さらなる向上のため、質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。			

事務事業名	市内産宇治茶ブランド化推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	8,250千円
事業内容	宇治茶のブランド価値の源泉である宇治市内の茶園及び茶業を継承するため、市内産宇治茶の高付加価値化のあり方を定めるとともに、宇治茶商工業協会と本市で共同開発したオリジナル茶「碾玉(てんぎょく)」について市内産宇治茶のブランド化を戦略的に推進するツールの一つとして有効に活用し、課題の解決を図る。		
成果・実績	市内産宇治茶のブランド力を強化するため、リーフレット等を使用した宇治茶の情報発信、認証制度の検討会(全14回)、市内産茶葉のみを使用した「碾玉」の販売・PRなどの取組を実施した。「碾玉」については、平成28年10月に市内小売店(計14店舗)で販売を開始し、さらに、ふるさと納税、インターネット通販・催事での取扱いなど様々な側面で販路拡大を行った。		
事業評価	「碾玉」の商品化に取り組み、販売・PRを通して、宇治茶のブランド価値を高めることができた。また、今後も宇治ブランドの確立に向け、生産農家の後継者育成のほか、認証制度については、「宇治碾茶」の商標登録に向けた取組を支援していく必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	宇治茶おもてなし推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,313千円
事業内容	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、おもてなしの心を醸成するために必要な事業を実施する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。 <li style="padding-left: 20px;">平成28年9月 第24回京都観光プロモーションにて旅行会社向け碾玉PR <li style="padding-left: 20px;">10月 京都駅JR東海ツアーズ前にて碾玉発売記念PR <li style="padding-left: 20px;">関西産業観光博覧会（関西国際空港）にて碾玉PR <li style="padding-left: 20px;">11月 宇治市観光協会（観光センター）にて碾玉試飲会 <li style="padding-left: 20px;">宇治市観光大使就任式（市役所）にて安田美沙子さんと碾玉乾杯 <li style="padding-left: 20px;">平成29年2月 プロモーション会議京都（京都テルサ）にて旅行会社向け碾玉PR ほか ・ 宇治市役所1階市民交流ロビー給茶機を7月の約2週間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。 ・ 市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。 ・ 市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（全3回実施） 		
事業評価	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施したことにより、宇治茶の伝統及び茶業の情報発信を図ることができた。今後は、宇治茶の普及及び魅力プロモーションの効果を見極めながら実施する必要がある。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	森林病虫害防除費	所管課	農林茶業課						
		決算額	1,312千円						
事業内容	従来の松くい虫対策に加え、平成22年度より実施している市有林を対象としたカシノナガキクイムシの対策で、薬剤による予防・保護を行うとともに、被害木の伐倒処理を行い、被害の蔓延を防止する。								
成果・実績	森林組合に委託して薬剤散布を実施した。 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">工種</th> <th style="width: 40%;">事業量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">松くい虫（樹幹注入）</td> <td style="text-align: center;">47</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">カシノナガキクイムシ（コーティング）</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> </tbody> </table>			工種	事業量(m ³)	松くい虫（樹幹注入）	47	カシノナガキクイムシ（コーティング）	24
工種	事業量(m ³)								
松くい虫（樹幹注入）	47								
カシノナガキクイムシ（コーティング）	24								
事業評価	薬剤散布を実施したことにより、病虫害被害の予防・保護を図ることができた。カシノナガキクイムシについては市有林保護のため、対応が必要となっており、被害の状況の把握に努めながら、今後も引き続き実施する。								

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課
		決算額	3,794千円
事業内容	シカ及びイノシシなどの鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、鳥獣の駆除及び侵入防止の措置を講じる。		
成果・実績	<p>東部山間地を中心に、宇治猟友会に委託して有害鳥獣を捕獲するとともに、猟期内の捕獲に対して奨励金を交付した。また、地元山間集落の協力のもと集落周辺に防護柵を設置した。</p> <p>宇治猟友会への委託による捕獲頭数 86頭 (うち、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策報償金対象捕獲頭数 78頭)</p> <p>猟期内のシカの捕獲に対する 「シカ捕獲報奨金」による補助対象捕獲頭数 92頭 (全捕獲頭数 115頭)</p> <p>防護柵 (金網) の設置 H=2.0m L=862m</p>		
事業評価	有害鳥獣捕獲業務の委託及び捕獲奨励金を交付したことなどにより、農林産物の被害の軽減を図ることができた。国、京都府の動向に注視し、引き続き事業の効果を検証しながら取り組む必要がある。		

事務事業名	林道維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	17,922千円
事業内容	林道における通行の安全を確保するため、日常の維持管理を行うとともに、災害等にも適切に対応する。		
成果・実績	林道は、山間部における生活道路としての機能を有するため、不法投棄された廃棄物の撤去及び路肩草刈り、側溝清掃、法面補修などの日常の維持管理を行った。		
事業評価	本市が所有または管理する林道を適正に維持管理したことにより、生活道路としての機能保全を図ることができた。引き続き、市民の利用状況及び防災上の観点などを考慮しながら、適正な管理に努める必要がある。		

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,150千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民及び観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	宇治川・志津川・笠取川等で行われた、あゆ（5万尾）、うなぎ（4千尾）、ふな（5千尾）、あまご（1千尾）の稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。 なお、はえの種苗は入手困難のため、代替措置として産卵床の造成が行われ、コイヘルペスの蔓延防止のため、こいの放流は自粛となった。		
事業評価	京都府制度に基づき、種苗放流事業へ助成したことにより、水産資源の増殖及び河川の環境改善などを図ることができた。宇治川の快適な水辺空間の創出は観光にも寄与するため、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	01 商業の振興	

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	12,202千円																								
事業内容	宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場製品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながる。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。																										
成果・実績	<p style="text-align: center;">施設利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">172</td> <td style="text-align: center;">19,281</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td style="text-align: center;">129</td> <td style="text-align: center;">2,857</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">175</td> <td style="text-align: center;">4,300</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">282</td> <td style="text-align: center;">5,257</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">212</td> <td style="text-align: center;">2,659</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">978</td> <td style="text-align: center;">34,354</td> </tr> </tbody> </table>				件数	人数	産業情報コーナー	8	-	多目的ホール	172	19,281	会議室	129	2,857	第一研修室	175	4,300	第二研修室	282	5,257	茶室	212	2,659	合計	978	34,354
	件数	人数																									
産業情報コーナー	8	-																									
多目的ホール	172	19,281																									
会議室	129	2,857																									
第一研修室	175	4,300																									
第二研修室	282	5,257																									
茶室	212	2,659																									
合計	978	34,354																									
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、さらなる商工業の振興に向けて、施設の有効活用を図りながら、今後も引き続き実施する。																										

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	商工観光課															
		決算額	1,527,912千円															
事業内容	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であり、法人は代表者の連帯保証人が必要であること（個人の場合不要）を条件として融資する。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。																	
成果・実績	<p style="text-align: center;">宇治市中小企業低利融資</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">388</td> <td style="text-align: center;">34,337</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">1,079</td> <td style="text-align: center;">101,579</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3,996</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">宇治市中小企業低利融資実行は395件、融資金額は4,535,690千円</p>				件数	金額（千円）	保証料補給	388	34,337	利子補給	1,079	101,579	損失補償	5	3,996	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額（千円）																
保証料補給	388	34,337																
利子補給	1,079	101,579																
損失補償	5	3,996																
預託金	5金融機関	1,388,000																
事業評価	市内の中小企業者へ事業資金の低利融資、保証料及び利子補給補助を行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。健全な事業資金供給のため、今後も引き続き実施する。																	

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	01 商業の振興	

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	商工観光課									
		決算額	5,329千円									
事業内容	商店街・小売市場が行う商店街施設（アーケード・街路灯・統一看板等）を設置する事業及び商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。											
成果・実績	商店街等が実施する活性化・情報化対策事業等に対して、14件11団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。											
	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">3,960</td> </tr> <tr> <td>情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1,369</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額（千円）	活性化対策事業	10	3,960	情報化対策事業	4	1,369
	件数	金額（千円）										
活性化対策事業	10	3,960										
情報化対策事業	4	1,369										
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助したことにより、商店街等の振興に努めることができた。今後も、自立・自主性を高め、より効果的な支援となるように各商店街等における「商店街活性化計画」の策定を推進し、商店街等の活性化を図る必要がある。											

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	商工観光課									
		決算額	27,219千円									
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。											
成果・実績	<p>入館者数 287,300人 観光案内件数 45,862件</p> <p>貸館状況</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数</th> <th>施設使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示会場</td> <td style="text-align: center;">82（うち有料件数3）</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td style="text-align: center;">16（うち有料件数4）</td> <td style="text-align: center;">12,000</td> </tr> </tbody> </table>				利用件数	施設使用料（円）	展示会場	82（うち有料件数3）	15,000	和室	16（うち有料件数4）	12,000
	利用件数	施設使用料（円）										
展示会場	82（うち有料件数3）	15,000										
和室	16（うち有料件数4）	12,000										
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。宇治観光の拠点施設であり、老朽化への対応を検討しながら、今後も適切な施設管理に努める必要がある。											

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	13,832千円																								
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">入席者数</td> <td style="width: 30%;">21,329人</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>うち有料券数</td> <td>19,962人</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>うち招待券数</td> <td>1,367人</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="4">専用使用料利用状況</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">件数</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">専用使用料（円）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">1（うち有料件数1）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">3,000</td> </tr> </table>			入席者数	21,329人			うち有料券数	19,962人			うち招待券数	1,367人			専用使用料利用状況				件数		専用使用料（円）		1（うち有料件数1）		3,000	
入席者数	21,329人																										
うち有料券数	19,962人																										
うち招待券数	1,367人																										
専用使用料利用状況																											
件数		専用使用料（円）																									
1（うち有料件数1）		3,000																									
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。「対鳳庵」で宇治茶を提供することで宇治茶の普及及び観光の振興を図ることができた。今後も国内外に対して施設のPR強化に努める必要がある。																										

事務事業名	観光振興計画推進事業費	所管課	商工観光課
		決算額	6,316千円
事業内容	近年の観光客のニーズ及び社会情勢の変化を的確に把握し、恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人々が訪れる観光地を目指すため、平成34年度までを実施期間とする「宇治市観光振興計画」を推進する。また、平成30年度から実施予定の後期アクションプランを策定するための基礎データの収集として、平成28年度、29年度の2カ年にわたり観光動向調査を実施する。		
成果・実績	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、（公社）宇治市観光協会、宇治商工会議所、社寺、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」を設置し、宇治の観光活性化のための議論を行った。 また、平成28年度は宇治市内主要観光施設周辺において10月、12月、1～2月の3期、京都市内においては11月、各商店街に向けては12月に観光動向調査を実施し、台湾を対象としたインターネット調査も実施した。		
事業評価	宇治市観光振興計画を適正に進捗管理することにより、観光活性化のための具体的な取組につなげることができた。今後、観光動向調査を実施することにより、宇治市観光振興計画後期アクションプラン策定のためのデータ収集に取り組む。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	宇治茶巡りガイドツアー事業費	所管課	商工観光課
		決算額	150千円
事業内容	観光客に宇治茶への興味を持ってもらい、より多くの宇治の魅力を感じてもらうために、宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設の無料ツアーを行う。		
成果・実績	<p style="text-align: center;">ツアー開催日数：70日（1日につき、午前・午後の2回開催）</p> <p style="text-align: center;">ツアー参加者数：847人</p>		
事業評価	観光客に対し宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。ツアー内容の充実を図り、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	観光サイン等整備計画策定事業費	所管課	商工観光課
		決算額	135千円
事業内容	平成28年4月に策定された「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、歴史的風致維持向上計画の重点区域及び三室戸寺周辺、萬福寺周辺のサインの整理・統合並びに維持管理手法などについて検討を行う。		
成果・実績	宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域である中宇治地域及び三室戸寺周辺、萬福寺周辺エリアにおいて、観光案内サイン整備推進委員会の方針として「撤去」「改修」が示された宇治市以外が設置したサインについて、設置主体への説明と調整を図った。また、今後のサインの維持管理手法等について、委員会において議論を行った。		
事業評価	宇治市観光案内サイン等整備計画策定委員会を開催したことにより、観光サインのあり方等を検討することができた。策定した宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに沿ったサインの配置場所及び整備手法（撤去、リノベーション、新設）についての検討を行い、サイン整備に向けた取組に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	観光インバウンド推進事業費	所管課	商工観光課
		決算額	7,668千円
事業内容	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行う。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載する。		
成果・実績	<p>香港ウォーカー 発行日：12月15日 発行部数：70,000部</p> <p>ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行日：12月1日 発行部数：100,000部</p>		
事業評価	海外に向けた宇治の情報発信を行うことにより、海外からの観光誘客を図ることができた。将来的な観光客の増加につながることから、様々なメディアを利用し今後も引き続き情報発信に努める必要がある。		

事務事業名	観光情報発信事業費	所管課	商工観光課
		決算額	7,481千円
事業内容	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行った。また、新たな観光資源であるアニメーションを活用し他団体との連携業務を行った。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国語版パンフレット「京都・宇治」 発行部数：繁体字・簡体字各40,000部 ・ 宇治市観光大使の任命 11月14日 ・ 宇治市×京阪電車舞台めぐりマップ制作（アニメ「響け！ユーフォニアム」連携） ・ 宇治市観光PR記事掲載「関西ウォーカー」 平成29年1月24日、3月7日発売号掲載 ・ 京ごよみ観光情報掲載 ・ 京都レストランウインターズスペシャル2017公式ガイドブック観光情報掲載 ・ 香港トップセールスの実施 		
事業評価	宇治の観光情報発信への様々な取組を行うことにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。今後も引き続き効果的な情報発信に努める。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	観光関連補助事業費	所管課	商工観光課
		決算額	18,188千円
事業内容	宇治の観光振興に係るイベント及び放ち鶺鴒プロジェクトの検討等に対して（公社）宇治市観光協会等へ助成を行うとともに宇治市観光案内所の管理運営を行う。		
成果・実績	委託及び補助金の内訳		
	宇治市観光案内所管理運営委託		3,741千円
	観光活性化事業臨時対策補助金（観光宣伝事業）		1,433千円
	観光活性化事業臨時対策補助金（鶺鴒事業）		1,000千円
	観光活性化事業臨時対策補助金（観光ボランティアガイド運営事業）		375千円
	県祭り安全対策事業		439千円
	観光活性化事業臨時対策補助金（観光写真コンクール負担金）		402千円
	放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金		3,500千円
	放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金（鶺鴒小屋増築・修繕事業）		3,200千円
	観光活性化事業臨時対策補助金（宇治川花火大会代替イベント）		4,000千円
その他		98千円	
事業評価	観光振興に係る諸事業への補助及び観光案内所の運営を通じ、宇治観光のイメージアップを図ることができた。今後も引き続き（公社）宇治市観光協会との協働により、さらなる観光振興につなげていく必要があるものの、助成のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	市民観光デイ推進事業費	所管課	商工観光課
		決算額	246千円
事業内容	市民に宇治市の良さを知ってもらい、ふるさと意識及び観光客を歓迎する意識の醸成を図るための取組として、平成28年度については、萬福寺での座禅及び煎茶道の体験を実施する。		
成果・実績	萬福寺拝観・座禅体験及び市内産煎茶の接待		
	日時：11月19日 午後1時～午後5時 定員：100組200人 応募数：215件		
事業評価	重要文化財である萬福寺での座禅及び煎茶道の体験を通じて、市民のふるさと意識及び観光客に対するおもてなしの心の醸成を図ることができた。今後は、より効果的な手法について検討する必要がある。		

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
小分類	01 勤労者福祉の向上	

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	商工観光課				
		決算額	2,472千円				
事業内容	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。						
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・医療事務・介護事務・調剤薬局事務講座等を開催した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>講座数</td> <td style="text-align: right;">28 講座</td> </tr> <tr> <td>受講人数</td> <td style="text-align: right;">161 人</td> </tr> </table>			講座数	28 講座	受講人数	161 人
講座数	28 講座						
受講人数	161 人						
事業評価	職業訓練事業に補助し、求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。利用者ニーズの把握、分析に努め、さらなる効果発現に向けて検討する必要がある。						

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	商工観光課																		
		決算額	245千円																		
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。																				
成果・実績	<p>技能功労者 8人 (内訳)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">職種</th> <th style="text-align: center;">表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>自動車整備工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>造園工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>窯業絵付工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>大工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>製茶職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>製材工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>配管工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>理容職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	自動車整備工職	1	造園工職	1	窯業絵付工職	1	大工職	1	製茶職	1	製材工職	1	配管工職	1	理容職	1
職種	表彰人数																				
自動車整備工職	1																				
造園工職	1																				
窯業絵付工職	1																				
大工職	1																				
製茶職	1																				
製材工職	1																				
配管工職	1																				
理容職	1																				
事業評価	技能功労者を表彰することにより、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運の高揚を図ることができた。技能継承等を把握する中で、今後も引き続き実施する。																				

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	02 工業の振興	

事務事業名	企業立地促進助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	27,045千円
事業内容	宇治市企業立地促進条例に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。 <div style="text-align: center;"> 交付社数 5社 </div>		
事業評価	条例に基づき適正に執行し、地域経済の活性化等を行うことができた。企業の市内誘致及び市外移転防止、雇用の創出のため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業推進課
		決算額	14,700千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内のベンチャー企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	京都市リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施、及び年間100社の目標を立て市内企業を訪問し、市をはじめ、国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った。		
事業評価	VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）を拠点とした各種支援を行うことにより、ベンチャー企業の育成を図ることができた。今後も引き続き、入居企業の退去時における市内立地への誘導と新たな入居企業の確保に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	2,047千円
事業内容	市内の中小企業者（製造業及び情報系産業など）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業との会合を契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、産業振興を図る。		
成果・実績	<p>企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。</p> <p style="text-align: center;">助成社数 6社</p>		
事業評価	市内中小企業の展示会出展費用の一部を助成することにより、出展企業のマーケティングを支援することができた。展示会への出展は、企業の積極的な事業展開を支援するために有効な手法であり、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業推進課
		決算額	6,950千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	同一敷地内にあるベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を推進する中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。		
事業評価	産業振興センターを円滑に管理運営し、市内企業のサポートをはじめ、各種セミナーの開催等を実施することにより、産業振興を図ることができた。今後も引き続き、センターの活用にも努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	02 工業の振興	

事務事業名	産業連関表策定事業費	所管課	産業推進課
		決算額	30千円
事業内容	本市の経済構造を把握し、産業戦略を策定するため、産業連関表を策定する。		
成果・実績	市内経済の統計情報の分析と、市内事業所へのアンケート結果の取りまとめを行い、産業連関表策定のための準備を行った。		
事業評価	本市の経済活性化を図るための産業戦略策定に必要な事業であり、策定にあたりアンケートの取りまとめ等基礎データの収集を行った。		

事務事業名	中小企業人材確保支援事業費	所管課	産業推進課
		決算額	1,978千円
事業内容	宇治市内中小企業（製造業）の多くが抱える人材確保を支援するため、宇治市の主催により、市内企業が出展する合同企業説明会・面接会を実施し、求職者とのマッチング機会の提供を行う。		
成果・実績	平成29年3月7日にメルパルク京都（京都市下京区）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会・面接会」を開催し、宇治市内企業16社が出展、76名の来場者があった。		
事業評価	市内企業が出展する合同企業説明会・面接会を実施し、若年層の求職者と企業とのマッチングの機会を創出した。人材確保に課題を抱える中小企業への支援とともに、若者の雇用機会の確保と定住を目指し、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	06 人権尊重社会の実現
小分類	01 人権教育・啓発の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	4,160千円

事業内容	人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市第2次人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組んでいる。
------	--

成果・実績	◎人権強調月間（8月）の取組		
	事業名	実施場所	成果等
	平和・ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	1,950人参加
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送
	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	—
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	—
	街頭啓発	文化センター	啓発物品配布
	◎人権週間（12/4～12/10）の取組		
	事業名	実施場所	成果等
	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	950人参加
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	
人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	—	
人権啓発パネル展示	市役所ロビー	—	
街頭啓発	イトーヨーカドー六地蔵店	啓発物品配布 ミニコンサート	

成果・実績	◎その他の取組			
	事業名	実施時期	実施場所	成果等
	情報紙「jinken」配布	8月・1月	—	各号8万部
	楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	315人参加
	人権の花運動	10月～3月	市内保育所3カ所	球根173個配付
	人権啓発物品配布	年間	各種催し	5,800個配布
	啓発教材（DVD等）貸出	年間	—	年40本貸出
	市政だよりによる広報・啓発	年間	—	—
	人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	—

◎山城地区広域連携事業



山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましろ）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。

人権擁護委員の取組への活動支援（人権の花運動）



事業評価	各種の広報・啓発事業を実施したことにより、人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握、分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践活動できるような取組を検討する必要がある。
------	--

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部	
中分類	06 人権尊重社会の実現		
小分類	01 人権教育・啓発の推進		
事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	15,757千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るための事業及び各種人権啓発交流事業に取り組んでいる。		
成果・実績	<p>◎コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,568千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業及び学習講座開催事業、隣保館デイスサービス事業を実施した。</p> <p>◎コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 5,189千円 「人権尊重理念の普及」及び「様々な人権問題の解決」に向け、交流講座の開催及び人権啓発イベント開催事業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>人権問題講演会（うじ館）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ふれあいコンサート（こはた館）</p> </div> </div>		
事業評価	各種人権啓発交流事業等に取り組んだことにより、市民活動及び市民交流の促進を図ることができた。利用者も徐々に増えているが、さらなる利用者増を含め、今後も効果的な取組を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

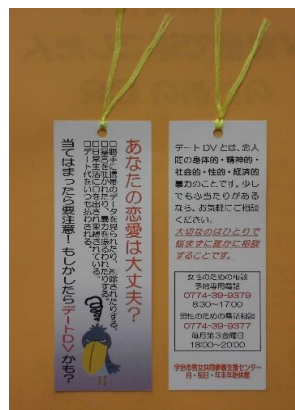
総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課
		決算額	2,291千円

事業内容 男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、宇治市男女生き生きまちづくり条例（平成16年10月制定）及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業並びに学習機会の提供、市民活動支援を行う。

成果・実績	◎広報・啓発			
		事業名	実施時期	実施場所
		男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・9・11・2月	—
		市政だよりによる広報・啓発	年間	—
	男女共同参画週間UJIのつどい講演会	6月26日	男女共同参画支援センター	
	UJIあさぎりフェスティバル	12月3・4日	延べ1,000人参加	
	◎学習機会の提供・市民活動支援			
	各種セミナー（全6セミナー）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ403人参加
	ここからチャレンジ相談（全24回 うち2回出前相談）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ110人参加
	市民企画事業奨励事業（5件）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ515人参加
	地域推進支援事業（1件）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ515人参加
	市民企画サポート事業（3件）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ515人参加
	◎DV対策			
	宇治市DV対策ネットワーク会議を年3回開催し、DV被害に関する情報共有を図るとともに、事例の研究等を通じて、DV防止及び被害者の保護・支援に係る関係機関・団体の相互連携に努めた。			
	◎DV啓発			
	子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」として、こども福祉課と共催で広報・啓発活動を実施した。			
	◎デートDV啓発しおりの作成			
	デートDV防止に向けた啓発のためしおりを作成し、成人式の資料に同封して新成人に配布した。（3,000部作成）			



事業評価 宇治市男女生き生きまちづくり条例及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、各種事業を実施したことにより、男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会の推進に努めることができた。地域の課題解決に向けた市民等の実践的活動を一層促進し、連携・協働してより効果的な事業を検討する必要がある。

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	07 男女共同参画社会の形成	
小分類	01 男女共同参画の推進	

事務事業名	男女共同参画支援センター運営費	所管課	男女共同参画課																			
		決算額	11,853千円																			
事業内容	男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点施設として、市民利用の促進に努めるとともに、女性のための相談事業・男性のための相談事業及び女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																					
成果・実績	<p>センター年間利用者数 48,692人 女性問題アドバイザー派遣実績 7件</p> <p>女性のための相談事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%;">相談区分</th> <th style="width: 45%;">件数 (うちDVIに関するもの)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">一般相談</td> <td style="text-align: center;">来館相談</td> <td style="text-align: center;">123 (37)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電話相談</td> <td style="text-align: center;">58 (13)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">181 (50)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">専門相談</td> <td style="text-align: center;">フェミニスト・カウンセリング</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">こころとからだの相談</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法律相談</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </tbody> </table> <p>男性のための相談事業実績 24件</p>				相談区分	件数 (うちDVIに関するもの)	一般相談	来館相談	123 (37)	電話相談	58 (13)	合計	181 (50)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	66	こころとからだの相談	4	法律相談	30	合計	100
	相談区分	件数 (うちDVIに関するもの)																				
一般相談	来館相談	123 (37)																				
	電話相談	58 (13)																				
	合計	181 (50)																				
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	66																				
	こころとからだの相談	4																				
	法律相談	30																				
	合計	100																				
事業評価	「女性のための相談」事業に加え「男性のための相談」事業も行ったことにより、男性のセンター利用促進を図ることができた。今後も利用状況及びニーズを把握、分析に努め、利用者にとってより効果的な取組を検討する必要がある。																					

事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ運営費	所管課	男女共同参画課
		決算額	11,811千円
事業内容	男女共同参画支援センター、地域子育て支援基幹センター、ファミリー・サポート・センター、観光案内所、民間保育園及び宇治駅前交番の複合施設であるJR宇治駅前市民交流プラザ（ゆめりあ うじ）の施設管理を行う。		
成果・実績	男女共同参画、子育て支援、観光など市民交流のための複合施設として多くの利用を図るため、機械設備総合管理業務、清掃業務、駐車場料金精算システム保守業務を委託し施設の適正管理に努めた。		
事業評価	施設を適切に管理運営することにより、男女問わず幅広い年代の市民及び観光客の利用に供することができた。市民交流の場として活用されるように施設の周知に努めるとともに、今後も適正な管理運営に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	地球温暖化対策関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	6,111千円
事業内容	本市域から発生する温室効果ガスを平成35年度までに平成2年度比で25%以上削減するため、「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」等に基づき、市民・事業者に対して温室効果ガス排出量削減に対する効果的な取組の普及啓発を行うとともに、市自ら温室効果ガス排出量削減対策を推進する。		
成果・実績	<p>◎エコファミリー推進事業費 95千円 家庭の温室効果ガス排出量削減を目的に、市立小学校1年生の児童に対して啓発マグネットを配布し家庭での省エネを啓発した。</p> <p>◎地球温暖化対策推進事業費 354千円 宇治環境フェスタを開催し、地球温暖化対策等の普及啓発を図った。延べイベント参加者数は2,029人であった。</p> <p>◎公共施設温室効果ガス削減対策事業費 5,662千円 「宇治市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」に基づき、夏冬の節電期間に合わせ公共施設の蛍光灯のLED化を実施した。夏冬合わせて4施設で458台をLED化し、年間のCO₂削減量は29.3t-CO₂となる。</p>		
事業評価	計画に基づき、各種市民・事業者に対する地球温暖化防止活動の普及啓発及び市自らの温室効果ガス排出量削減対策の推進などに取り組んだことにより、温室効果ガスの排出抑制を図ることができた。国及び京都府の動向を注視し、今後も引き続きより効果の発揮される取組を検討する必要がある。		

事務事業名	家庭用雨水タンク設置事業費補助金	所管課	環境企画課				
		決算額	1,490千円				
事業内容	雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図るため、雨水タンクを設置する者に対し購入費用の一部を補助する。						
成果・実績	<p>補助対象となる雨水タンク設置費に対して、費用の一部を補助した。 府補助1/4 市補助1/2 上限45,000円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">補助件数</th> <th style="width: 15%;">交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">58件</td> <td style="text-align: center;">1,490</td> </tr> </tbody> </table>			補助件数	交付金額 (千円)	58件	1,490
補助件数	交付金額 (千円)						
58件	1,490						
事業評価	雨水タンクの設置費用の一部を補助したことにより、雨水タンクの設置を促進し雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図ることができた。これまでの設置状況及び補助申請の動向を検証する中で、今後の取組を検討する必要がある。						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金	所管課	環境企画課				
		決算額	8,773千円				
事業内容	家庭におけるエネルギー自立化を促進するため、住居に太陽光発電・蓄電設備を同時設置した者に対し設置費用の一部を補助する。						
成果・実績	補助対象となる太陽光発電・蓄電設備設置費に対して、設置費用の一部を補助した。 太陽光発電量1kW当たり1万円 上限4万円 蓄電容量1kWhあたり6万円 上限36万円						
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">補助件数</td> <td style="padding: 5px;">交付額 (千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">24件</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">8,773</td> </tr> </table>	補助件数	交付額 (千円)	24件	8,773		
補助件数	交付額 (千円)						
24件	8,773						
事業評価	家庭におけるエネルギー自立化を促進するため、設備の設置費用に対し補助を行うことにより、市内の温室効果ガス排出量の低減に努めた。補助申請の動向を確認しつつ、引き続き適正に補助を実施する。						

事務事業名	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議運営費	所管課	環境企画課																		
		決算額	223千円																		
事業内容	「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」を進めるため、市民・事業者・行政が協働して地球温暖化防止活動の全市的な普及啓発を行う「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を運営する。																				
成果・実績	環境学習推進グループ、エコライフ推進グループ、みどりのまちづくり推進グループ、森林保全グループ、広報グループ、再生可能エネルギー推進グループの6グループで、市民に対し身近で楽しみながら実践できる地球温暖化防止活動の普及啓発を行った。																				
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">家庭の省エネ相談所</td> <td style="width: 33%;">15回開設</td> <td style="width: 34%;">宇治環境フェスタ出展</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテン講習会</td> <td>7回講師派遣</td> <td>環境展出展</td> </tr> <tr> <td>エコットクッキング教室</td> <td>2回開催</td> <td>どんぐりプロジェクト実施</td> </tr> <tr> <td>エコツアー</td> <td>1回実施</td> <td style="text-align: right;">ほか</td> </tr> <tr> <td>イベント参加者</td> <td>総計2,000人以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広報紙</td> <td>年4回発行 総計4,000部</td> <td></td> </tr> </table>			家庭の省エネ相談所	15回開設	宇治環境フェスタ出展	緑のカーテン講習会	7回講師派遣	環境展出展	エコットクッキング教室	2回開催	どんぐりプロジェクト実施	エコツアー	1回実施	ほか	イベント参加者	総計2,000人以上		広報紙	年4回発行 総計4,000部	
家庭の省エネ相談所	15回開設	宇治環境フェスタ出展																			
緑のカーテン講習会	7回講師派遣	環境展出展																			
エコットクッキング教室	2回開催	どんぐりプロジェクト実施																			
エコツアー	1回実施	ほか																			
イベント参加者	総計2,000人以上																				
広報紙	年4回発行 総計4,000部																				
事業評価	「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を市民・事業者・行政が協働して運営することにより、地球温暖化対策を推進することができた。今後は、市民に対する地球温暖化対策の普及啓発を強化するとともに、事業者の参加促進及び効果的・効率的な運営方法のあり方について検討する必要がある。																				

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	


事務事業名	緑のカーテン推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	806千円
事業内容	地球温暖化対策としての緑のカーテンを普及させるため、市自ら緑のカーテンを設置することで市民に啓発するとともに、市民・事業者向けに講習会及びコンテストなどを実施する。		
成果・実績	市庁舎議会棟南側等において、緑のカーテンを設置し、普及啓発及び庁舎の温室効果ガス排出量の削減を図った。また、小学校（2校）、中学校（4校）、幼稚園（4園）、保育所（7カ所）、その他公共施設（14施設）及び1つの商店街が、緑のカーテンに取り組んだ。緑のカーテンを設置した施設においては、冷房の使用頻度が減少するとともに、市民への啓発に寄与した。また、緑のカーテン講習会を7回実施し、162人の市民が参加した。本年度は市民向けに議会棟緑のカーテン植付体験を実施し、19人の市民が参加した。コンテストには20件の応募があり、市長賞等7件を表彰した。		
事業評価	緑のカーテンの設置及び普及啓発活動を実施したことにより、庁舎の温室効果ガス排出量の削減等地球温暖化対策を推進することができた。地球環境対策に取り組む気運を醸成するため、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	02 環境保全対策の強化	


事務事業名	ISO14001推進費	所管課	環境企画課
		決算額	574千円
事業内容	「宇治市第2次環境保全計画」の望ましい環境像である『宇治の豊かな「歴史・文化」と「自然」を守り育て、将来にわたって安心して暮らせる「ふるさと宇治」』の実現のため、ISO14001環境マネジメントシステムを運用し、市の事務事業における環境負荷低減を継続的に実施する。		
成果・実績	本市のISO14001の取組は、これまでに蓄積した環境マネジメントシステム運用の経験とノウハウを活かし、平成25年4月に「自己適合宣言」へと移行した。 平成28年8月には外部審査を受け、本市の環境マネジメントシステムがISO14001の規格に適合しているものと判断された。		
事業評価	「自己適合宣言」移行後の市独自の環境マネジメントシステムもISO14001の規格に適合した運用となっており、継続的に環境負荷の低減を図ることができた。平成27年9月のISO14001改訂を契機として、今後は、平成30年度からの独自規格による環境マネジメントシステムの運用開始に向けて検討する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進		
小分類	02 環境保全対策の強化		


事務事業名	環境保全関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	12,408千円
事業内容	<p>市内における生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。</p> <p>◎環境監視費 2,095千円 ◎発生源監視費 934千円 ◎自動車排出ガス監視測定局運営費 9,379千円</p>		
事業評価	<p>市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施することにより、生活環境保全に努めることができた。測定結果を公表し周知するとともに、安定的な環境及び発生源監視測定を今後も引き続き実施する。</p>		


総合計画の体系			所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち		市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進		
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進		

事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課
		決算額	2,078千円
事業内容	<p>狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付など事務を行う。</p>		
成果・実績	<p>市内公共施設を中心に計24カ所で集合注射接種会場を設け、769頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに564頭の登録を行い、総登録数11,103頭となった。</p>		
事業評価	<p>狂犬病予防注射の集合注射及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与することができた。公衆衛生のさらなる向上を図るため、今後も引き続き実施する。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	

事務事業名	環境衛生対策関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	1,740千円
事業内容	良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。		
成果・実績	◎そ族及び衛生害虫対策費 1,584千円 野蜂駆除 367件 トビケラ駆除薬剤散布 年3回（宇治川兩岸）		
	◎あき地雑草等除去費 156千円 指導・助言件数 50件（11,822㎡） 処理件数 50件（11,822㎡）		
事業評価	衛生害虫対策、あき地の適正管理に関する指導などを実施したことにより、生活環境の保全を図ることができた。今後も引き続き実施する。		

事務事業名	斎場施設運営費	所管課	環境企画課							
		決算額	79,445千円							
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬・葬祭等の利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。									
成果・実績	（一財）宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、円滑な斎場管理・運営を実施した。									
	斎場利用実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>火葬場</td> <td>3,164 件</td> </tr> <tr> <td>待合室</td> <td>662 件</td> </tr> <tr> <td>安置室</td> <td>105 件</td> </tr> <tr> <td>葬祭場</td> <td>104 件</td> </tr> </table>			火葬場	3,164 件	待合室	662 件	安置室	105 件	葬祭場
火葬場	3,164 件									
待合室	662 件									
安置室	105 件									
葬祭場	104 件									
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営できた。市民ニーズの状況を把握・分析し、今後も適切な施設管理に努める必要がある。									

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課										
		決算額	25,628千円										
事業内容	<p>市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、墓地公園を利用する全ての人に癒えるくつろぎの場を提供する。毎月1日と彼岸・盆には無料の送迎バスを運行し、墓地使用者の利便を図っている。</p> <p>また、公営の墓地として公平性・持続性を踏まえた墓地運営を行い、使用者が永代にわたって安心して墓参できる墓園環境を保持する。</p>												
成果・実績	<p>(一財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、円滑な墓地公園事業を実施した。また、墓所使用者を年1回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用区画数は、2,969区画となった。</p> <p>宇治市天ヶ瀬墓地公園のあり方検討委員会を6月に設置し、計3回開催した。墓地公園の現状、今後の墳墓需要の予測及び墓地に関する調査結果を基に、今後の望ましいあり方について提言が取りまとめられた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>新規使用許可数</caption> <thead> <tr> <th>面積</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2㎡</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>3㎡</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>4㎡</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table>			面積	件数	2㎡	7件	3㎡	0件	4㎡	2件	合計	9件
面積	件数												
2㎡	7件												
3㎡	0件												
4㎡	2件												
合計	9件												
事業評価	<p>指定管理者によって適切に管理運営できた。市民ニーズの状況を把握・分析し、今後も適切な施設管理に努める必要がある。墓地公園のあり方検討委員会からの提言を踏まえた施設整備を検討する。</p>												

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進	

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課																
		決算額	896千円																
事業内容	<p>生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。</p>																		
成果・実績	<p>下水道事業計画区域外等の地域において補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>人槽</th> <th>設置数</th> <th>補助単価 (千円)</th> <th>交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>1</td> <td>332</td> <td>332</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>0</td> <td>414</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>1</td> <td>548</td> <td>548</td> </tr> </tbody> </table>			人槽	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)	5	1	332	332	7	0	414	0	10	1	548	548
人槽	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)																
5	1	332	332																
7	0	414	0																
10	1	548	548																
事業評価	<p>浄化槽設置費用の一部を補助したことにより、浄化槽設置を促進し、河川・水路等の水質改善に寄与した。国の動向を注視し、今後も引き続き実施する。</p>																		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進	

事務事業名	不法投棄防止対策事業費	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	1,904千円
事業内容	不法投棄の抑止及び不法投棄されたごみ等の回収のため、特に不法投棄が多い市内山間地について、地域住民にパトロールを委託する。		
成果・実績	◎不法投棄監視業務委託費 1,904千円 延べ 544人、292日		
事業評価	不法投棄されたごみ等を早期発見し回収することにより、不法投棄の連鎖的な発生を抑止することができた。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進	

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	ごみ減量推進課	
		決算額	374千円	
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に定められた再資源化率が達成可能な再資源化施設に運搬し、同法に準じた適切な処理を図る。			
成果・実績	◎廃家電運搬処理委託費 371千円			
	不法投棄分処理台数 (台)			
	年度	26	27	28
	品目			
	テレビ	86	90	46
	冷蔵庫（冷凍庫含む）	39	22	19
	洗濯機・衣類乾燥機	7	9	6
	エアコン	2	1	2
	パソコン	3	8	1
	その他	1	2	1
	合 計	138	132	75
事業評価	「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に基づき、不法投棄された廃家電及びパソコンについて、適切に処理することができた。			

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進	

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業費	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	330,658千円

事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を民間委託を活用しながら実施する。
------	--

成果・実績	◎可燃物等収集運搬委託費	165,066千円			
	◎不燃物収集運搬委託費	108,479千円			
	◎びん・ペットボトル収集運搬委託費	52,227千円			
	◎溝土収集運搬委託費	4,886千円			
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)	収集方法等		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	可燃ごみ	24,720	24,597	24,169	直営 (一部委託)
	不燃ごみ	8,534	6,373	5,963	委託 (一部地域除く)
	プラマーク (発泡トレイ類含む)	455	1,909	1,789	直営 (27年1月開始)
	缶	314	326	317	直営 (一部委託)
	びん	1,114	1,129	1,088	委託 (一部地域除く)
	ペットボトル	467	487	510	委託 (一部地域除く)
	発泡トレイ類	59	—	—	委託 (一部地域除く) (26年12月まで)
	紙パック	25	22	20	直営
溝土	50	48	44	委託	
家電リサイクル法 対象家電製品	80台	91台	99台	直営	
死獣	6	5	5	直営 (一部委託)	
小型家電	11	9	6	直営	
ごみ出しが困難な高齢者世帯等に対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施 ふれあい収集 総世帯数410世帯(平成28年度末現在)					

事業評価	一般家庭から排出される廃棄物について、民間委託を活用しながら適切に収集することにより、快適な市民生活を支えることができた。
------	---

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	ごみ減量推進課																			
		決算額	41,976千円																			
事業内容	本市と協定を締結した古紙類の集団回収に取り組む町内会・自治会等に対し、民間再生事業者に引き渡した古紙類の量に応じて報償金を交付する。																					
成果・実績	<p>引き渡した古紙類の量に応じて、1kgあたり5円の報償金を交付した。</p> <p>◎古紙回収報償金 41,628千円</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">種別</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">各年度の古紙類回収量 (t)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">26</th> <th style="text-align: center;">27</th> <th style="text-align: center;">28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">集団回収</td> <td style="text-align: center;">8,914</td> <td style="text-align: center;">8,834</td> <td style="text-align: center;">8,326</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">直営回収</td> <td style="text-align: center;">239</td> <td style="text-align: center;">237</td> <td style="text-align: center;">231</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">9,153</td> <td style="text-align: center;">9,071</td> <td style="text-align: center;">8,557</td> </tr> </tbody> </table>			種別	各年度の古紙類回収量 (t)			26	27	28	集団回収	8,914	8,834	8,326	直営回収	239	237	231	合 計	9,153	9,071	8,557
種別	各年度の古紙類回収量 (t)																					
	26	27	28																			
集団回収	8,914	8,834	8,326																			
直営回収	239	237	231																			
合 計	9,153	9,071	8,557																			
事業評価	当該事業により、市民のリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化と資源のリサイクルを促進することができた。集団回収の状況を把握・分析に努める中で、今後も引き続き実施する。																					

事務事業名	ごみ減量化促進対策費	所管課	ごみ減量推進課																							
		決算額	272千円																							
事業内容	可燃ごみの減量化に効果がある生ごみ堆肥化容器及び機器を購入した世帯に対して、購入補助金を交付する。																									
成果・実績	<p>◎生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 272千円</p> <p style="text-align: center;">生ごみ堆肥化容器等購入費補助実績 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">品目</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">年度</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">26</th> <th style="text-align: center;">27</th> <th style="text-align: center;">28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">電気式機器補助基数</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コンポスト補助基数</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ぼかし容器補助基数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">23</td> </tr> </tbody> </table>			品目	年度			26	27	28	電気式機器補助基数	21	19	14	コンポスト補助基数	12	3	6	ぼかし容器補助基数	1	1	3	合 計	34	23	23
品目	年度																									
	26	27	28																							
電気式機器補助基数	21	19	14																							
コンポスト補助基数	12	3	6																							
ぼかし容器補助基数	1	1	3																							
合 計	34	23	23																							
事業評価	生ごみ堆肥化容器等の購入費用の一部を補助したことにより、市民のごみの減量化に対する意識の向上を図ることができた。今後はごみの減量化への効果及び市民ニーズの把握と現状の分析に努める中で効果的・効率的な手法に向けた検討をする必要がある。																									

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉子ども部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	211千円
事業内容	「宇治市地域福祉計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。		
成果・実績	平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」に掲げた事業の進行管理を行い、地域福祉の推進を図った。 地域福祉推進委員会開催数 1回		
事業評価	地域福祉推進委員会での議論を踏まえて、「第2期宇治市地域福祉計画」に定める各事業の進行管理、評価を実施し、地域福祉の推進に努めた。社会福祉協議会が策定する「宇治市地域福祉活動計画」との連携を図り、住民主体による地域福祉の実現に向けた取組を今後も引き続き実施する。		

事務事業名	宇治市社会福祉協議会補助金	所管課	地域福祉課
		決算額	65,662千円
事業内容	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。		
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金 53,288千円 ◎福祉活動専門員設置事業補助金 2,535千円 ◎福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金 980千円 ◎ボランティアコーディネーター設置事業補助金 1,959千円 ◎ふれあい福祉センター事業補助金 3,600千円 ◎学区福祉委員会活動事業補助金 3,300千円 		
事業評価	民間組織の自主性と法に基づく公共性を持つ社会福祉協議会の活動を支援し、地域住民が主体となった地域福祉の推進を図ることができた。少子高齢化の進展に伴い、福祉ニーズが複雑・多様化する中で、今後の連携・協働のあり方を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉子ども部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	38,468千円						
事業内容	民生委員法・児童福祉法に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。								
成果・実績	民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎民生児童委員活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">36,344千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">360千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金</td> <td style="text-align: right;">1,764千円</td> </tr> </table>			◎民生児童委員活動費補助金	36,344千円	◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	1,764千円
◎民生児童委員活動費補助金	36,344千円								
◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円								
◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	1,764千円								
事業評価	民生児童委員活動への助成を通して、地域福祉の推進を図ることができた。少子高齢化の進展等の社会状況の変化に伴い、その活動は複雑・多様化しており、民生児童委員の確保に努めるとともに、相談等に対処するため研修活動及び委員相互の連携強化に努める必要がある。京都府制度とあわせて活動支援を今後も引き続き実施する。								

事務事業名	総合福社会館管理運営費	所管課	地域福祉課				
		決算額	27,942千円				
事業内容	(福)宇治市社会福祉協議会を指定管理者(平成27～31年度)として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福社会館(昭和58年1月開館)を管理・運営する。						
成果・実績	宇治市総合福社会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕を行った。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎総合福社会館指定管理料</td> <td style="text-align: right;">26,680千円</td> </tr> <tr> <td>◎総合福社会館修繕費等</td> <td style="text-align: right;">1,262千円</td> </tr> </table>			◎総合福社会館指定管理料	26,680千円	◎総合福社会館修繕費等	1,262千円
◎総合福社会館指定管理料	26,680千円						
◎総合福社会館修繕費等	1,262千円						
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。本市の福祉拠点施設として、今後も指定管理者と連携し適切な施設管理に努めるとともに、施設の老朽化及び利用者ニーズの多様化による設備改修の要望もあることから、引き続き対応を検討する必要がある。						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	社会福祉施設等振興備品配付事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	12,648千円
事業内容	福祉基金を取り崩し、市内の社会福祉施設等に対して振興備品を贈呈する。		
成果・実績	福祉基金を活用し、市内の社会福祉施設等に対して振興備品を配付した。 ◎対象 41法人（団体） 85施設 ◎振興備品購入費 12,648千円 （127品目）		
事業評価	宇治市福祉基金条例に基づき、福祉基金を活用して市内の社会福祉施設等に対して振興備品を配付し、社会福祉事業の推進を図ることができた。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																		
		決算額	3,220千円																																		
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託し、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、冬期）、貸付限度額10万円（夏期・冬期の合計）、償還期間最長20カ月返済で貸し付ける。																																				
成果・実績	<p>厳しい生活状況に置かれた市民に対して、本事業により生活の安定を図った。平成28年度は件数、金額ともに平成27年度と比べ減少となった。</p> <p style="text-align: center;">くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成26年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>19</td> <td>1,900</td> <td>16</td> <td>1,560</td> <td>10</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>23</td> <td>2,250</td> <td>19</td> <td>1,850</td> <td>16</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42</td> <td>4,150</td> <td>35</td> <td>3,410</td> <td>26</td> <td>2,600</td> </tr> </tbody> </table>				平成26年度		平成27年度		平成28年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	19	1,900	16	1,560	10	1,000	冬期	23	2,250	19	1,850	16	1,600	合計	42	4,150	35	3,410	26	2,600
	平成26年度		平成27年度		平成28年度																																
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																															
夏期	19	1,900	16	1,560	10	1,000																															
冬期	23	2,250	19	1,850	16	1,600																															
合計	42	4,150	35	3,410	26	2,600																															
事業評価	資金貸付により、低所得者等の生活意欲の向上と自立助成に一定の効果を挙げることができた。今後も業務を委託している（福）宇治市社会福祉協議会と引き続き連携し、さらなる償還率の向上に努めるとともに、情勢に応じた制度のあり方について検討する必要がある。																																				

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	臨時福祉給付金給付事業費	所管課	地域福祉課								
		決算額	677,666千円								
事業内容	平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、低所得者の負担を緩和するため、臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給する。										
成果・実績	<p>◎高齢者向け臨時福祉給付金 平成27年1月1日時点で本市に住民登録がある人で、平成27年度の市民税（均等割）が非課税の65歳以上の高齢者（課税者の扶養親族及び生活保護受給者などは除く）に対し、1人につき3万円を支給した。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>支給人数</td> <td style="text-align: right;">17,004人</td> </tr> <tr> <td>支給金額</td> <td style="text-align: right;">510,120千円</td> </tr> </table> <p>◎平成28年度臨時福祉給付金及び障害・遺族年金受給者向け給付金 平成28年1月1日時点で本市に住民登録がある人で、平成28年度の市民税（均等割）が非課税の人（課税者の扶養親族及び生活保護受給者などは除く）に対し、1人につき3千円（障害・遺族基礎年金等の受給者は3万3千円）を支給した。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>支給人数</td> <td style="text-align: right;">28,876人</td> </tr> <tr> <td>支給金額</td> <td style="text-align: right;">117,018千円</td> </tr> </table>			支給人数	17,004人	支給金額	510,120千円	支給人数	28,876人	支給金額	117,018千円
支給人数	17,004人										
支給金額	510,120千円										
支給人数	28,876人										
支給金額	117,018千円										
事業評価	国制度に基づき、「臨時福祉給付金」を支給し、低所得者の負担を緩和することができた。										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	住居確保給付金給付費	所管課	生活支援課
		決算額	1,749千円
事業内容	離職後2年以内及び65歳未満で、就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者または喪失するおそれのある者に対して、住居確保給付金を支給することにより、これらの者の住居費及び就労活動を支援する。		
成果・実績	◎支給状況等 支給対象者数 10人 支給額合計 1,749千円 支給決定者数 10人 不支給決定者数 0人 ◎就労状況 平成28年度に支給した10人中3人（30%）が常用就職できた。		
事業評価	生活困窮者自立支援法に基づき適正に執行し、失業者に対するセーフティネットとしての役割を果たすことができた。雇用対策としての取組でもあり、ハローワーク及び京都府との連携に努める必要がある。		

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課														
		決算額	48,133千円														
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより、平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容は今までの生活保護費に代わるものである。																
成果・実績	中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給及び日本語教室の開催などの支援を行った。 ◎中国残留邦人等支援給付費 43,927千円（対象：16世帯、21人） ◎中国残留邦人等支援事務費 2,138千円 ◎中国残留邦人生活支援日本語教室等委託料 2,068千円 支援給付費決算額 (千円) <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>支援の種類</th> <th>生活</th> <th>住宅</th> <th>介護</th> <th>医療</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援給付費</td> <td style="text-align: right;">16,916</td> <td style="text-align: right;">3,082</td> <td style="text-align: right;">952</td> <td style="text-align: right;">22,977</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">43,927</td> </tr> </tbody> </table>			支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	支援給付費	16,916	3,082	952	22,977	0	43,927
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計											
支援給付費	16,916	3,082	952	22,977	0	43,927											
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象者の生活支援を図ることができた。																

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																						
		決算額	4,781,354千円																						
事業内容	<p>日本国憲法第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。</p>																								
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭など扶助を実施した。被保護世帯は平成28年度中の月平均で2,081世帯、被保護人員は、3,083人であった。</p> <p style="text-align: center;">平成28年度生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>扶助の種類</th> <th>扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活</td><td style="text-align: right;">1,617,418</td></tr> <tr><td>住宅</td><td style="text-align: right;">762,600</td></tr> <tr><td>教育</td><td style="text-align: right;">36,175</td></tr> <tr><td>介護</td><td style="text-align: right;">92,417</td></tr> <tr><td>医療</td><td style="text-align: right;">2,210,913</td></tr> <tr><td>出産</td><td style="text-align: right;">91</td></tr> <tr><td>生業</td><td style="text-align: right;">24,197</td></tr> <tr><td>葬祭</td><td style="text-align: right;">8,209</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">29,334</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">4,781,354</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,617,418	住宅	762,600	教育	36,175	介護	92,417	医療	2,210,913	出産	91	生業	24,197	葬祭	8,209	その他	29,334	合計	4,781,354
扶助の種類	扶助費																								
生活	1,617,418																								
住宅	762,600																								
教育	36,175																								
介護	92,417																								
医療	2,210,913																								
出産	91																								
生業	24,197																								
葬祭	8,209																								
その他	29,334																								
合計	4,781,354																								
事業評価	<p>国制度に基づき適正に執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図ることができた。今後も受給者の経済的自立を目指すとともに、濫給防止、漏給防止に配慮しながら法令遵守を徹底し、生活保護運営に努める必要がある。</p>																								

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課				
		決算額	1,896千円				
事業内容	<p>平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。</p>						
成果・実績	<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">貸付件数</td> <td style="text-align: right;">150件</td> </tr> <tr> <td>貸付額合計</td> <td style="text-align: right;">1,896千円</td> </tr> </table>			貸付件数	150件	貸付額合計	1,896千円
貸付件数	150件						
貸付額合計	1,896千円						
事業評価	<p>適正に貸付を行うことにより、対象者の生活安定を図ることができた。新規申請者の増減等を考慮し、的確な状況把握及び関連施策と連携に努めながら、今後も引き続き実施する。</p>						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者福祉基本計画施策推進協議会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	358千円
事業内容	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を年2回程度開催し、障害者福祉基本計画に沿った障害者に関わる事業を報告し、その意見を聞く。		
成果・実績	「第4期宇治市障害福祉計画」の進捗状況を報告し、その意見を聴くことができた。また、宇治市地域自立支援協議会の取組について報告を行った。		
事業評価	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を開催することにより、協議会委員の意見を施策に反映することができた。今後も、制度改正に的確に対応していくため、国・京都府の動向を注視しながら、協議会の運営に努める必要がある。		

事務事業名	障害者介護給付費等支給認定審査会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,463千円
事業内容	障害者の介護給付費等の支給申請に対し、障害者の障害支援区分に関する審査及び判定を行う。		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づき、障害者の障害支援区分を審査判定する審査会を開催し、審査判定を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">審査会開催数 24回 審査判定件数 381件 （宇治田原町分14件を含む）</p>		
事業評価	障害者総合支援法に基づき適正に運営した。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	273,457千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	◎自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去または軽減し、日常生活及び職業生活に適応するように改善するため、医療費の一部を880人に支給した。（入院・通院重複分は除く） ◎自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法、ストマ周辺の感染防止等のための治療、及びぼうこう・直腸の機能障害の原因疾患の治療を受けている該当障害3級の手帳所持者37人に対し、医療費の一部を支給した。		
事業評価	国・京都府制度に基づき適正に医療費を支給することにより、身体の機能障害を除去または軽減させる治療を促進することができた。京都府及び医療機関と連携し、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課						
		決算額	133,028千円						
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。								
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">特別障害者手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">3,728 人</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">2,194 人</td> </tr> <tr> <td>経過的福祉手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">72 人</td> </tr> </table>			特別障害者手当延べ支給人数	3,728 人	障害児福祉手当延べ支給人数	2,194 人	経過的福祉手当延べ支給人数	72 人
特別障害者手当延べ支給人数	3,728 人								
障害児福祉手当延べ支給人数	2,194 人								
経過的福祉手当延べ支給人数	72 人								
事業評価	国制度に基づき適正に手当を支給することにより、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図ることができた。								

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,992,326千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;">障害者介護給付利用延べ人数 16,613 人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき個々の障害の状態に応じて給付を実施したことにより、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。</p>		

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	912,139千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な就労訓練等を行うことにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;">障害者訓練等給付利用延べ人数 7,020 人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき個々の障害の状態に応じて給付を実施したことにより、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。</p>		

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	50,039千円
事業内容	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。 給付件数 4,415 件		
事業評価	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与したことにより、障害児・者の日常生活を支援することができた。適正な事業運営に努めながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	45,464千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いす等の補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 延べ支給件数 488 件		
事業評価	障害者総合支援法に基づき適正に事務を執行し、障害者の自立を促進することができた。今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者意思疎通支援事業費	所管課	障害福祉課				
		決算額	4,375千円				
事業内容	聴覚障害者に対し、日常生活及び社会生活に必要な意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者、要約筆記者の派遣を行う。						
成果・実績	<p>聴覚障害者の意思疎通支援を行うため、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td>手話通訳者派遣延べ件数</td> <td style="text-align: right;">506 件</td> </tr> <tr> <td>要約筆記者派遣延べ件数</td> <td style="text-align: right;">511 件</td> </tr> </table>			手話通訳者派遣延べ件数	506 件	要約筆記者派遣延べ件数	511 件
手話通訳者派遣延べ件数	506 件						
要約筆記者派遣延べ件数	511 件						
事業評価	手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障害者の意思疎通の円滑化及び社会参加を促進することができた。効率的な支援が実施できるように利用者のニーズ等の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課						
		決算額	1,717千円						
事業内容	聴覚障害者の意思疎通支援を行う手話奉仕員を養成する養成講座を開催する。								
成果・実績	<p>市内在住・在勤・在学の方を対象に、手話奉仕員養成講座を実施した。 手話奉仕員の早期養成のため、これまで2カ年で実施していた養成講座を1カ年の講座課程で実施した。</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td>受講者数</td> <td>前期課程</td> <td style="text-align: right;">22 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>後期課程</td> <td style="text-align: right;">22 人</td> </tr> </table>			受講者数	前期課程	22 人		後期課程	22 人
受講者数	前期課程	22 人							
	後期課程	22 人							
事業評価	講座課程を1カ年で実施し、早期に手話奉仕員を養成することにより、さらなる聴覚障害者の意思疎通支援に努めることができた。講座課程を変更したことの効果を検証し、より学習効果が高まる手法の検討に努める必要がある。								

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	福祉タクシー扶助費	所管課	障害福祉課
		決算額	36,052千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成する。		
成果・実績	1カ月あたり1,200円の福祉タクシー利用券を交付し、タクシー料金の一部助成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 交付件数 3,588 件 </div>		
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券の交付を行うことにより、外出困難な重度心身障害者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図ることができた。利用状況の的確な把握、分析に努め、より効果的な実施方法について引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課				
		決算額	3,863千円				
事業内容	身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料並びに特別障害者手当等認定請求（新規）時に要する診断書料の全部または一部を助成することで、障害者の経済的負担を軽減する。						
成果・実績	手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。 <div style="margin-top: 10px;"> <p>◎診断書料の自己負担に対する延べ助成件数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時</td> <td style="text-align: right;">1,230 件</td> </tr> <tr> <td>特別障害者手当等の認定請求時</td> <td style="text-align: right;">57 件</td> </tr> </table> </div>			身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時	1,230 件	特別障害者手当等の認定請求時	57 件
身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時	1,230 件						
特別障害者手当等の認定請求時	57 件						
事業評価	各種制度の申請に要する診断書料の助成を行うことにより、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。申請状況等を的確に把握する中で、今後も引き続き実施する。						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課						
		決算額	3,129千円						
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。								
成果・実績	<p>宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作及びゲームなどのプログラムを通して、作業能力及び生活能力を高め、社会生活への適応を図ることができるように、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を開催した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中途失明者点字講習会開催数</td> <td style="text-align: right;">96回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">精神障害者社会復帰集団指導事業開催数</td> <td style="text-align: right;">40回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">297人</td> </tr> </table>			中途失明者点字講習会開催数	96回	精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回	精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	297人
中途失明者点字講習会開催数	96回								
精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回								
精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	297人								
事業評価	各種生活支援事業を実施したことにより、障害者の自立した社会生活と社会参加の促進及び生活の質的向上を図ることができた。本事業が唯一の社会参加の場、他者との交流の場となっている障害者もあり、利用状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。								

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	16,041千円
事業内容	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
成果・実績	4カ所の地域活動支援センターに通う延べ793人の障害者に対し支援を行った。		
事業評価	地域活動支援センターにおける社会交流等の事業を実施したことにより、障害者の自立した社会生活及び社会参加を促進できた。支援状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害児通所給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	332,664千円
事業内容	児童福祉法に基づき、障害児が利用する児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所に係る費用について給付を行うとともに、それに伴う相談支援等についても給付を行う。		
成果・実績	児童福祉法に基づく児童福祉サービスの利用に対し、障害児通所給付費の給付を行った。 障害児通所給付利用延べ人数 7,029 人		
事業評価	児童福祉法に基づく障害児通所支援及び障害児相談支援を実施し、障害児の福祉の推進を図ることができた。国、京都府と連携しながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	障害者自立支援医療費(育成医療)	所管課	障害福祉課
		決算額	2,307千円
事業内容	障害者総合支援法に基づき、児童福祉法第4条第2項に規定する障害児(治療を行わないと将来障害を残すと認められる疾患がある児童を含む。)で、当該身体障害又は疾患に係る医療によって確実に効果が期待できる者に対して提供される、生活の能力を得るために必要な自立支援医療費の支給を行う。		
成果・実績	身体に障害のある18歳未満の児童に対して、生活の能力を得るために必要な医療費の一部を52人に支給した。		
事業評価	障害者総合支援法に基づき適正に医療費を支給し、障害児の身体障害を除去及び軽減することができた。的確かつ円滑な事務の遂行に努めるとともに、国、京都府及び医療機関と連携しながら、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課				
		決算額	849千円				
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童の養育・保護を行う。						
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">実施施設</td> <td>桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町）</td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td style="text-align: center;">78日</td> </tr> </table>			実施施設	桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町）	利用日数	78日
実施施設	桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町）						
利用日数	78日						
事業評価	児童の一時的な養育を行うことにより、保護者・児童への支援を図ることができた。年度により利用件数の増減はあるものの、セーフティネットとしての機能と役割があるため、制度の周知に努めながら、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課								
		決算額	6,056千円								
事業内容	保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。										
成果・実績	<p>ファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を支援した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">援助会員数</td> <td>128人</td> </tr> <tr> <td>依頼会員数</td> <td>1,412人</td> </tr> <tr> <td>両方会員数</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>1,296件</td> </tr> </table>			援助会員数	128人	依頼会員数	1,412人	両方会員数	32人	利用件数	1,296件
援助会員数	128人										
依頼会員数	1,412人										
両方会員数	32人										
利用件数	1,296件										
事業評価	市民で構成される会員組織を運営し、地域における相互援助活動を支援したことにより、安心して働くことのできる環境づくりを推進することができた。多様化するニーズ等の状況の把握、分析に努めるとともに、安全面等にも十分留意しながら利用促進に努める必要がある。										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	児童虐待防止対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	630千円
事業内容	<p>児童虐待の未然防止と早期発見のために、児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置している。要保護児童対策地域協議会代表者会議を年2回、要保護児童対策地域協議会調整会議を年6回開催している。</p>		
成果・実績	<p>代表者会議（年2回）では、関係機関等の代表者らの出席のもと、児童虐待の現状とケースの報告を行うとともに、関係機関等の連携を深めた。 調整会議（年6回）には、関係機関等の実務担当者が出席し、市と児童相談所の児童虐待ケースの情報を共有し、援助方針を話し合い、連携を深めた。 また、児童相談所と市関係課の実務者による、支援内容の検討会議を年5回実施し、関係機関との情報共有に努めた。</p> <p style="margin-left: 40px;">代表者会議開催日 8月24日、平成29年3月3日 調整会議開催日 奇数月の第3金曜日 児童虐待ケースの延べ対応件数 427件</p>		
事業評価	<p>児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、児童虐待の未然防止と早期発見に努めることができた。対応件数の増加及びケースの深刻化に対応するため、より一層の関係機関との情報共有及び密接な連携に努める必要がある。</p>		

事務事業名	児童虐待防止対策緊急強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	2,657千円
事業内容	<p>児童虐待の未然防止と早期発見のために、地域子育て支援基幹センター（児童虐待担当）の体制を強化し、児童相談所との連携強化及び相談ケースへの対応力の向上を図るとともに、啓発及び研修など様々な取組を実施し、児童虐待防止対策の緊急的な強化を図る。</p>		
成果・実績	<p>地域子育て支援基幹センターにおいて専門職員を継続して配置し、児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、相談ケースへの対応力のさらなる強化を図った。また、要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象に、研修会を開催した。 広報・啓発活動としては、子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」を、男女共同参画課と共催で実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">嘱託職員配置 専門職員を継続配置 研修会開催日 11月24日 キャンペーン実施内容 街頭啓発・パネル展示・関連図書展示等</p>		
事業評価	<p>専門職員を配置し児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、研修会の開催及び広報・啓発活動などを実施したことにより、児童虐待の緊急的な防止対策の強化を図ることができた。相談件数の増加及びケースの深刻化に対応するため、今後も引き続き実施する。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	


事務事業名	しあわせ子育て・子育て応援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	1,962千円
事業内容	<p>子どもが生まれた家庭に子どもを生き育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用してもらうように広報する。</p>		
成果・実績	<p>お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。</p> <p>このうち、平成28年度から子育て情報誌については、有料広告事業を活用してフルカラー化を行うとともに紙面内容の充実を図った。また、子育て家庭に幅広く活用していただけるように、未就学児のいる全家庭に郵送による配布を行った。</p> <p>記念品等送付世帯数 1,180世帯</p> <p>情報誌送付世帯数 6,915世帯</p>		
事業評価	<p>子育て支援の第一歩として記念品等を送付し、子どもの健やかな成長への支援と親の子育てへの喜びの増進を図ることができた。また、子育て情報誌の紙面内容を充実させるとともに、未就学児のいる全家庭に配布し、子育て情報を広く周知することができた。今後も引き続き、子育て世代のニーズの把握、分析に努め、事業展開を検討する。</p>		

事務事業名	地域子育てひろば支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	404千円
事業内容	<p>家族規模の縮小等により地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。</p>		
成果・実績	<p>地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。</p> <p>実施場所 下村集会所 開集会所 平町集会所 平尾東集会所 伊勢田北集会所 明星集会所</p>		
事業評価	<p>地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施したことにより、交流及び情報交換などによって子育て家庭の支援を促進できた。市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き地域子育て支援拠点も含めた今後の子育て支援施策の展開を検討する。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																														
		決算額	54,088千円																														
事業内容	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p>																																
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">名称</th> <th style="width: 15%;">運営方法</th> <th style="width: 20%;">ひろば延べ利用者数(人)</th> <th style="width: 25%;">相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域子育て支援基幹センター</td> <td rowspan="2">直営</td> <td>8,726</td> <td>568</td> </tr> <tr> <td>2. 西部地域子育て支援センター</td> <td>6,119</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター</td> <td rowspan="6">委託</td> <td>552</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター</td> <td>7,256</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター</td> <td>8,302</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん</td> <td>8,001</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム</td> <td>8,985</td> <td>179</td> </tr> <tr> <td>8. ひあ にしおぐら</td> <td>1,108</td> <td>472</td> </tr> </tbody> </table>			名称	運営方法	ひろば延べ利用者数(人)	相談件数(件)	1. 地域子育て支援基幹センター	直営	8,726	568	2. 西部地域子育て支援センター	6,119	85	3. 南部地域子育て支援センター	委託	552	26	4. 東部地域子育て支援センター	7,256	170	5. 北部地域子育て支援センター	8,302	164	6. りぼん	8,001	383	7. ぶんきょうにこにこルーム	8,985	179	8. ひあ にしおぐら	1,108	472
名称	運営方法	ひろば延べ利用者数(人)	相談件数(件)																														
1. 地域子育て支援基幹センター	直営	8,726	568																														
2. 西部地域子育て支援センター		6,119	85																														
3. 南部地域子育て支援センター	委託	552	26																														
4. 東部地域子育て支援センター		7,256	170																														
5. 北部地域子育て支援センター		8,302	164																														
6. りぼん		8,001	383																														
7. ぶんきょうにこにこルーム		8,985	179																														
8. ひあ にしおぐら		1,108	472																														
事業評価	<p>地域子育て支援基幹センター等において地域における子育ての交流等を目的として各種事業を実施したことにより、子育ての不安等の緩和を図り、子どもの健やかな育ちを促進することができた。市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き今後の子育て支援施策の展開を検討する。</p>																																

事務事業名	子育て支援総合コーディネート事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	5,624千円
事業内容	<p>子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設し、通年運営した。</p> <p>職員配置 保育士2人 子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日） ※地域子育て支援基幹センターにも週1日配置</p> <p>利用人数 預かり 1,947人 相談 1,250人</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	<p>来庁者の子どもの一時預かり及び子ども・子育て支援新制度に基づいた利用者支援事業として子育て全般に関する相談を実施したことにより、子育て家庭への支援の充実を図ることができた。今後は利用状況の分析に努めながら、事業展開のあり方について検討する。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	宇治市奨学資金貸与費	所管課	こども福祉課																
		決算額	2,643千円																
事業内容	<p>勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な大学、高校及び高等専門学校の在学者に奨学資金を貸与する。</p>																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">貸与人数</td> <td style="width: 20%;">高校生</td> <td style="width: 20%;">1人</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高等専門学校生</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>大学生</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>奨学資金貸与額</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">2,635千円</td> </tr> </table>			貸与人数	高校生	1人			高等専門学校生	0人			大学生	8人		奨学資金貸与額	2,635千円		
貸与人数	高校生	1人																	
	高等専門学校生	0人																	
	大学生	8人																	
奨学資金貸与額	2,635千円																		
事業評価	<p>奨学資金の貸与により、勉学意欲はあるが経済的理由により修学が困難な高校及び大学の在学者を支援することができた。引き続き、的確な償還に向けた周知徹底等の働きかけを行うとともに、関連する他奨学金制度の実施状況等の把握、分析に努め、今後のあり方について検討する。</p>																		

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課																
		決算額	804,136千円																
事業内容	<p>離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する母または父などに対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。平成14年8月から京都府から市に業務移管されている。</p>																		
成果・実績	<p>児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">受給資格世帯</td> <td style="width: 20%;">1,773世帯</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>（うち 受給世帯</td> <td>1,563世帯）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支給対象児童数</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">2,407人</td> </tr> <tr> <td>児童扶養手当扶助費</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">803,518千円</td> </tr> </table>			受給資格世帯	1,773世帯				（うち 受給世帯	1,563世帯）		支給対象児童数	2,407人			児童扶養手当扶助費	803,518千円		
受給資格世帯	1,773世帯																		
	（うち 受給世帯	1,563世帯）																	
支給対象児童数	2,407人																		
児童扶養手当扶助費	803,518千円																		
事業評価	<p>国制度に基づき、手当受給申請に対して適正に審査、支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童福祉の増進を図ることができた。今後も市民への制度の周知及び的確な支給事務の遂行に努める。</p>																		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	児童手当費	所管課	こども福祉課						
		決算額	3,015,751千円						
事業内容	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に児童手当を支給する。								
成果・実績	<p>中学校修了前の児童を養育している人に児童1人につき月額10,000円もしくは15,000円（児童数、児童の年齢によって異なる）を支給した。ただし、所得制限限度額を超過している世帯には、特例給付として児童1人につき月額5,000円（一律）を支給した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">受給世帯</td> <td style="text-align: right;">13,150世帯</td> </tr> <tr> <td>支給対象児童数</td> <td style="text-align: right;">21,881人</td> </tr> <tr> <td>児童手当扶助費</td> <td style="text-align: right;">3,014,075千円</td> </tr> </table>			受給世帯	13,150世帯	支給対象児童数	21,881人	児童手当扶助費	3,014,075千円
受給世帯	13,150世帯								
支給対象児童数	21,881人								
児童手当扶助費	3,014,075千円								
事業評価	国制度に基づき適正に支給を行い、子育て家庭における生活支援に努めることができた。今後も市民への制度の周知及び的確な支給事務の遂行に努める。								

事務事業名	子育て支援環境整備事業費	所管課	こども福祉課						
		決算額	3,026千円						
事業内容	子どもと一緒に来庁される方への利便性向上のため、乳幼児チェア及びおむつ交換台の設置を行う。								
成果・実績	<p>市役所庁舎及び議会棟内のトイレに乳幼児チェア及びおむつ交換台を設置した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2">設置数</td> </tr> <tr> <td style="width: 60%;">乳幼児チェア</td> <td style="text-align: right;">18台</td> </tr> <tr> <td>おむつ交換台</td> <td style="text-align: right;">14台</td> </tr> </table>			設置数		乳幼児チェア	18台	おむつ交換台	14台
設置数									
乳幼児チェア	18台								
おむつ交換台	14台								
事業評価	<p>公共施設のトイレ内に乳幼児チェア及びおむつ交換台を設置することで、子どもと一緒に来庁される方の利便性向上を図ることができた。子育て支援環境の充実を図るため、他の公共施設への設置について計画的に実施する。</p>								



平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		
中分類	04 少子化社会への対応		福祉こども部
小分類	02 保育サービスの充実		

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	29,481千円
事業内容	病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成8年9月から宇治病院、平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の3カ所で開催している。		
成果・実績	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。なお、平成28年度から、対象児童を小学6年生までに拡大した。		
	実施施設	延べ利用者数 (人)	
	宇治市乳幼児健康支援デイサービスセンター（宇治病院）	562	
	浅妻医院パピールーム（浅妻医院）	749	
	宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）	720	
	合計	2,031	
事業評価	医療機関での病児保育を実施したことにより、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援することができた。また、対象児童を小学6年生まで拡充したことで緊急時の子育て支援のさらなる充実に努めることができた。緊急時に対応する子育て支援として利用者ニーズは高いため、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		
中分類	04 少子化社会への対応		福祉こども部
小分類	03 放課後児童育成の充実		

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	337,478千円
事業内容	宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労及び疾病などの理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。		
	開設学校数	20校	
	学級数	20学級（39クラス）	
	入級児童数	1,998人（平成28年5月1日現在）	
事業評価	育成学級の運営により、放課後に保護者が不在である児童の健全な育成を図ることができた。子ども・子育て支援新制度を踏まえ、教育部と連携した総合的な放課後児童対策を引き続き検討する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	03 放課後児童育成の充実	

事務事業名	育成学級施設整備費	所管課	こども福祉課
		決算額	30,711千円
事業内容	入級児童数の増加に対応し、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成に資するため、育成学級施設の整備を実施する。		
成果・実績	<p>榎島育成学級の入級児童数の増加に対応するため、新たに専用プレハブ施設の建替工事を実施した（平成27年度から工事を実施し、平成28年5月に完成）。</p> <p style="text-align: center;">榎島育成学級：定員 90名 ⇒ 120名</p>		
事業評価	入級児童数の増加に対応した育成学級施設の整備を行うことにより、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成を図ることができた。引き続き利用ニーズを見極めながら、教育部と連携して、放課後児童の安全と健全育成のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,044千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日及び夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視及び来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、安全・安心な学級運営を行うことができた。今後も引き続き安全確保に努める必要がある。		

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部	
中分類	04 少子化社会への対応		
小分類	03 放課後児童育成の充実		

事務事業名	放課後児童健全育成事業補助金	所管課	こども福祉課
		決算額	13,425千円
事業内容	育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童対策の充実を図る。		
成果・実績	1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 補助対象民間事業者数 3法人 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 補助対象児童数 延べ2,685人 </div>		
事業評価	民間事業者の放課後児童健全育成事業への補助を行うことにより、待機児童の解消と放課後の児童の安全と健全育成を図ることができた。利用ニーズを見極めながら、放課後児童の健全育成の効果を踏まえる中で、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	公立保育所運営経費	所管課	保育支援課								
		決算額	1,395,503千円								
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">公立保育所数</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">11,523人</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td style="text-align: center;">940人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ◎保育所運営費 47,355千円 ◎保育所維持修繕費 5,524千円 ◎非常勤職員設置費 156,156千円 ◎保育所児童健康管理費 6,379千円 ◎保育所給食費 76,217千円 ◎パート保育士設置費 113,640千円 ◎障害児特別保育費（賃金・旅費） 59,410千円 ◎保育士等職員給 930,822千円 			公立保育所数	7園	延べ入所数	11,523人	定員	940人		
公立保育所数	7園	延べ入所数	11,523人								
定員	940人										
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費を適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境の確保に努め、子育て及び児童の健全な心身の発達を支援することができた。保育ニーズに対応した運営を今後も引き続き実施する。										

事務事業名	保育所等緊急安全対策事業費	所管課	保育支援課
		決算額	33,371千円
事業内容	安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置等に対し補助を行う。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎公立保育所 8,713千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。 ◎民間保育所（園）・民間認定こども園 24,658千円 保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。 		
事業評価	保育所等安全運営支援員の配置等により、安全・安心な保育所等の運営を図ることができた。今後も引き続き安全確保に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	民間保育所等運営経費	所管課	保育支援課																	
		決算額	3,248,460千円																	
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所（園）12園・民間認定こども園7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																			
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">民間保育所（園）・民間認定こども園数</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">19園</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td style="text-align: right;">2,900人</td> <td>延べ入所数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">37,056人</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎民間保育所等運営費</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">2,671,049千円</td> </tr> <tr> <td>◎延長保育促進基盤整備事業費</td> <td style="text-align: right;">30,178千円</td> </tr> <tr> <td>◎障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）</td> <td style="text-align: right;">74,736千円</td> </tr> <tr> <td>◎民間保育所等運営補助金</td> <td style="text-align: right;">472,497千円</td> </tr> </table>			民間保育所（園）・民間認定こども園数	19園		定員	2,900人	延べ入所数			37,056人	◎民間保育所等運営費	2,671,049千円	◎延長保育促進基盤整備事業費	30,178千円	◎障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）	74,736千円	◎民間保育所等運営補助金	472,497千円
民間保育所（園）・民間認定こども園数	19園																			
定員	2,900人	延べ入所数																		
		37,056人																		
◎民間保育所等運営費	2,671,049千円																			
◎延長保育促進基盤整備事業費	30,178千円																			
◎障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金）	74,736千円																			
◎民間保育所等運営補助金	472,497千円																			
事業評価	児童の安全と良好な保育環境を確保するため、民間保育所（園）12園・民間認定こども園7園に対する運営費及び各種保育事業に対する補助金を交付し、子育て及び児童の健全な心身の発達を支援することができた。今後も国の制度変更を見極めながら、各種保育ニーズに対応していく必要がある。																			

事務事業名	病児・病後児保育費	所管課	保育支援課
		決算額	39,328千円
事業内容	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所（園）・認定こども園の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。		
成果・実績	実施施設（民間保育所（園）6園・民間認定こども園4園） 登りこども園 北小倉こひつじ保育園 ひいらぎ保育園 第2登りこども園 榎島ひいらぎ保育園 同胞保育園 みんなのき黄檗こども園 伊勢田保育園 みんなのき三室戸こども園 明星保育園（新規）		
事業評価	国制度に沿って病児保育事業を実施する民間保育所（園）・民間認定こども園に補助金を交付することにより、子育て支援と保護者負担の軽減を図ることができた。利用状況を見ながら国制度を活用し、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育支援課																														
		決算額	143,947千円																														
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。																																
成果・実績	<p>開設場所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">木幡花揃</td> <td style="width: 40%;">(福) あげぼの会 (登りこども園)</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄福角</td> <td>(福) 宇治福祉園 (みんなのき三室戸こども園)</td> <td style="text-align: right;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>神明石塚</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td style="text-align: right;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄梅林官有地</td> <td>(福) 白菊福祉会 (いずみこども園)</td> <td style="text-align: right;">定員10人</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町若林</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td style="text-align: right;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>広野町西裏</td> <td>(福) 同胞会 (同胞保育園)</td> <td style="text-align: right;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>木幡赤塚</td> <td>(福) あげぼの会 (登りこども園)</td> <td style="text-align: right;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>開町</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td style="text-align: right;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>木幡陣ノ内</td> <td>(福) あげぼの会 (登りこども園)</td> <td style="text-align: right;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町ウトロ</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td style="text-align: right;">定員5人</td> </tr> </table>			木幡花揃	(福) あげぼの会 (登りこども園)	定員5人	五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (みんなのき三室戸こども園)	定員5人	神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人	五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみこども園)	定員10人	伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人	広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人	木幡赤塚	(福) あげぼの会 (登りこども園)	定員5人	開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人	木幡陣ノ内	(福) あげぼの会 (登りこども園)	定員5人	伊勢田町ウトロ	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人
木幡花揃	(福) あげぼの会 (登りこども園)	定員5人																															
五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (みんなのき三室戸こども園)	定員5人																															
神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																															
五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみこども園)	定員10人																															
伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																															
広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人																															
木幡赤塚	(福) あげぼの会 (登りこども園)	定員5人																															
開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																															
木幡陣ノ内	(福) あげぼの会 (登りこども園)	定員5人																															
伊勢田町ウトロ	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																															
事業評価	児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業の実施を通して、待機児童対策を図ることができた。待機児童の現状及び保育ニーズの分析に努め、家庭的保育事業から小規模保育事業への移行等を含めて、子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、今後の方向性を検討する必要がある。																																

事務事業名	小規模保育事業費	所管課	保育支援課												
		決算額	47,603千円												
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。														
成果・実績	<p>開設場所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">六地藏奈良町</td> <td style="width: 40%;">(福) あげぼの会 (第2登りこども園、登りこども園)</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">定員15人</td> </tr> <tr> <td>広野町西裏</td> <td>(福) 同胞会 (同胞保育園)</td> <td style="text-align: right;">定員15人</td> </tr> </table> <p>家庭的保育事業からの移行費用を補助 移行のための費用として各施設ごとに250千円を補助</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">五ヶ庄梅林官有地</td> <td style="width: 40%;">(福) 白菊福祉会 (いずみこども園)</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>伊勢田町若林</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td></td> </tr> </table>			六地藏奈良町	(福) あげぼの会 (第2登りこども園、登りこども園)	定員15人	広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員15人	五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみこども園)		伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	
六地藏奈良町	(福) あげぼの会 (第2登りこども園、登りこども園)	定員15人													
広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員15人													
五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみこども園)														
伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)														
事業評価	児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業の実施を通して、待機児童対策を図ることができた。待機児童の現状及び保育ニーズの分析に努め、家庭的保育事業から小規模保育事業への移行等を含めて、子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、今後の方向性を検討する必要がある。														

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課	
		決算額	305,499千円	
事業内容	予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。			
成果・実績	予防接種法に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関等で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市民カレンダー、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。			
		接種者数	実施場所	
		BCG	1,310	協力医療機関等
		不活化ポリオ	133	
		4種混合	5,376	
		3種混合	0	
		2種混合	972	
		麻しん風しん混合	2,849	
		麻しん	0	
		風しん	0	
		日本脳炎	6,153	
		ヒブ	5,209	
		小児用肺炎球菌	5,230	
		水痘	2,547	
		B型肝炎	2,082	
	BCG	8		
	※ヒブと小児用肺炎球菌は平成25年4月、水痘は平成26年10月、B型肝炎は平成28年10月から定期接種化			
事業評価	予防接種法に基づき適正に執行し、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。今後も、国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める必要があり、今後も引き続き実施する。			

事務事業名	妊婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	108,122千円
事業内容	健やかな母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減及び妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。		
成果・実績	妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。		
	母子健康手帳交付件数	1,353件	
	助成金額	107,007千円	
事業評価	健診費用の適正な助成を行うとともに妊娠早期に母子健康手帳を発行することにより、適切な健康管理の促進と妊婦の経済的負担を軽減することができた。今後も健やかな母体と胎児の保健管理の向上に努める必要があり、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	8,589千円
事業内容	不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不育治療は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。</p> <p style="text-align: center;">助成件数 460件</p>		
事業評価	不妊治療等経費を助成することにより、対象者の経済的負担の軽減と少子化対策の推進に努めることができた。今後も引き続き実施する。		

事務事業名	乳幼児健康診査費	所管課	保健推進課																						
		決算額	25,900千円																						
事業内容	内科（小児科）健診、身体計測、保健・栄養指導などを実施し、必要に応じて個別の発達相談及び栄養相談を行う。総合的な判断と指導により、乳幼児期の疾病及び問題の早期発見をし、健やかな成長・発達を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。																								
成果・実績	<p>乳幼児期の健康の保持・増進を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">受診数（人）</th> <th style="width: 20%;">受診率（%）</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3カ月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,286</td> <td style="text-align: center;">98.8</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">健やかセンター 月3～4回</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1歳8カ月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,347</td> <td style="text-align: center;">96.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3歳児健診</td> <td style="text-align: center;">1,380</td> <td style="text-align: center;">95.4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10カ月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,268</td> <td style="text-align: center;">94.2</td> <td style="text-align: center;">（一社）宇治久世医師会委託</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10カ月児経過健診</td> <td style="text-align: center;">116</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">健やかセンター月1回</td> </tr> </tbody> </table>				受診数（人）	受診率（%）		3カ月児健診	1,286	98.8	健やかセンター 月3～4回	1歳8カ月児健診	1,347	96.2	3歳児健診	1,380	95.4	10カ月児健診	1,268	94.2	（一社）宇治久世医師会委託	10カ月児経過健診	116		健やかセンター月1回
	受診数（人）	受診率（%）																							
3カ月児健診	1,286	98.8	健やかセンター 月3～4回																						
1歳8カ月児健診	1,347	96.2																							
3歳児健診	1,380	95.4																							
10カ月児健診	1,268	94.2	（一社）宇治久世医師会委託																						
10カ月児経過健診	116		健やかセンター月1回																						
事業評価	子どもの発達段階にあわせた健診を実施することにより、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子どもの増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。																								

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	パパママスタート開催費	所管課	保健推進課
		決算額	2,514千円
事業内容	妊娠・出産・育児についての正しい知識を広め、妊産婦・子どもの健康の保持・増進を図ることを目的として「母子健康手帳GET記念日～ハッピーマタニティクラス～」、「おいしい! たのしい! クッキング」、「パパ出番ですよ～沐浴にチャレンジ～」、「ハイリスク妊婦訪問」を行っている。		
成果・実績	妊婦及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。 ◎母子健康手帳GET記念日 参加者数 286人 ◎パパ出番ですよ 参加者数 231人 ◎クッキング 参加者数 172人 (参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む) ◎ハイリスク妊婦訪問 訪問件数 40件		
事業評価	教室の開催により、妊娠期の仲間づくりにつなげるとともに、父母ともに子育てするという意識を醸成することができた。今後は参加者数、市民ニーズ及び事業効果の把握、分析に努め、より効果的な実施手法を検討する必要がある。		

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	445千円
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身に付け、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。		
成果・実績	親が子どもの食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。 開催回数 12回 参加者数 242人		
事業評価	教室の開催により、家庭での適切な離乳食の実践等、子どもの健康づくりを促進することができた。発達年齢に応じた支援を検討する必要がある。また、参加者数、市民ニーズ及び事業効果の把握、分析に努め、より効果的な実施手法を検討する中で、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	乳幼児相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	1,179千円
事業内容	<p>生後2カ月から就学までの子どもと保護者を対象に、育児及び発達上の相談に対応し、育児不安軽減等の育児支援及び虐待予防、地域の育児力向上を図る。また、乳幼児健診後のフォローの場としても位置付け、計測、栄養指導、保健指導、発達についての相談などを開催する。</p>		
成果・実績	<p>専門職が適切に対応することにより、育児不安の軽減、虐待予防、地域の育児力向上を図った。また、地域子育て支援センター等関係機関と連携し、簡易な育児相談の場とした。</p> <p style="margin-left: 40px;">開催回数 64回 相談者数 1,929人</p>		
事業評価	<p>保健師及び栄養士などの専門職が育児相談に対応することにより、育児負担の軽減等子育て支援を図ることができた。今後も地域子育て支援センターと連携し、市民ニーズを把握、分析する中で、市民が気軽に利用できる体制の充実に努め、より効果的な事業の今後のあり方について検討する。</p>		

事務事業名	絵本ふれあい事業費	所管課	保健推進課
		決算額	3,488千円
事業内容	<p>子育て支援を図ることを目的に、3カ月児健康診査受診児保護者と1歳8カ月児健康診査受診児保護者を対象に、親子がふれあうことで子育てが楽しくなるきっかけ作りとし、メッセージを添えて絵本を配付するなど絵本とのふれあい体験の機会を提供する。</p>		
成果・実績	<p>3カ月児健診及び1歳8カ月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3カ月児健診の会場では、中央図書館、中央図書館おはなしサークルの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介及び遊び方の指導を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">◎3カ月児健診配付者数 1,286人 ◎1歳8カ月児健診配付者数 1,347人</p>		
事業評価	<p>絵本の配付により、健やかな親子の関係づくりを促進することができた。図書館等との連携を図り実施方法の検討をしながら、今後も引き続き実施する。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	早期療育ネットワーク会議運営費	所管課	保健推進課
		決算額	158千円
事業内容	「宇治市早期療育ネットワーク会議」設置規程により、療育等の専門的な指導が必要な子どもの早期発見と早期に適切な指導が行われるように、関係機関のネットワーク化、療育システムの確立を図るための検討と研究を行う。		
成果・実績	心身に障害のある子ども及び発達上支援が必要と思われる子どもに対して、発達に応じた適切な療育指導を行うため、保健・福祉・教育・医療の関係者が集まって意見交換を行った。 開催回数 2回		
事業評価	療育に関わる関係機関とのネットワーク形成により、情報共有と業務連携を図ることができた。引き続き的確な状況把握及び現状分析を踏まえ、京都府・関係機関との連携を図るなど支援体制を検討する必要がある。		

事務事業名	幼児期後期フォロー教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	1,341千円
事業内容	LD、ADHD、広汎性発達障害などの発達障害、またはその疑いのある子どもに対する早期支援として、各子どもの課題にあわせた発達支援を行い、障害から生じる困難を予防する。保護者及び就園先の関係者と必要な関わり並びに手立てを相談するなど、保護者懇談及び園連携を行う少人数の教室を開催する。		
成果・実績	個別指導と集団指導を時間を分けて実施し、個々の課題解決に取り組んだ。指導は、発達相談員、保育士、作業療法士が行い、子どもの発達を促した。また、保護者及び幼稚園・保育所（園）等の担当者に子どもの特性を理解してもらい、適切な関わりを促し二次障害を防いだ。 開催数 1クール全7回を4クラス 月1回全10回を1クラス 処遇児数 28人		
事業評価	教室の開催により、子どもの発達段階に応じた健やかな成長支援に努めることができた。発達支援が必要な子どもは増加傾向であり、利用ニーズの把握、分析に努め、運営方法を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	2,449千円
事業内容	1歳8カ月児健康診査の中で、発達面で経過観察の必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師、保育士が運営する。		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">開催数 1クール全10回を4クラス 1クール全11回を2クラス</p> <p style="margin-left: 40px;">処遇児数 80人</p>		
事業評価	教室の開催により、適切な親子関係を築き、子どもの健やかな成長支援に努めることができた。発達支援が必要な子どもは増加傾向にあり、利用ニーズの把握、分析に努め、運営方法を検討する必要がある。		

事務事業名	風しん予防接種助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	419千円
事業内容	妊婦と生まれてくる子どもの健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、風しん予防接種にかかる費用を助成する。		
成果・実績	<p>風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。</p> <p style="margin-left: 40px;">助成者数 74人 助成額 419千円</p>		
事業評価	京都府が実施する抗体検査等で抗体価が低いと診断された対象者の風しん予防接種へ助成することにより、ワクチン接種を促進し妊婦と生まれてくる子どもの健康を守ることができた。京都府と連携し、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部他
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	17,006千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	<p>入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事療養費の患者負担額」について、その自己負担額（食事療養費については標準負担額）の一部を助成した。</p> <p>給付決定児数 51人 給付延べ件数 135件 給付延べ日数 2,450日</p>		
事業評価	養育支援の必要な家庭を早期かつ的確に把握し必要な医療給付を行うことにより、未熟児の健やかな成長を図ることができた。給付状況の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	5,891千円
事業内容	生後4カ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげる。		
成果・実績	<p>親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付ける。</p> <p>訪問件数 519件</p>		
事業評価	乳児家庭を全戸訪問することにより、子育ての孤立化を防ぐとともに、適切な行政サービスの提供につなげることができた。今後も、関係機関等との連携及びその他の訪問指導事業等との整理を検討する必要がある。		

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

事務事業名	健康教育費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,246千円
事業内容	生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識の普及により、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各専門職を講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼及びイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p>(65歳未満) 決算額：719千円 実施回数 72回 実施人数 1,359人</p> <p>(65歳以上) 決算額：527千円 実施回数 39回 実施人数 989人</p>		
事業評価	各種健康教室等の開催により、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進を図ることができた。今後も参加しやすい開催日程の工夫、効果的な広報及び学習内容の検討に努める中で、引き続き実施する。		

事務事業名	健康相談費	所管課	健康生きがい課
		決算額	478千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるように実施する。		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>(65歳未満) 決算額：183千円 実施回数 52回 実施人数 259人</p> <p>(65歳以上) 決算額：295千円 実施回数 84回 実施人数 575人</p>		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応することにより、健康管理の促進を図ることができた。今後はより多くの市民の健康増進に向けて、広報の見直し及び開催条件を検討するなど実施手法の改善に努める中で、引き続き実施する。		

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	01 健康づくりの推進	

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康生きがい課												
		決算額	315千円												
事業内容	市民の健康づくり及び生活習慣病予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。														
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>(65歳未満) 決算額：151千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎「若葉の会」活動状況</td> <td style="width: 50%;">◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施</td> </tr> <tr> <td>支援活動回数 20回</td> <td>実施回数 2回</td> </tr> <tr> <td>参加者数 210人</td> <td>参加会員数 46人</td> </tr> </table> <p>(65歳以上) 決算額：164千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎「若葉の会」活動状況</td> <td style="width: 50%;">◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施</td> </tr> <tr> <td>支援活動回数 20回</td> <td>実施回数 2回</td> </tr> <tr> <td>参加者数 199人</td> <td>参加会員数 46人</td> </tr> </table>			◎「若葉の会」活動状況	◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施	支援活動回数 20回	実施回数 2回	参加者数 210人	参加会員数 46人	◎「若葉の会」活動状況	◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施	支援活動回数 20回	実施回数 2回	参加者数 199人	参加会員数 46人
◎「若葉の会」活動状況	◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施														
支援活動回数 20回	実施回数 2回														
参加者数 210人	参加会員数 46人														
◎「若葉の会」活動状況	◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施														
支援活動回数 20回	実施回数 2回														
参加者数 199人	参加会員数 46人														
事業評価	ボランティアへの活動を支援することにより、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化及び会員数の減少など課題を踏まえた支援内容を検討する必要がある。														

事務事業名	健康づくり・食育推進事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	313千円
事業内容	健康づくり推進プランと食育推進計画を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に関して協議・検討を行った。</p> <p>協議会開催回数 2回</p>		
事業評価	「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、時代に応じた健康づくりと食育を一体的に推進することができた。本市の健康づくりと食育に対する意見を各種施策に反映させていくため、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	各種がん検診等事業費	所管課	健康生きがい課																																	
		決算額	89,658千円																																	
事業内容	各種がん検診等を実施することにより、がんによる死亡率等を減少させることを目的とし、検診等を実施する。																																			
成果・実績	<p>対象者に個別検診及び集団検診を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">受診者数</th> <th style="text-align: center;">要精検者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診査</td> <td style="text-align: center;">138</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td style="text-align: center;">1,788</td> <td style="text-align: center;">74</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td style="text-align: center;">2,656</td> <td style="text-align: center;">47</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td style="text-align: center;">3,014</td> <td style="text-align: center;">234</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td style="text-align: center;">3,226</td> <td style="text-align: center;">155</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td style="text-align: center;">8,839</td> <td style="text-align: center;">797</td> </tr> <tr> <td>成人歯科健診</td> <td style="text-align: center;">47</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td style="text-align: center;">1,644</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>結核健診</td> <td style="text-align: center;">2,448</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td style="text-align: center;">3,346</td> <td style="text-align: center;">320</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数	要精検者数	健康診査	138	-	胃がん検診	1,788	74	子宮頸がん検診	2,656	47	乳がん検診	3,014	234	肺がん検診	3,226	155	大腸がん検診	8,839	797	成人歯科健診	47	33	肝炎ウイルス検診	1,644	6	結核健診	2,448	0	前立腺がん検診	3,346	320
	受診者数	要精検者数																																		
健康診査	138	-																																		
胃がん検診	1,788	74																																		
子宮頸がん検診	2,656	47																																		
乳がん検診	3,014	234																																		
肺がん検診	3,226	155																																		
大腸がん検診	8,839	797																																		
成人歯科健診	47	33																																		
肝炎ウイルス検診	1,644	6																																		
結核健診	2,448	0																																		
前立腺がん検診	3,346	320																																		
事業評価	検診等の実施により、市民の健康保持・増進を図ることができた。今後も市民ニーズの把握・分析に努め、市民の意識啓発・周知活動等効果的な実施方法について工夫、検討する中で、今後も引き続き実施する。																																			

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,173千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定及び骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨及び体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防及び健康づくりを実践する動機付けとなるように実施する。		
成果・実績	<p>骨密度の測定後、生活・栄養の講習と運動実技の体験を行った。</p> <p>(65歳未満) 決算額：552千円 実施回数 5回 実施人数 138人</p> <p>(65歳以上) 決算額：621千円 実施回数 3回 実施人数 193人</p>		
事業評価	教室を実施したことにより、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機付けを行うことができた。市民ニーズの把握、分析に努め、効果的な実施方法について工夫する中で、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	


事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	8,185千円				
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた者に、週1回水曜日（年末年始除く）、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で、口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。						
成果・実績	歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。 <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">診療日数</td> <td>52日</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>352人</td> </tr> </table>			診療日数	52日	受診者数	352人
診療日数	52日						
受診者数	352人						
事業評価	歯科サービスセンターにおける歯科治療等により、障害者の歯をはじめとする健康保持・増進を図ることができた。事業効果の検証及び市民ニーズの把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	健康生きがい課									
		決算額	31,463千円									
事業内容	日曜、祝日、国民の休日及び年末・年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。 <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数(人)</th> <th>診療日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">1,980</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">448</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数(人)	診療日数(日)	内科・小児科	1,980	70	歯科	448	72
	受診者数(人)	診療日数(日)										
内科・小児科	1,980	70										
歯科	448	72										
事業評価	休日、年末・年始における応急診療を行うことにより、市民の健康保持に努めることができた。感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できる体制を維持する必要がある。											

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	敬老会開催費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	11,018千円				
事業内容	<p>長年社会に貢献されてきた高齢者に敬愛の精神をもって接するように広く市民の関心と理解を深め、高齢者自らの生活意欲を高めるため、当該年中に70歳以上になる高齢者を敬老の日に文化センターへ招待し式典を開催する。また、9月15日現在、数え年88歳の高齢者に対し、米寿を祝うための記念品を贈呈する。</p>						
成果・実績	<p>敬老の日に宇治市文化センターで午前と午後の2回、市内在住の70歳以上の高齢者を招待して敬老会を開催する予定であったが、警報発令により中止とした。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">参加申込者</td> <td style="text-align: right;">3,109人</td> </tr> <tr> <td>米寿記念品支給者数</td> <td style="text-align: right;">668人</td> </tr> </table>			参加申込者	3,109人	米寿記念品支給者数	668人
参加申込者	3,109人						
米寿記念品支給者数	668人						
事業評価	<p>敬老の日に式典を開催するとともに、米寿記念品を贈呈したことにより、高齢者に敬愛の念を表し、高齢者福祉に関する市民の関心と理解を深めることができた。高齢者人口の増加及びニーズなどの状況の把握、分析に努め、今後のあり方について検討する。</p>						

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	1,089千円																		
事業内容	<p>高齢者の生きがい対策と地域コミュニティ活動の一つとして、高齢者の社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。 また年2回、全利用者を対象に園芸教室を開催する。</p>																				
成果・実績	<p>8カ所606区画を管理し、60歳以上の者に1世帯約10㎡を1区画として貸与した。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">園芸ひろば名称</th> <th style="width: 60%;">区画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>芝ノ東</td><td style="text-align: center;">95</td></tr> <tr><td>大久保</td><td style="text-align: center;">88</td></tr> <tr><td>伊勢田第2</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>羽戸山</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>槇島</td><td style="text-align: center;">117</td></tr> <tr><td>伊勢田若林</td><td style="text-align: center;">49</td></tr> <tr><td>木幡</td><td style="text-align: center;">87</td></tr> <tr><td>小倉寺内</td><td style="text-align: center;">60</td></tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">園芸教室</p> </div>			園芸ひろば名称	区画数	芝ノ東	95	大久保	88	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	117	伊勢田若林	49	木幡	87	小倉寺内	60
園芸ひろば名称	区画数																				
芝ノ東	95																				
大久保	88																				
伊勢田第2	55																				
羽戸山	55																				
槇島	117																				
伊勢田若林	49																				
木幡	87																				
小倉寺内	60																				
事業評価	<p>市内8カ所の園芸ひろばを整備・運営することにより、高齢者の生きがい増進と仲間づくりを図ることができた。利用状況の把握、分析に努め、今後も運営方法等を検討する必要がある。</p>																				

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	高齢者アカデミー運営費	所管課	健康生きがい課												
		決算額	3,773千円												
事業内容	京都文教大学・京都文教短期大学にて、65歳以上の市民を対象に、「高齢者アカデミー」を開校する。プログラムは2年制（1年＝秋期・春期）で、受講生は週1回の科目履修と月1回のアカデミーアワーを受講する。														
成果・実績	<p>高齢者アカデミーを開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。平成28年度より、対象者年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げて実施している。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">受講者数</td> <td style="text-align: center;">1期生</td> <td style="text-align: center;">2期生</td> <td style="text-align: center;">3期生</td> <td style="text-align: center;">4期生</td> <td style="text-align: center;">合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">22人</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">23人</td> <td style="text-align: center;">80人</td> </tr> </table>			受講者数	1期生	2期生	3期生	4期生	合計		22人	21人	14人	23人	80人
受講者数	1期生	2期生	3期生	4期生	合計										
	22人	21人	14人	23人	80人										
事業評価	平成28年度から対象者年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げたことで、より幅広く受講者を募ることができ、高齢者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図ることができた。京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、受講者の申し込み状況の把握、分析に努め、効果的な運営手法について検討する必要がある。														

事務事業名	地域福祉センター管理運営費	所管課	健康生きがい課
		決算額	49,958千円
事業内容	地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくり及び生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流及び地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	<p>市内6カ所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4カ所は管理者を指定し、管理運営した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 榎島地域福祉センター管理運営費 6,465千円 指定管理者：（福）山城福祉会 ◎ 木幡地域福祉センター管理運営費 5,878千円 直営 ◎ 開地域福祉センター管理運営費 6,156千円 直営 ◎ 西小倉地域福祉センター管理運営費 16,351千円 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社 ◎ 東宇治地域福祉センター管理運営費 7,520千円 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社 ◎ 広野地域福祉センター管理運営費 7,588千円 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社 		
事業評価	各センターを適正に管理運営する中で、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を実施したことにより、高齢者福祉の向上を図ることができた。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果など状況の把握、分析に努め、今後のあり方について検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	36,961千円
事業内容	<p>(1) 40歳以上65歳未満で運動機能の低下を生じている人に対して、身体機能の向上、閉じこもりの予防のため、パワーリハビリ教室を行う。</p> <p>(2) ① パワーリハビリ教室：二次予防事業対象者に対し、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動及びストレッチ体操などを行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">② 足しっかり体操教室：生活機能の維持・改善のため、自重運動及び体操を中心としたトレーニングを行う。</p> <p>(3) ① パワーリハビリ事業：医療制限を受けていない自力でトレーニング可能な65歳以上の人を対象に、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動等を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">② B型リハビリ教室：疾病等により閉じこもりがちな虚弱高齢者及び障害のある人などを対象に、地域との交流を通じて「閉じこもり症候群」を防止し、生活機能の維持・改善を図る。</p>		
成果・実績	<p>(1) パワーリハビリ教室を行い、心身の機能の維持改善を図った。</p> <p style="padding-left: 40px;">パワーリハビリ教室参加者数 (実人数) 1人</p> <p>(2) 二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施した。</p> <p style="padding-left: 20px;">① パワーリハビリ事業参加者数 (実人数) 147人</p> <p style="padding-left: 20px;">② 足しっかり体操教室参加者数 (実人数) 179人</p> <p>(3) 介護予防の普及・啓発に資する機能訓練を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">① パワーリハビリ事業参加者数 (実人数) 356人</p> <p style="padding-left: 20px;">② B型リハビリ教室参加者数 (実人数) 179人</p>		
事業評価	<p>各々の段階に応じた心身の機能維持、回復を図るための必要な訓練を実施し、日常生活の自立の促進を図ることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討に努める必要がある。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	健康生きがい課												
		決算額	392千円												
事業内容	地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」及び「小地域包括ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。														
成果・実績	地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。														
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">延べ人員数</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">83人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">618人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">資質向上研修</td> <td style="text-align: right;">65人</td> <td></td> </tr> </table>			延べ人員数			地域包括ケア会議	83人		小地域包括ケア会議	618人		資質向上研修	65人	
延べ人員数															
地域包括ケア会議	83人														
小地域包括ケア会議	618人														
資質向上研修	65人														
事業評価	地域包括ケア会議及び研修を行うことにより、関係団体及び多職種との連携を促し、地域包括ケアを推進することができた。今後も効果的な会議のあり方を検討し、関係団体等との連携体制の強化に努める必要がある。														

事務事業名	在宅寝たきり者等訪問指導事業費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	117千円				
事業内容	40歳以上65歳未満の在宅寝たきり者及びその家族など、支援が必要な者に対し、健康の保持増進及び在宅療養条件の整備のため、訪問による保健指導を行う。						
成果・実績	居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">実人数</td> <td style="text-align: right;">8人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延べ人数</td> <td style="text-align: right;">39人</td> </tr> </table>			実人数	8人	延べ人数	39人
実人数	8人						
延べ人数	39人						
事業評価	訪問保健指導により、在宅寝たきり者の心身機能の維持改善及びその家族の在宅療養環境の整備を図ることができた。利用者ニーズ及び対象者の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する。						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	認知症家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	402千円				
事業内容	認知症家族支援プログラム及びOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。						
成果・実績	<p>介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。</p> <p>延べ人数</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>家族支援プログラム</td> <td style="text-align: right;">53人</td> </tr> <tr> <td>OB会支援</td> <td style="text-align: right;">88人</td> </tr> </table>			家族支援プログラム	53人	OB会支援	88人
家族支援プログラム	53人						
OB会支援	88人						
事業評価	認知症家族支援プログラム及びOB会を実施したことにより、認知症の理解促進及び介護者同士の交流を図ることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討に努める中で、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	健康生きがい課										
		決算額	11,330千円										
事業内容	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。												
成果・実績	<p>認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>認知症予防教室参加者数（実人数）</td> <td style="text-align: right;">123人</td> </tr> <tr> <td>認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">3,835人</td> </tr> <tr> <td>脳活性化教室延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">5,068人</td> </tr> <tr> <td>キャラバン・メイト養成フォローアップ講座延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">51人</td> </tr> <tr> <td>キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">32人</td> </tr> </table>			認知症予防教室参加者数（実人数）	123人	認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数	3,835人	脳活性化教室延べ参加者数	5,068人	キャラバン・メイト養成フォローアップ講座延べ参加者数	51人	キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数	32人
認知症予防教室参加者数（実人数）	123人												
認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数	3,835人												
脳活性化教室延べ参加者数	5,068人												
キャラバン・メイト養成フォローアップ講座延べ参加者数	51人												
キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数	32人												
事業評価	教室の開催等により、認知症の正しい知識の普及・啓発に努めることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討及び市民ニーズの把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。												

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	19,428千円
事業内容	<p>高齢化の進行により、寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者が増加しており、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供し、地域社会での日常生活を送れるように援助する。シルバーホン設置、訪問活動事業への助成などを行う。</p>		
成果・実績	<p>在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。</p> <p>◎一人暮らし高齢者等訪問活動事業 1,849千円 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認及び不安解消を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">対象者数 1,849人</p> <p>◎在宅ねたきり高齢者等見舞品支給事業 367千円 要介護認定3・4・5で在宅にて介護を受けている高齢者等に民生児童委員を通して見舞品を支給した。</p> <p style="padding-left: 40px;">支給者数 1,326人</p> <p>◎シルバーホン（緊急発信設備付電話）設置事業 15,758千円 本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。</p> <p style="padding-left: 40px;">新規設置数 164台 年度末設置数 988台</p> <p>◎福祉電話の基本通話料の助成 1,444千円 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の基本料金等を助成した。</p> <p style="padding-left: 40px;">年度末助成対象者数 53人</p> <p>◎家具等倒壊防止金具等購入の助成 10千円 家具等倒壊防止金具等を設置する高齢者(65歳以上の市民税非課税世帯)に、その金具等の費用を助成した</p> <p style="padding-left: 40px;">助成件数 4件</p>		
事業評価	<p>(福)宇治市社会福祉協議会への補助及び民生児童委員との連携などにより、社会的支援が必要な高齢者の在宅生活を支援することができた。地域・他団体との連携のあり方及び支援のあり方について検討しながら、支援内容の改善を図り、今後も引き続き実施する。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護予防安心住まい推進事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,581千円
事業内容	生活機能について回答する「お元気チェックリスト」による運動器の機能低下が見られ、かつ市民税非課税の世帯が、居住する住宅に介護保険給付対象工事をしたときに要した経費の一部を助成（認定工事の合計額3分の2（1世帯につき16万円限度））する。		
成果・実績	<p>要介護状態等になるおそれの高い状態にあると認められる高齢者の居住する住宅等について改造費の助成を行った。</p> <p style="text-align: center;">助成件数 15件</p>		
事業評価	住宅の介護保険給付対象工事へ助成することにより、転倒事故防止に努めるなど生活機能の維持向上を図り、介護予防の促進に努めることができた。利用者ニーズ等状況の把握、分析に努める中で実施する必要がある。		

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	6,337千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にあるものについて、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行う。また、成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難であるものに対して、後見人等の報酬等を市が助成する。		
成果・実績	<p>判断能力がないまたは乏しいことにより契約等の行為が行えない認知症高齢者等に対して、成年後見人等を選任するための申立の代行、報酬助成などを行った。</p> <p style="text-align: center;">申立件数 18件 報酬助成件数 26件</p>		
事業評価	成年後見制度の利用にあたり報酬等を助成したことにより、認知症等判断能力が十分でない高齢者の権利保護を図ることができた。制度の利用状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	健康生きがい課
		決算額	5,463千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツなどを年間を通じて恒常的かつ計画的な活動に向け助成・育成を行う。老人クラブ活動の充実と発展を図り、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものとする。		
成果・実績	老人クラブの活動に対して助成し、育成・指導に努めた。 会員数 3,113人 （平成28年度末現在） クラブ数 60		
事業評価	宇治市連合喜老会への助成及び事業の委託料などを適正に執行したことにより、高齢者の生きがい活動を促進できた。今後は、対象者のニーズの把握、分析に努め、助成のあり方等を含め今後の施策展開について検討する必要がある。		

事務事業名	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,116千円
事業内容	一人暮らし高齢者等の不安と孤独感の解消と社会参加のため、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者等給配食サービスに対し、補助することによって、在宅福祉の充実に向け、行政、地域住民などの連携及びボランティアの育成、地区社会福祉協議会、学区福祉委員会の充実を図る。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者等の福祉の向上を図った。 延べ給配食数 8,902食		
事業評価	（福）宇治市社会福祉協議会へ補助金を交付し給配食サービスへ助成したことにより、社会的支援が必要な一人暮らし高齢者等の在宅福祉の向上を図ることができた。地域・他団体との連携等を強化し、より効果的な手法を検討しながら、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅高齢者介護者激励金支給費	所管課	健康生きがい課
		決算額	19,427千円
事業内容	介護保険法における要介護3・4・5の認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している人を対象に日常の介護を激励するため、在宅高齢者介護者激励金を支給し、高齢者福祉の増進を図る。平成18年度より基準日（10月1日）を年1回とし、支給要件の対象期間を基準日前1年間に見直した。		
成果・実績	<p>日常の介護を激励するため、要介護高齢者の介護者へ1人3万円の激励金を支給し、在宅高齢者福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">支給者数 647人</p>		
事業評価	対象者に激励金を支給したことにより、在宅で介護する家族の精神的・経済的負担を軽減することができた。激励金の効果を検証しつつ、今後の国、京都府の動向に注視し、在宅で介護する家族の支援のあり方について検討する必要がある。		


事務事業名	高齢者あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅう施術費 助成事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	11,424千円
事業内容	高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図るため、市民税非課税の満65歳以上の方を対象に、はり・きゅう・マッサージ等の施術費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>施術費の一部を助成し、健康の保持及び増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成券交付件数 2,084件</p>		
事業評価	対象者が受けた施術費を助成し経済的負担を軽減することにより、高齢者の健康保持・増進を図ることができた。高齢化の進行によって対象者数は増加傾向にあり、ニーズ等の把握、分析及び効果の検証に努め、今後のあり方について検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	5,352千円

事業内容	<p>要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。</p> <p>① 紙おむつ等給付事業：要介護4・5の在宅高齢者等に紙おむつ等を給付する。（月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等5千円上限。本人及び本人を扶養する親族が市民税非課税）</p> <p>② リフレッシュ事業：介護者の交流事業とともに、介護者の誕生日に花束を贈呈する。</p> <p>③ 家族介護慰労事業：要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。</p> <p>④ 家族介護者教室：介護者自身の健康づくりを目指し、健康管理等の知識を指導する。</p> <p>⑤ はいかい高齢者家族安心事業：徘徊のおそれがある高齢者及びその家族に、GPS機能を備えた機器の貸与費用等を助成する。</p>		
-------------	--	--	--

成果・実績	<p>◎紙おむつ支給事業 2,070千円 給付件数 691件</p> <p>◎リフレッシュ事業 2,710千円 介護者家族の会の紹介及び介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。 参加人数 102人 介護者花束贈呈者数 513人</p>		
			
	介護者交流会		
	<p>◎家族介護慰労事業 100千円 支給者数 1人</p> <p>◎家族介護者教室 307千円 介護者の家族に教室を実施し、体操及びクラフト・茶話会などで交流を行った。 参加者実数 26人</p> <p>◎はいかい高齢者家族安心事業 165千円 年度末利用者数 18人</p>		

事業評価	<p>教室の実施及びサービス提供などにより、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減及び介護者同士の交流などを図ることができた。在宅生活を支える家族への支援は重要であり、介護者の状況及びニーズの把握、分析並びに事業の啓発に努め、今後のあり方について検討する必要がある。</p>		
-------------	--	--	--

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実




所管部局
健康長寿部

事務事業名	二次予防事業対象者把握事業費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	3,071千円				
事業内容	<p>介護認定を持たない65歳以上の高齢者に対して、二次予防事業の対象者を決定するため、生活機能について回答する「お元気チェックリスト」の配布・回収を行う。平成24年度から平成26年度まで3年かけて全数把握を行った。平成27年度は、すでに二次予防対象者である人を除いて再度把握に取り組んだ。平成28年度は、平成29年度より開始する介護予防・日常生活支援総合事業にあわせて見直しを図り、新しく65歳になられた方を対象として配布を行った。</p>						
成果・実績	<p>「お元気チェックリスト」の回答により二次予防事業対象者を決定し、二次予防事業への参加を呼び掛けた。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">配布対象者数（郵送分）</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,876人</td> </tr> <tr> <td>二次予防事業対象者数</td> <td style="text-align: right;">415人</td> </tr> </table>			配布対象者数（郵送分）	2,876人	二次予防事業対象者数	415人
配布対象者数（郵送分）	2,876人						
二次予防事業対象者数	415人						
事業評価	<p>「お元気チェックリスト」を配布することで、二次予防事業対象者を把握し、生活機能の低下を防ぐなどの効果的な二次予防事業へつなげることができた。これまでの成果を検証する中で、今後の事業のあり方について検討する必要がある。</p>						

事務事業名	複合型介護予防教室開催費	所管課	健康生きがい課		
		決算額	44,607千円		
事業内容	<p>二次予防事業対象者に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症について複合的に学ぶことで全身的な機能の改善を図る。</p>				
成果・実績	<p>二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした複合型介護予防教室を市内13会場で行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">実人数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">570人</td> </tr> </table>			実人数	570人
実人数	570人				
事業評価	<p>各プログラムを複合的に実施することで、二次予防事業対象者の機能改善を図ることができた。他の事業との連携を図り、より効果的な事業実施の手法等の検討に努める中で、総合事業の実施にあせて事業のあり方について検討する必要がある。</p>				

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	デイホーム管理運営費	所管課	健康生きがい課											
		決算額	8,464千円											
事業内容	平成5年に国の地方分権特例制度の適用市町村（パイロット自治体）第1号の指定を受け、全国初の試みとして小倉小学校・平盛小学校の空き教室を改築し、デイサービスセンター・在宅介護支援センター・デイホームといった高齢者福祉施設を開設しており、高齢者施策の充実と、世代間・地域交流を促進するデイホームの管理・運営を行う。													
成果・実績	<p>市内2カ所のデイホームについて、管理者を指定し、管理運営を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎小倉デイホーム管理運営費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">4,173千円</td> <td rowspan="2" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td>指定管理者：（福）宇治明星園</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎平盛デイホーム管理運営費</td> <td style="text-align: right;">4,291千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理者：（福）不動園</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			◎小倉デイホーム管理運営費	4,173千円		指定管理者：（福）宇治明星園		◎平盛デイホーム管理運営費	4,291千円		指定管理者：（福）不動園		
◎小倉デイホーム管理運営費	4,173千円													
指定管理者：（福）宇治明星園														
◎平盛デイホーム管理運営費	4,291千円													
指定管理者：（福）不動園														
事業評価	各デイホームを適正に管理運営する中で、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を実施したことにより、高齢者の福祉向上を図ることができた。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果など状況の把握、分析に努め、今後のあり方について検討する必要がある。													

事務事業名	ボランティア研修会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	308千円
事業内容	市民の積極的な社会参加を促進するとともに、介護予防事業への理解と普及・啓発を促進する。		
成果・実績	<p>介護予防に関するボランティア等の人材育成及び介護予防に資する地域活動組織の育成・支援のための事業を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">実人数 241人</p>		
事業評価	研修の実施により、介護予防に関わる人材の育成を行うことで、積極的な地域福祉活動への参加につなげることができた。関係機関と連携し、育成した人材の有効活用及び研修効果の検証など効果的な実施手法の検討に努め、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	地域密着型サービス等整備費補助金	所管課	健康生きがい課																
		決算額	86,783千円																
事業内容	宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に則した施設整備を計画的に進め、地域における適切な介護サービスの提供体制を促進するため、地域医療介護総合確保基金を利用し、京都府より交付金を受けて事業者へ補助を行う。																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">整備法人</td> <td>医療法人 啓信会</td> </tr> <tr> <td>整備施設名称</td> <td>リエゾン宇治おおくぼ</td> </tr> <tr> <td>施設場所</td> <td>宇治市大久保町山ノ内55番地2（南宇治圏域）</td> </tr> </table> <p>【地域密着型サービス等整備助成事業（面的整備事業）】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎認知症対応型共同生活介護</td> <td style="text-align: right;">32,000 千円</td> </tr> <tr> <td>◎小規模多機能型居宅介護</td> <td style="text-align: right;">32,000 千円</td> </tr> <tr> <td>◎介護予防拠点</td> <td style="text-align: right;">8,500 千円</td> </tr> </table> <p>【施設開設準備経費等支援事業】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎認知症対応型共同生活介護</td> <td style="text-align: right;">11,178 千円</td> </tr> <tr> <td>◎小規模多機能型居宅介護</td> <td style="text-align: right;">3,105 千円</td> </tr> </table>			整備法人	医療法人 啓信会	整備施設名称	リエゾン宇治おおくぼ	施設場所	宇治市大久保町山ノ内55番地2（南宇治圏域）	◎認知症対応型共同生活介護	32,000 千円	◎小規模多機能型居宅介護	32,000 千円	◎介護予防拠点	8,500 千円	◎認知症対応型共同生活介護	11,178 千円	◎小規模多機能型居宅介護	3,105 千円
整備法人	医療法人 啓信会																		
整備施設名称	リエゾン宇治おおくぼ																		
施設場所	宇治市大久保町山ノ内55番地2（南宇治圏域）																		
◎認知症対応型共同生活介護	32,000 千円																		
◎小規模多機能型居宅介護	32,000 千円																		
◎介護予防拠点	8,500 千円																		
◎認知症対応型共同生活介護	11,178 千円																		
◎小規模多機能型居宅介護	3,105 千円																		
事業評価	高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づき、補助を実施し、計画的に施設整備を図ることができた。引き続き、計画的な実施に努める必要がある。																		



事務事業名	特別養護老人ホーム等建設費補助金	所管課	健康生きがい課						
		決算額	12,996千円						
事業内容	宇治市及び宇治市近隣の介護保険施設等にかかる施設建設費等に対して補助金を交付することにより、施設の整備を促進するとともに、整備法人の負担を減らすことにより施設の運営安定化及びサービスの質の向上を図り、施設利用者の福祉に資する。								
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">整備法人</td> <td>社会福祉法人 宇治明星園</td> </tr> <tr> <td>整備施設名称</td> <td>宇治明星園養護老人ホーム</td> </tr> <tr> <td>施設場所</td> <td>宇治市菟道岡谷16-3</td> </tr> </table> <p>◎養護老人ホーム建設費補助事業（改築事業）</p> <p style="text-align: right;">12,996 千円</p>			整備法人	社会福祉法人 宇治明星園	整備施設名称	宇治明星園養護老人ホーム	施設場所	宇治市菟道岡谷16-3
整備法人	社会福祉法人 宇治明星園								
整備施設名称	宇治明星園養護老人ホーム								
施設場所	宇治市菟道岡谷16-3								
事業評価	介護保険施設等にかかる施設建設費等に対して補助金を交付することにより、施設の運営安定化及びサービスの質の向上を図り、高齢者の福祉の向上に努めることができた。								



平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	12,145,320千円
事業内容	要介護・要支援認定者が介護サービス・介護予防サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		平成28年度	平成27年度
	介護サービス等諸費	11,588,473	11,228,650
	居宅介護サービス	4,562,567	4,556,888
	地域密着型介護サービス	1,540,593	1,328,619
	施設介護サービス	4,061,402	3,935,095
	特定入所者介護サービス	380,448	414,913
	その他	1,043,463	993,135
	介護予防サービス等諸費	543,500	518,993
	介護予防サービス	428,442	409,629
	地域密着型介護予防サービス	237	0
	特定入所者介護予防サービス	414	472
	その他	114,407	108,892
	その他諸費	13,347	12,776
審査支払手数料	13,347	12,776	
事業評価	国制度に基づき適正に給付した。今後も高齢者数の増加に伴い要介護・要支援認定者、サービス利用者が増加する見込みであり、持続可能な事業運営のため、的確に状況を把握し分析する必要がある。		

事務事業名	介護相談員派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	2,431千円
事業内容	申し出のあったサービス事業者に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問及び不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質的な向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者・家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事後的な対応を行う。		
成果・実績	介護相談員を通して利用者の疑問及び不安を事業者側へ伝え、解消・改善につなげた。また、事業所ごとのサービスの現状を把握した。		
	派遣事業所種別	派遣事業所数 (カ所)	派遣人数 (人)
	特別養護老人ホーム	8	19
	介護老人保健施設	3	7
	グループホーム	14	24
	地域密着型特別養護老人ホーム	1	2
事業評価	相談員の派遣を実施したことにより、利用者の疑問及び不安を解消しサービスの質の向上を図ることができた。相談員は利用者とは施設をつなぐ役割を担っており、今後も相談員の資質の向上に努める必要がある。		

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課																																	
		決算額	800千円																																	
事業内容	<p>介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。</p>																																			
成果・実績	<p>(一財) 宇治市福祉サービス公社に委託し、ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象に研修を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">研修名</th> <th style="width: 15%;">参加者数(人)</th> <th style="width: 25%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市の行政施策とインフォーマルサービス、ケアマネジメント業務において押さえておきたいポイントを学ぼう</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>主任介護支援専門員の役割とファシリテーション技術を学ぶ</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: center;">主任ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>施設も!在宅も!今一度アセスメントを見直し、「課題整理総括表」を使いこなそう</td> <td style="text-align: center;">69</td> <td style="text-align: center;">ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアを学ぶ 【パート1】認知症ケアに必要な視点とは?～事例を通して学ぶ～ 【パート2】認知症医療とケア 最新の動向</td> <td style="text-align: center;">【パート1】35 【パート2】56</td> <td style="text-align: center;">介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャーに必要な医療知識を学び、ケアプランへの位置づけを学ぶ</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>移動・移乗介助を学ぶ</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>とことん聞いてみませんか!介護現場における「病気のこと、薬のこと」～介護職員・ホームヘルパー・ケアマネジャーも!～</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>障害者の高齢化を考える～障害福祉サービスから介護保険サービスへのスムーズな移行のため～</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">ケアマネジャー、介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>精神に障害のある人への向き合い方～事例と共に考え、学ぶ～</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>記録が書ける!伝わる!共有できる～伝わりやすく、情報の共有がしやすい記録の書き方、残し方～</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">介護サービス事業所職員</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	参加者数(人)	対象者	宇治市の行政施策とインフォーマルサービス、ケアマネジメント業務において押さえておきたいポイントを学ぼう	70	ケアマネジャー	主任介護支援専門員の役割とファシリテーション技術を学ぶ	39	主任ケアマネジャー	施設も!在宅も!今一度アセスメントを見直し、「課題整理総括表」を使いこなそう	69	ケアマネジャー	認知症ケアを学ぶ 【パート1】認知症ケアに必要な視点とは?～事例を通して学ぶ～ 【パート2】認知症医療とケア 最新の動向	【パート1】35 【パート2】56	介護サービス事業所職員	ケアマネジャーに必要な医療知識を学び、ケアプランへの位置づけを学ぶ	40	ケアマネジャー	移動・移乗介助を学ぶ	25	介護サービス事業所職員	とことん聞いてみませんか!介護現場における「病気のこと、薬のこと」～介護職員・ホームヘルパー・ケアマネジャーも!～	38	介護サービス事業所職員	障害者の高齢化を考える～障害福祉サービスから介護保険サービスへのスムーズな移行のため～	38	ケアマネジャー、介護サービス事業所職員	精神に障害のある人への向き合い方～事例と共に考え、学ぶ～	46	介護サービス事業所職員	記録が書ける!伝わる!共有できる～伝わりやすく、情報の共有がしやすい記録の書き方、残し方～	25	介護サービス事業所職員
研修名	参加者数(人)	対象者																																		
宇治市の行政施策とインフォーマルサービス、ケアマネジメント業務において押さえておきたいポイントを学ぼう	70	ケアマネジャー																																		
主任介護支援専門員の役割とファシリテーション技術を学ぶ	39	主任ケアマネジャー																																		
施設も!在宅も!今一度アセスメントを見直し、「課題整理総括表」を使いこなそう	69	ケアマネジャー																																		
認知症ケアを学ぶ 【パート1】認知症ケアに必要な視点とは?～事例を通して学ぶ～ 【パート2】認知症医療とケア 最新の動向	【パート1】35 【パート2】56	介護サービス事業所職員																																		
ケアマネジャーに必要な医療知識を学び、ケアプランへの位置づけを学ぶ	40	ケアマネジャー																																		
移動・移乗介助を学ぶ	25	介護サービス事業所職員																																		
とことん聞いてみませんか!介護現場における「病気のこと、薬のこと」～介護職員・ホームヘルパー・ケアマネジャーも!～	38	介護サービス事業所職員																																		
障害者の高齢化を考える～障害福祉サービスから介護保険サービスへのスムーズな移行のため～	38	ケアマネジャー、介護サービス事業所職員																																		
精神に障害のある人への向き合い方～事例と共に考え、学ぶ～	46	介護サービス事業所職員																																		
記録が書ける!伝わる!共有できる～伝わりやすく、情報の共有がしやすい記録の書き方、残し方～	25	介護サービス事業所職員																																		
事業評価	<p>ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員に対し研修を実施したことにより、介護サービス事業者が提供するサービスの質の向上・確保を図ることができた。</p>																																			

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課																																
		決算額	3,153,619千円																																
事業内容	平成27年度から平成29年度までの第1号被保険者の保険料は、第6期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等をもとに算出し、15の段階の設定としている。																																		
成果・実績	第1号被保険者数	52,108人	（平成28年度末現在）																																
	保険料収納率	現年度分	99.07%																																
		滞納繰越分	9.39%																																
		合計	97.12%																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">保険料段階</th> <th style="width: 50%;">年間保険料額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1段階</td><td style="text-align: right;">24,920</td></tr> <tr><td>第2段階</td><td style="text-align: right;">37,380</td></tr> <tr><td>第3段階</td><td style="text-align: right;">43,610</td></tr> <tr><td>第4段階</td><td style="text-align: right;">49,840</td></tr> <tr><td>第5段階</td><td style="text-align: right;">62,300</td></tr> <tr><td>第6段階</td><td style="text-align: right;">68,530</td></tr> <tr><td>第7段階</td><td style="text-align: right;">80,990</td></tr> <tr><td>第8段階</td><td style="text-align: right;">102,800</td></tr> <tr><td>第9段階</td><td style="text-align: right;">121,490</td></tr> <tr><td>第10段階</td><td style="text-align: right;">130,830</td></tr> <tr><td>第11段階</td><td style="text-align: right;">140,180</td></tr> <tr><td>第12段階</td><td style="text-align: right;">149,520</td></tr> <tr><td>第13段階</td><td style="text-align: right;">158,870</td></tr> <tr><td>第14段階</td><td style="text-align: right;">168,210</td></tr> <tr><td>第15段階</td><td style="text-align: right;">183,790</td></tr> </tbody> </table>	保険料段階	年間保険料額(円)	第1段階	24,920	第2段階	37,380	第3段階	43,610	第4段階	49,840	第5段階	62,300	第6段階	68,530	第7段階	80,990	第8段階	102,800	第9段階	121,490	第10段階	130,830	第11段階	140,180	第12段階	149,520	第13段階	158,870	第14段階	168,210	第15段階	183,790	※ ※ （基準額）
	保険料段階	年間保険料額(円)																																	
	第1段階	24,920																																	
	第2段階	37,380																																	
	第3段階	43,610																																	
	第4段階	49,840																																	
	第5段階	62,300																																	
	第6段階	68,530																																	
	第7段階	80,990																																	
	第8段階	102,800																																	
	第9段階	121,490																																	
第10段階	130,830																																		
第11段階	140,180																																		
第12段階	149,520																																		
第13段階	158,870																																		
第14段階	168,210																																		
第15段階	183,790																																		
※保険料段階が第2段階または第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている。																																			
事業評価	現年度分の収納率については、第6期介護保険事業計画策定時に見込んでいる収納率を上回ることができた。厳しい経済状況の中ではあるが、今後も引き続き、ケースに応じた納付指導等、収納率の向上に努める必要がある。																																		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																											
		決算額	458,877千円																											
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式または償還給付方式で助成を行う。																													
成果・実績	<p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>受給者数 21,114人 扶助費 444,147千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> <th>小学校卒業まで</th> <th>中学校卒業まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">現物給付(1医療機関 月200円負担)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">市独自</td> <td style="text-align: center;">償還 (3,000円)</td> </tr> </tbody> </table>				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで	入院	現物給付(1医療機関 月200円負担)								外来	市独自							償還 (3,000円)
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	中学校卒業まで																						
入院	現物給付(1医療機関 月200円負担)																													
外来	市独自							償還 (3,000円)																						
事業評価	保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行い、対象者の健康保持と子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。少子化対策の一環として子育てに要する経済的負担の軽減は、本来、国において対策すべきであり、引き続き国等に要望を行う必要がある。																													

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	231,839千円
事業内容	安心して医療を受けられるように、65歳から69歳までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額（平成27年4月1日以降、一部負担金1割負担については、2割負担となる。）を除いて助成する。		
成果・実績	<p>対象となる医療費について助成を行った。</p> <p>受給者数 5,501人 扶助費 223,637千円</p>		
事業評価	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき適正に執行し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図ることができた。国・京都府の動向を注視する中で、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	健康診査費	所管課	年金医療課
		決算額	67,337千円
事業内容	後期高齢者医療制度において努力目標として明記されている健診事業を行う。健診は疾病の早期発見に役立ち医療費の抑制につながるものとする。保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して事業を行う。		
成果・実績	6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 受診者数 6,799人 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 健診委託料 67,069千円 </div>		
事業評価	後期高齢者医療制度に基づき適正に執行し、被保険者の健康の保持増進を図ることができた。今後も高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、京都府後期高齢者医療広域連合と連携して引き続き事業を実施する。		

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課					
		決算額	1,940,896千円					
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、平成28・29年度保険料については、均等割額が48,220円に、所得割率が9.61%に改定された。							
成果・実績	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 被保険者数 22,866人 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 保険料収納率 <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 現年度分 99.56% </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> 滞納繰越分 24.92% </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 合計 98.25% </div> </div> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <div style="text-align: center;">保険料 (限度額57万円)</div> </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">=</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <div style="text-align: center;">均等割額 (被保険者一人あたり) 48,220円</div> </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">+</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <div style="text-align: center;">所得割額 (総所得金額等－ 基礎控除額(33万円)) ×9.61%</div> </td> </tr> </table> </div> <p style="margin-top: 10px;">保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の被保険者均等割額が軽減される。 所得割額の算定に係る基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の場合、所得割額が5割軽減される。</p>			<div style="text-align: center;">保険料 (限度額57万円)</div>	=	<div style="text-align: center;">均等割額 (被保険者一人あたり) 48,220円</div>	+	<div style="text-align: center;">所得割額 (総所得金額等－ 基礎控除額(33万円)) ×9.61%</div>
<div style="text-align: center;">保険料 (限度額57万円)</div>	=	<div style="text-align: center;">均等割額 (被保険者一人あたり) 48,220円</div>	+	<div style="text-align: center;">所得割額 (総所得金額等－ 基礎控除額(33万円)) ×9.61%</div>				
事業評価	京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営に努めることができた。今後も安定した事業運営のため、継続して収納に努める必要がある。							

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	年金医療課				
		決算額	6,916千円				
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">231人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診補助金</td> <td style="text-align: right;">6,752千円</td> </tr> </table>			受診者数	231人	人間ドック受診補助金	6,752千円
受診者数	231人						
人間ドック受診補助金	6,752千円						
事業評価	人間ドックに対する受診補助を実施することにより、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。今後も受診ニーズの把握に努め、引き続き実施する。						

事務事業名	障害基礎年金裁定請求等診断書料助成金	所管課	年金医療課				
		決算額	221千円				
事業内容	国民年金法に規定する障害基礎年金（障害厚生年金・障害共済年金と併せて請求するものは除く）の裁定請求等の際に要する診断書料の全部または一部を助成することにより、障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">助成件数</td> <td style="text-align: right;">75件</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td style="text-align: right;">221千円</td> </tr> </table>			助成件数	75件	助成額	221千円
助成件数	75件						
助成額	221千円						
事業評価	裁定請求等に要する診断書料の助成を行うことにより、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課								
		決算額	435,129千円								
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親に対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち本人負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。										
成果・実績	対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">重度障害者</td> <td style="text-align: right;">1,763人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ひとり親家庭児</td> <td style="text-align: right;">2,518人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ひとり親家庭児の親</td> <td style="text-align: right;">1,666人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">429,215千円</td> </tr> </table>			重度障害者	1,763人	ひとり親家庭児	2,518人	ひとり親家庭児の親	1,666人	扶助費	429,215千円
重度障害者	1,763人										
ひとり親家庭児	2,518人										
ひとり親家庭児の親	1,666人										
扶助費	429,215千円										
事業評価	京都府制度に基づき適正に執行し、対象者の健康の保持と福祉の向上を図ることができた。対象者の経済的負担の軽減を図り、安心して医療が受けられるように引き続き実施する。今後も制度拡充について、引き続き京都府へ要望を行う必要がある。										

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課				
		決算額	154,985千円				
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。						
成果・実績	対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受給者数</td> <td style="text-align: right;">1,684人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">153,646千円</td> </tr> </table>			受給者数	1,684人	扶助費	153,646千円
受給者数	1,684人						
扶助費	153,646千円						
事業評価	京都府制度に基づき適正に執行し、対象者の健康の保持と福祉の向上を図ることができた。対象者の経済的負担の軽減を図り、安心して医療が受けられるように引き続き実施する。今後も制度拡充について、引き続き京都府へ要望を行う必要がある。						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	在日外国人重度障害者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	2,160千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、既に重度の障害者となっている在日外国人は、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金に移行）の適用から除外され、無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>昭和56年12月31日以前に既に重度の障害があり、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金）の対象外とされた制度的無年金である在日外国人を対象に、月額36,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 受給者総数 5人 支給額 2,160千円 </p>		
事業評価	<p>暫定措置として給付金を支給することにより、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成29年度も引き続き実施するが、国制度の不備を補うものであるため、国事業としての実施を引き続き国へ要望を行う必要がある。</p>		

事務事業名	在日外国人高齢者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	590千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、大正15年4月1日以前生まれの在日外国人は、老齢年金を受給できず無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>大正15年4月1日以前生まれの制度的無年金者である在日外国人高齢者を対象に、月額10,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 受給者総数 6人 支給額 590千円 </p>		
事業評価	<p>暫定措置として給付金を支給することにより、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成29年度も引き続き実施するが、国制度の不備を補うものであるため、国事業としての実施を引き続き国へ要望を行う必要がある。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課	国民健康保険課			
		決算額	105,657千円			
事業内容	生活習慣病の予防による医療費削減を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。					
成果・実績	特定健康診査は、6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。					
	特定健康診査委託の支払件数と支払額					
	年度	24	25	26	27	28
	件数	9,293	8,487	9,596	10,450	9,919
	支払額(千円)	80,067	72,944	86,715	102,974	98,258
事業評価	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、メタボリックシンドロームに着目した検査項目での健診を行ったことにより、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に努めることができた。特定健康診査・特定保健指導を今後も引き続き実施する。					

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	国民健康保険課			
		決算額	56,758千円			
事業内容	35歳以上75歳未満の被保険者を対象に、疾病の早期発見・治療により、健康管理に対する自覚を深めて医療費の適正化を図ることを目的として、半日人間ドック・脳ドックの健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。					
成果・実績	半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。					
	ドック受診者数と決算額					
	年度	24	25	26	27	28
	人間ドック(人)	1,151	1,162	1,365	1,403	1,435
	脳ドック(人)	587	583	650	671	672
決算額(千円)	45,484	45,506	54,157	55,790	56,758	
事業評価	半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助を実施することにより、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。今後も受診ニーズの把握に努め、引き続き実施する。					

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	02 国民健康保険の運営	

事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課																																																								
		決算額	3,836,891千円																																																								
事業内容	保険料の設定にあたっては、現行制度内での事業運営を慎重に見定め、適切かつ可能な財源対策及び将来見通しも精査し、財政収支の均衡を図ることを前提として検討するとともに、宇治市国民健康保険運営協議会への諮問に対する答申を尊重している。																																																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">加入世帯数</td> <td style="width: 15%;">26,378世帯</td> <td style="width: 15%;">(一般25,828世帯、退職550世帯)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>被保険者数</td> <td>43,016人</td> <td>(一般42,251人、退職765人)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(平成28年度末現在)</td> </tr> <tr> <td>保険料収納率</td> <td>現年度分</td> <td>93.57%</td> <td>合計</td> <td>77.28%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>滞納繰越分</td> <td>9.74%</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">平成28年度 国民健康保険料率</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">医療給付費分</td> <td style="text-align: center;">後期高齢者支援金分</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">介護納付金分</td> </tr> <tr> <td>所得割(%)</td> <td style="text-align: center;">8.37</td> <td style="text-align: center;">2.45</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">3.30</td> </tr> <tr> <td>均等割(円)</td> <td style="text-align: center;">25,200</td> <td style="text-align: center;">7,300</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">9,300</td> </tr> <tr> <td>平等割(円)</td> <td style="text-align: center;">27,400</td> <td style="text-align: center;">7,800</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">5,600</td> </tr> <tr> <td>賦課限度額(円)</td> <td style="text-align: center;">540,000</td> <td style="text-align: center;">190,000</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">160,000</td> </tr> </table>				加入世帯数	26,378世帯	(一般25,828世帯、退職550世帯)			被保険者数	43,016人	(一般42,251人、退職765人)			(平成28年度末現在)					保険料収納率	現年度分	93.57%	合計	77.28%		滞納繰越分	9.74%			平成28年度 国民健康保険料率						医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分		所得割(%)	8.37	2.45	3.30		均等割(円)	25,200	7,300	9,300		平等割(円)	27,400	7,800	5,600		賦課限度額(円)	540,000	190,000	160,000	
加入世帯数	26,378世帯	(一般25,828世帯、退職550世帯)																																																									
被保険者数	43,016人	(一般42,251人、退職765人)																																																									
(平成28年度末現在)																																																											
保険料収納率	現年度分	93.57%	合計	77.28%																																																							
	滞納繰越分	9.74%																																																									
平成28年度 国民健康保険料率																																																											
	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分																																																								
所得割(%)	8.37	2.45	3.30																																																								
均等割(円)	25,200	7,300	9,300																																																								
平等割(円)	27,400	7,800	5,600																																																								
賦課限度額(円)	540,000	190,000	160,000																																																								
事業評価	国民健康保険事業特別会計は単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保するという原則に基づき、適切な事業運営を行うことができた。																																																										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路台帳整備費	所管課	建設総務課
		決算額	14,960千円
事業内容	道路法第28条及び同法施行規則第4条の2に沿って、道路の変化した状況を図面と調書からなる道路台帳に的確に反映させ、効果的な道路行政を推進する。		
成果・実績	道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供した。 平成27年度中の道路改良工事・新規認定等によって変化した道路の状況及び占用物件の変更についての経年補正を行った。 ◎道路台帳経年補正業務委託料 14,882千円		
事業評価	道路台帳を調製・保管及び閲覧に供することにより、道路管理事務の円滑な遂行と市民の利便性の向上を図ることができた。道路管理情報のより多目的な活用に向けた課題について検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	49,558千円

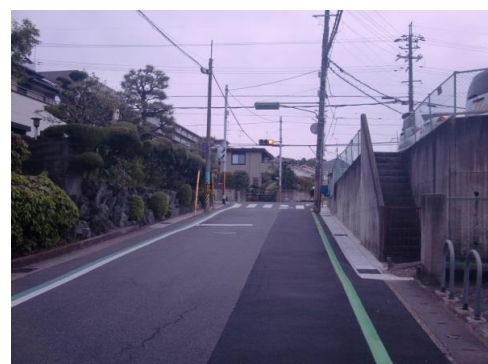
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール、カーブミラー、歩道の設置、段差解消などを実施する。
-------------	---

成果・実績	交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 7件の安全対策事業及び市内全域を対象として安全施設を設置した。また、5件の測量・調査等の委託業務を実施した。	
	◎安全施設設置	17,567千円
	道路反射鏡設置 25基 防護柵設置 34m 警戒標識設置 10基 区画線設置 2,607m	
	◎安全対策事業	23,440千円
	南山畑中村線 南浦西浦線 南山蔭田線ほか4件	
	◎測量・設計委託等	8,551千円
	木幡41号線ほか4件	

南山畑中村線（側溝改修、樹木撤去）



着工前





完成後

事業評価	道路の安全対策に係る施設整備を実施したことにより、歩行者等の安全を図ることができた。今後も地域の安全対策を図るとともに、重点課題である通学路安全対策についても引き続き実施する。
-------------	--

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	


事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	28,083千円
事業内容	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、笠取地区、炭山地区、二尾・池尾地区における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
成果・実績	<p>平出中畑線ほか4路線の道路改良等の測量・設計等の業務を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>平出中畑線</p>  <p>現況</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>吹越多田線</p>  <p>現況</p> </div> </div>		
事業評価	山間部における「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、次年度以降の事業用地取得に向けた測量・設計を実施したことにより、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良に向けた取り組みを進めることができた。		

事務事業名	宇治国道踏切改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	144,514千円
事業内容	当該踏切は、幅員が狭いために歩道と車道が分離されておらず、市道との交差角も19度と鋭角であることから踏切の拡幅改良を行い、歩行者等の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>鉄道事業者と踏切拡幅の平成28年度協定を締結し、工事に着手した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>宇治国道踏切（着工前）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宇治国道踏切（平成29年3月現在）</p> </div> </div>		
事業評価	鉄道事業者と平成28年度協定を締結し、工事に着手した。鉄道事業者との円滑な調整を図りながら、平成29年度の早期完成に向け引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	新宇治淀線関連道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	25,937千円
事業内容	新宇治淀線のJR奈良線のアンダーパス区間において、沿道利用に必要となる北側側道の整備を行うとともに、新宇治淀線の供用と合わせた周辺の市道整備を実施する。		
成果・実績	平成28年8月の新宇治淀線開通に合わせ、北側側道の整備を完了した。		
	 <p>北側側道（着工前）</p>	 <p>北側側道（完成後）</p>	
事業評価	平成28年8月の新宇治淀線開通に合わせ、北側側道の整備を完了したことにより、JR新田駅等へ円滑に誘導する動線の確保を図ることができた。		

事務事業名	菟道志津川線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	6,796千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に合わせて、大鳳寺踏切の拡幅改良を行うとともに、道路拡幅による歩道整備を行い、歩行者の安全を確保する。		
成果・実績	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と調整を行い、道路の拡幅改良に必要な用地測量等を実施した。		
	 <p>菟道志津川線（現況）</p>		
事業評価	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と調整を行い、用地測量等の実施により、道路拡幅に向けた取組を進めることができた。JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と連携し、今後も引き続き実施する。		



平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	所管課	道路建設課
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	決算額	50,666千円
小分類	02 道路の整備		

事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	<p>地元町内会等からの要望を受け、乙方三番割線ほか7路線について道路改良工事及び測量・設計等を行った。</p> <p style="text-align: center;">乙方三番割線(道路改良工事)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	市民の要望等を受け道路改良工事を実施したことにより、安全で安心な道路網が確保できた。要望等も多く必要な箇所を精査しつつ、今後も引き続き実施する。		



平成28年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	建設部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	街灯LED化事業費	所管課	維持課
		決算額	41,623千円
事業内容	宇治市内に存する防犯灯をLED灯に器具交換することで、省電力化並びに温室効果ガス及び維持管理費・電気料金等の軽減を図る。		
成果・実績	<p>宇治市内に存する防犯灯（蛍光灯）約3,400灯について、LED灯への器具交換を実施した。平成27年度から事業を開始し、市内の防犯灯の約5分の2について、LED灯への交換が完了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後（点灯状況）</p> </div> </div>		
事業評価	市内防犯灯のLED化を実施したことにより、維持管理費の低減、節電及び温室効果ガス排出量を削減することができた。今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業費	所管課	維持課
		決算額	66,140千円
事業内容	平成24年に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、本市で管理する橋梁について修繕を実施する。また道路法の改正により義務付けられた近接目視による定期点検を実施する。		
成果・実績	<p>「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、宇治川橋の塗装塗替え修繕工事を実施した。また、市管理橋67橋について定期点検を行った。</p> <p style="text-align: center;">宇治川橋</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> </div>		
事業評価	本市管理の道路橋について、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき修繕を実施したことにより、安全で快適な通行の確保と維持管理の省力化を図ることができた。今後も引き続き計画的な施設管理に努める必要がある。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	維持課
		決算額	17,514千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	<p>実施数 6件 補助金額 17,514千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> </div>		
事業評価	自治会等に対して工事費を補助したことにより、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり要望も多く、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	679,426千円

事業内容	道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。
------	--

成果・実績	<p>地元要望による側溝改修（2,776m）及び舗装補修（11,186.5㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝などの清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植などの道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕285件、道路保全204件、交通安全施設の補修等175件、防災関係172件、溶接関係62件で、全体では1,505件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は24件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p>
-------	--

- ◎道路維持修繕事業費 604,138千円
- ◎街灯設置保全事業費 75,288千円



機動修理班による道路維持作業



大久保町30号線（歩道改修工事）

事業評価	道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施するとともに、即時、緊急対応を行ったことにより、着実に道路等の環境整備及び事故の未然防止、安全な通行の確保を図ることができた。一方、町内会等からの側溝改修等の要望は年々増加しており、安全で快適な道路管理を今後も引き続き実施する。
------	---

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	排水路改廃事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	62,714千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下及び近年多発している局地的豪雨（ゲリラ豪雨）による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、排水路の改良工事を実施する。		
成果・実績	排水路の流下能力の向上を図るため、バイパス水路の設置及び老朽化施設（排水路）の改良工事を行った。また、低平地の浸水対策として調査検討及び詳細設計を行った。		
	◎小倉5号排水路（その5）改良工事 工事延長 L= 46.0m 護岸補修工		9,309千円
	◎菟道7号系統排水路改良工事 工事延長 L= 18.0m ホックスカルバート工（□1,100mm）		12,904千円
	◎菟道藪里地区排水路改良工事 工事箇所 N= 1カ所 会所柵設置工		383千円
	◎宇治半白調整池施設改良工事 工事箇所 N= 1カ所 制御機器設置工		374千円
	◎他工事 5件		26,990千円
	◎五ヶ庄1号排水路（ポンプ設置）詳細設計業務委託		4,644千円
	◎他委託 2件		6,781千円
事業評価	排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改良工事を実施したことにより、各所で発生している浸水被害の軽減に向けた安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。「宇治市公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画」と整合を図り、計画的に実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	河川改修事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	15,789千円
事業内容	都市化の進行に伴う雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。		
成果・実績	<p>増水時に自然護岸が流水により削られ、法面崩壊が懸念されるため、河川の改修工事に着手した。</p> <p style="text-align: right;">◎紅齊川改修工事 4,533千円</p> <p style="padding-left: 40px;">工事延長 L= 62.0m 布製型枠工</p> <p style="text-align: right;">◎戦川詳細設計業務委託 11,256千円</p>		
事業評価	河川の機能増強等を実施したことにより、雨水流出量の増大と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。		

事務事業名	河川維持管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	9,676千円
事業内容	河川施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	<p>老朽化に伴う河床の補修工事及び暗渠管の布設替工事などを行った。</p> <p style="text-align: right;">◎小倉2号系統排水路補修工事 2,877千円</p> <p style="padding-left: 40px;">工事延長 L=134.5m 張コンクリート工</p> <p style="text-align: right;">◎菟道丸山地区排水路整備工事 4,609千円</p> <p style="padding-left: 40px;">工事延長 L= 49.5m 遠心ボックスカルバート工 (φ400mm)</p> <p style="text-align: right;">◎槇島8号排水路補修工事 2,190千円</p> <p style="padding-left: 40px;">工事延長 L= 39.0m 水路壁復旧工</p>		
事業評価	河川施設等の適正な維持管理を実施したことにより、排水機能の向上を図ることができた。		



平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	名木川改修事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	67,296千円

事業内容	名木川流域の水害対策として流下能力不足区間の解消と、名木川散策道整備の一環として、沿川部の修景整備を行うなど快適な都市環境づくりを目標として、京都府が行う新宇治淀線整備事業と整合を図り、近鉄大久保駅周辺地区まちづくり整備事業において名木川改修事業を実施する。
-------------	---


成果・実績	市道新田城陽線から市道一里山寺山線までの区間の改修工事及びJR奈良線から市道一里山寺山線までの区間の修景工事を行った。		
	◎準用河川名木川修景工事その2 工事延長 L= 41.5m コンクリート舗装工	3,181千円	
	◎準用河川名木川修景工事その3 工事延長 L= 90.8m コンクリート舗装工	3,427千円	
	◎準用河川名木川修景工事その4 工事延長 L=266.0m 植栽工	4,628千円	
	◎準用河川名木川改修工事（B-4工区）工事委託 工事延長 L= 20.7m もたれ式擁壁工 床固工	39,795千円	
	◎他工事 3件	11,108千円	
	◎移設補償 工事に伴い、支障となる水道管の移設	5,025千円	
			
	準用河川名木川修景工事（その2）工区 完成後	準用河川名木川修景工事（その3）工区 完成後	

事業評価	府道新宇治淀線開通に合わせ、改修工事及び修景工事を実施することによって、名木川流域の水害対策と快適な都市環境の整備を図ることができた。
-------------	---

平成28年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進	


事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
事業内容	「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施し、保全のために処置が必要な場合には補助金を交付する。		
成果・実績	貴重な名木を保全するため、全名木の調査を3年周期で行うとともに、申請に基づき処置が必要な名木に対し、適切な保全策を講じた。 <ul style="list-style-type: none"> ・名木調査委託料 20千円 ・補助金交付件数 4件 ・補助金額 309千円 ・選定名木数 89本 		
事業評価	選定名木数の維持に向けた保全を図りつつ、さらなる緑化啓発に向けて、市民により親しまれる名木を活用した取組を検討する必要がある。		

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園の一部及び道路敷などの公共空地进行をボランティア団体等に提供し、花及び木を植えて花だん化する。		
成果・実績	町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗・肥料等の支給を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・花壇箇所数 59カ所 <div style="text-align: center;">  <p>まちかどふれあい花だん</p> </div>		
事業評価	公共空地进行をふれあい花だんとして維持管理してもらうことにより、緑化意識の高揚を図るとともに、地域活動の支援を図ることができた。継続して事業に取り組むため、より多くの団体等が参画できる仕組みづくりに努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進	

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,543千円
事業内容	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」及び秋の都市緑化月間の「緑化フェア」を中心に啓発事業を展開する。		
成果・実績	<p>各種イベントの実施により多くの参加者に楽しみながら緑の大切さを伝えることができた。また、植物公園が20周年を迎えるにあたり、緑化フェアにおいて記念式典を実施するなど各種イベントを実施した。</p> <p>◎緑のウォークラリー 開催日 4月29日 開催場所 植物公園、太陽が丘 参加者数 2,031人</p> <p>◎緑化フェア 開催日 10月16日 開催場所 植物公園 参加者数 2,588人</p> <div style="text-align: center;">  <p>緑化フェア（開園20周年記念式典の様子）</p> </div>		
事業評価	緑化啓発イベントを実施したことにより、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらえた。今後は、事業効果を検証しながら、イベント内容等の工夫に努める必要がある。		

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,241千円
事業内容	本市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識及び技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。</p> <p>ボランティア登録数 74人(平成28年度末時点)</p> <div style="text-align: center;">  <p>活動の様子</p> </div>		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成とその活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	公園バリアフリー整備事業費	所管課	公園緑地課						
		決算額	32,731千円						
事業内容	安全で安心して公園を利用できるように公園施設のバリアフリー化基準等に基づく公園施設のバリアフリー化及び遊具の更新を行う。								
成果・実績	<p>安全で安心して利用できる公園とするため、遊具の更新を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">遊具更新公園数</td> <td style="width: 30%;">18公園（北ノ庄児童公園他）</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>更新遊具数</td> <td>34基</td> <td></td> </tr> </table>			遊具更新公園数	18公園（北ノ庄児童公園他）		更新遊具数	34基	
遊具更新公園数	18公園（北ノ庄児童公園他）								
更新遊具数	34基								
事業評価	遊具更新を実施し、安全で安心して公園利用ができるように努めることができた。今後も国の補助の動向に注視し、市の財政見通し等考慮しながら今後も引き続き実施する。								

事務事業名	公園維持管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	90,357千円
事業内容	公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。		
成果・実績	<p>市内にある約500カ所の公園の維持管理を行った。</p> <p>除草・樹木剪定等の業務委託及び公園施設の維持修繕・改良工事などを行った。また、地元自治会・町内会の公園管理に対する報償費及び公園に係る光熱水費などを支出した。</p>		
事業評価	清掃及び剪定などについて地元自治会及び外部委託により、適正な管理に努め、公園利用を増進することができた。今後は、公園施設の管理・利用状況等把握する中で、計画的な修繕・更新を図る必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	339,521千円
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕などを（公財）宇治市公園公社を指定管理者として行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用者の一層の拡大、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。		
	指定管理料	200,197千円	
	人件費補助	124,626千円	
	体育館トレーニング室運営事業費	14,698千円	
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。利用者の利便性向上のため、今後も適切な管理運営に努める必要がある。		

事務事業名	源氏ゆめほたる事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	4,300千円
事業内容	植物公園内において、蛍が永続的に棲息・繁殖可能な環境整備を行うことにより、毎年、植物公園入園者に蛍観賞の場を提供し、あわせて関連イベントを実施する。都市生活の中で身近に蛍に触れ合えることにより、市民生活に憩いと安らぎを与え、植物公園の集客力向上につなげる。		
成果・実績	平成18年度に蛍の棲息地として整備した植物公園の「秋のゾーン」を中心に「蛍ナイト開園」を実施した。		
	開催期間	20日間(5月21日～6月11日)	
	夜間入園者数	9,668人	
事業評価	市民等に蛍観賞の場を提供したことにより、植物公園の集客力の向上に一定つながっているが、植物公園全体の入園者数は伸び悩んでいるため、さらなる集客力向上を図る検討が必要である。		

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	



事務事業名	黄檗公園再整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	211,500千円
事業内容	黄檗公園は、宇治市地域防災計画において防災拠点として位置付けられており、災害時における現地対策本部及び避難場所などの機能を兼ね備えた都市公園として施設の再整備を行う。		
成果・実績	避難所として位置付けている体育館の多目的アリーナにおいて、避難者の安全を確保するため吊天井の改修及び照明設備の更新などを行った。 また、災害時の飲料水を確保するため耐震性受水槽を設置し、防災機能の向上を図った。		
事業評価	黄檗公園再整備事業を実施したことにより、防災拠点としての機能強化を図ることができた。市の財政見通し等を考慮しながら、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	01 良好な市街地の形成	

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	587千円


事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づく市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動への支援を行うとともに、条例の趣旨・制度の周知を目的とした「まちづくり地域セミナー」及び地域のまちづくり活動のリーダー育成を目的とした「まちづくり塾」を開催し、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を促す。
-------------	---

成果・実績	<p>◎地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月5日～9月9日 目的 協議会の活動内容について紹介</p> <p>◎うじ井戸端会議 開催日 5月25日、9月8日、29年3月22日 「地区まちづくり協議会パネル展」 目的 協議会及びまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報及び意見の交換、交流</p> <p>◎宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 1回開催</p> <p>◎認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 3件</p>	  <p style="text-align: center;">「うじ井戸端会議」</p>
--------------	---	---

事業評価	まちづくり活動への支援を通じて市民参加の担い手を増やすことができた。自治会区域を活動範囲とする大きなまちづくり協議会は一定の進展が見られるものの、街区単位等での小さな協議会活動の広がりに向けた検討をする必要がある。
-------------	---

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園史跡ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	253,595千円
事業内容	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、史跡公園の整備を行う。		
成果・実績	<p>史跡整備のため、太閤堤築堤期を再現するAゾーンでは、石張り遺構の再現に使用するGRCパネル9.6㎡を製作した。また、既に製作済みのもも含め、263.2㎡のGRCパネルを設置した。一方、太閤堤が埋没し茶園ができ始めた江戸後期の景観再現を計画するBゾーンでは、茶樹の植栽を体験する講座を実施し、市民とともに修景茶園の整備を行った。また、石出しの発掘調査を行う中で、太閤堤フォーラムを開催し、発掘調査現場を見学をするなど50名の参加を得た。</p>		
			
	Aゾーン石出遺構再現部分の工事の様子		
事業評価	史跡整備に向け事業進捗を図るとともに、遺構再現パネルの作成と史跡整備工事及び太閤堤フォーラムを行うことにより、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。宇治川太閤堤跡の良好な保存のため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園交流ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	617,499千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向け、平成21年7月に国の史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡を保存・活用していくため、歴史公園の交流ゾーンの整備を行う。		
成果・実績	<p>歴史公園交流ゾーンの整備については、従前計画の見直しに着手するため、庁内関係部局とも連携を図りながら見直しの方向について検討を行った。その結果、観光目的に特化する方向を軸に計画を見直すこととし、事業進捗に取り組んでいる。一方、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、4億2,070万円の交付が決定され、宇治市土地開発公社からの用地買戻しに充当した。</p>		
事業評価	整備内容の見直しやスケジュール等の見直しを含め、今後のあり方について早期に検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	51,364千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定されたことから、その保全と活用を図るため、整備計画を策定するとともに、重要構成要素の修理・修景事業を推進し、白川地区・黄檗地区への重要文化的景観区域の拡大を目指す。		
成果・実績	<p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。修理事業としては旧京都府茶業会議所の耐震補強、外観・内部修理、屋根葺き替え修理事業を行った。また、「宇治の文化的景観」修理報告書を刊行した。全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、石川県金沢市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2017を開催し50名の参加を得た。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>修理を完了した旧京都府茶業会議所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>文化的景観フォーラムの様子</p> </div> </div>		
事業評価	文化的景観フォーラムの実施及び重要構成要素の修理・修景業務を実施したことにより、市民の文化的景観への理解度を高めることができた。今後も引き続き整備計画の策定を進め、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりに努める必要がある。		



事務事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	188千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現とともに平成24年3月に策定した宇治市歴史的風致維持向上計画により、（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園の整備等、様々な取組を総合的に実施する。		
成果・実績	<p>平成24年3月5日に国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣の3大臣認定を受けた法定計画の進行管理として、外部委員により構成され、計画の変更及び進捗評価などを担う、歴史的風致維持向上協議会の運営、並びに庁内の横断的な協議を行う組織である、歴史まちづくり推進調整会議の運営を行い、歴史的風致維持向上に資する取組の進行管理を実施した。</p> <p>歴史的風致維持向上計画の既存事業（歩行空間整備事業）において昨年度追加した路線箇所については、今年度設計に着手し、次年度の事業完成に向けて進めている。また、他の既存事業についても計画通り進捗している。</p>		
事業評価	法定協議会の開催により、計画事業の進捗管理とあわせた計画の変更・追加を行うことができた。歴史的風致を後世へ継承していく気運を高めるため、今後のあり方について検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	48千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行う。		
成果・実績	<p>違反広告物除却推進団体員として、1団体2人を登録し、違反広告物の除却を行う。市民が自ら違反広告物を除却することで、推進団体員以外の市民にも違反広告物に対する意識向上を図った。</p> <p>◎違反広告物撤去枚数 491枚（推進団体撤去枚数 0枚）</p>		
事業評価	市民と協働して違反広告物の除却を推進したことにより、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。今後も、登録団体数の増加を図るとともに、登録団体と連携し、地域の目による抑止力向上及び景観への意識向上に努める必要がある。		



事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	4,507千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為及び阻害要因の除去に対して景観形成助成を行う。また、京都府、近隣市町村との意見交換及び景観アドバイザーの助言などを受け、良好な景観の形成を推進していく。		
成果・実績	<p>景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の建築物（設計費含む1件）、広告物（撤去費含む2件）、その他1件に対して、景観形成助成を行った。本市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。また、景観アドバイザー会議を5回開催し、専門家の助言を受け良好な景観形成の推進を図った。</p>		
			
	改修前	改修後	
事業評価	景観計画重点区域における助成を実施したことにより、良好な景観の形成を図ることができた。今後は、地域住民の景観に対する意識を高め、住民が主体的に良好な景観の形成に取り組む手法を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	風致地区内建築行為等許可事務費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	96千円
事業内容	平成27年4月より京都府から権限移譲を受け、風致地区内の建築行為等の許可事務を行うことで、風致地区内の風致の維持を行う。		
成果・実績	風致地区内の建築行為等の許可事務を行うにあたり、「許可基準の解説と運用」を作成し、公表することで、円滑な許可事務を行う。 ◎許可事務取扱件数 75件		
事業評価	許可基準の運用書を作成及び公表することにより、円滑な許可事務を行い、風致の維持を図ることができた。今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	02 文化財保護と伝統文化の継承	

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	2,990千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>国宝の平等院鳳凰堂中堂壁画の修理、萬福寺の重要文化財聯（れん）の修理事業はじめ、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など所有者修理・維持等の12件に補助を行った。</p> <p>また、平成25年9月の台風第18号接近による災害復旧として京都府史跡萬福寺境内の獅子林院災害復旧工事に補助を行った。</p> <p>二子山古墳の保護推進事業費としては、二子山古墳フォーラムを開催し、200人以上の市民の参加があった。</p>		
事業評価	文化財の修理等へ補助を実施したことにより、文化財の保全に努めることができた。今後も文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等に補助を行う中で、保存・活用に努める必要がある。また、二子山古墳の保護に向け、市民に周知を図ることができた。		



補助を行った大幣神事

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	14,622千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	<p>国庫補助事業としては二子山古墳、集合住宅建設に伴う宇治市街遺跡の試掘、駐車場造成に係る大鳳寺跡の試掘を実施し、史跡指定等の保存措置に必要なデータの収集及び文化財の保全を行った。</p> <p>また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため受託事業として井尻遺跡の緊急発掘調査1件の発掘調査を実施した。</p> <p>◎受託発掘調査 5件 4,622千円 ◎国庫補助発掘調査 1件・試掘 2件 10,000千円</p>		
事業評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録の作成を行うとともに、広く発掘成果を公開することにより、文化財保護の啓発を図ることができた。		



二子山古墳発掘調査の様子(国庫補助)


平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	01 良好な市街地の形成	

事務事業名	開発指導事務費	所管課	開発指導課																			
		決算額	205千円																			
事業内容	無秩序な開発事業を防止し、安全で良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、本市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設等の整備について適正な指導を行う。																					
成果・実績	<p>本市における開発事業について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」等関係諸法令に基づき指導した。</p> <p>◎開発指導事務費 205千円</p> <p>平成28年度における宅地開発等協力寄付金の納入については下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">宅地開発等協力寄付金 (歳入)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: right;">26,161</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: right;">66,900</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: right;">3,279</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: right;">96,340</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額 (千円)	宅地開発事業		8	26,161	特定用途 建築行為	集合住宅	10	66,900	集合住宅以外	8	3,279	合計		26	96,340
		件数	金額 (千円)																			
宅地開発事業		8	26,161																			
特定用途 建築行為	集合住宅	10	66,900																			
	集合住宅以外	8	3,279																			
合計		26	96,340																			
事業評価	開発事業について条例に基づき指導を実施したことにより、良好な居住環境の保全を図ることができた。今後も引き続き事業者に対して指導を行うとともに、本市のまちづくりへの理解と協力を求め、良好な居住環境の保全に努める必要がある。																					

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	都市整備部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課								
		決算額	51,021千円								
事業内容	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第6条により、平成28年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を改定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>										
成果・実績	<p>9月4日に京都文教大学で行われた防災訓練ほか、各地域の防災訓練に参加し「耐震診断相談コーナー」の設置及び自治会の防災出前講座でのPR等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>木造住宅耐震診断</td> <td style="text-align: right;">53棟</td> </tr> <tr> <td>木造住宅耐震改修</td> <td style="text-align: right;">46棟</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">（本格改修33棟、簡易改修13棟）</td> </tr> <tr> <td>耐震シェルター設置</td> <td style="text-align: right;">1棟</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>宇治市防災訓練（京都文教大学）</p> </div>			木造住宅耐震診断	53棟	木造住宅耐震改修	46棟	（本格改修33棟、簡易改修13棟）		耐震シェルター設置	1棟
木造住宅耐震診断	53棟										
木造住宅耐震改修	46棟										
（本格改修33棟、簡易改修13棟）											
耐震シェルター設置	1棟										
事業評価	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施したことにより、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。今後は、平成28年度改定した新たな宇治市建築物耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震化を図る必要がある。</p>										

平成 28 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	01 良好な市街地の形成	

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	1,117千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事または民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全・安心な建築物の供給、法の的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>建築確認等申請件数（計画通知を含む/計画変更含まず）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td>670</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>707</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>687</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>725</td> </tr> </tbody> </table>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	17	0	1	18	民間確認検査機関	670	19	18	707	合計	687	19	19	725
		建築物	昇降機等	工作物	計																		
本市	17	0	1	18																			
民間確認検査機関	670	19	18	707																			
合計	687	19	19	725																			
	<p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるように以下の各事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎違反建築物対策（行政指導件数 31件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発及び現場パトロールなどを実施した。また、違反建築物に対する是正指導等を行った。 ◎長期優良住宅の認定（認定件数 138件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。 ◎建設リサイクル法に基づく業務（届出・通知件数 439件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のため広報及び現場パトロールを実施した。 ◎省エネルギー法に基づく業務（届出件数 46件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について義務付けられている省エネルギー措置の届出と定期報告の受理を行った。 ◎京都府地球温暖化対策条例に基づく業務（届出件数 2件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、一定規模以上の建築物に対して義務付けられている計画書等の届出の受理を行った。 																						
事業評価	<p>パトロール等の啓発活動を実施したことにより、建築確認・検査制度の適正な執行及び適正な建築物の供給を担保することができた。今後も効果的な啓発内容を検討しながら、適正な建築物の供給に努める必要がある。</p>																						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	交通安全対策事務費	所管課	交通政策課				
		決算額	597千円				
事業内容	交通安全対策の推進を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。						
成果・実績	<p>保育所、幼稚園、小・中・高等学校において、警察の協力のもと、それぞれの学習段階に応じた交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーの普及を図った。あわせて、宇治市交通安全対策協議会等の関係機関・団体とも連携し、交通安全運動期間における街頭啓発活動を始めとする取組により、市民の交通安全の意識向上を図った。</p> <p>また、地域からの交通安全要望を踏まえ、必要な交通規制及び安全対策を実施するため、警察及び関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全確保に努めた。</p> <p style="text-align: center;">◎交通安全教室</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>開催数</td> <td style="text-align: right;">83回</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td style="text-align: right;">延べ約7,500人</td> </tr> </table>			開催数	83回	受講者数	延べ約7,500人
開催数	83回						
受講者数	延べ約7,500人						
事業評価	交通安全教室を開催することにより、市民の交通安全への意識向上を図ることができた。今後も引き続き、関係機関とより一層の連携を図る中で、ハード・ソフトの多様な取組手法により交通安全対策に努める必要がある。						

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課																												
		決算額	162,195千円																												
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上及び自転車等の放置防止、歩行者及び通行車両などの安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に17の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学等で利用される自転車等を収容する。																														
成果・実績	<p style="text-align: center;">自転車等駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> <th style="text-align: center;">27</th> <th style="text-align: center;">28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">自転車</td> <td style="text-align: center;">一時利用</td> <td style="text-align: right;">95,769</td> <td style="text-align: right;">92,814</td> <td style="text-align: right;">89,652</td> <td style="text-align: right;">90,234</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">定期利用</td> <td style="text-align: right;">14,512</td> <td style="text-align: right;">13,851</td> <td style="text-align: right;">13,079</td> <td style="text-align: right;">12,421</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">原動機付き 自転車等</td> <td style="text-align: center;">一時利用</td> <td style="text-align: right;">38,911</td> <td style="text-align: right;">39,094</td> <td style="text-align: right;">38,594</td> <td style="text-align: right;">38,449</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">定期利用</td> <td style="text-align: right;">3,485</td> <td style="text-align: right;">3,342</td> <td style="text-align: right;">3,226</td> <td style="text-align: right;">3,208</td> </tr> </tbody> </table>			年度		25	26	27	28	自転車	一時利用	95,769	92,814	89,652	90,234	定期利用	14,512	13,851	13,079	12,421	原動機付き 自転車等	一時利用	38,911	39,094	38,594	38,449	定期利用	3,485	3,342	3,226	3,208
年度		25	26	27	28																										
自転車	一時利用	95,769	92,814	89,652	90,234																										
	定期利用	14,512	13,851	13,079	12,421																										
原動機付き 自転車等	一時利用	38,911	39,094	38,594	38,449																										
	定期利用	3,485	3,342	3,226	3,208																										
事業評価	施設の適切な管理運営により歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。施設の老朽化等の問題があるため、利用者ニーズを踏まえながら、自転車等駐車場の今後のあり方について検討する必要がある。																														

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課																				
		決算額	4,704千円																				
事業内容	駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者及び通行車両などの安全確保を図る。																						
成果・実績	自転車撤去台数は減少傾向にある。撤去自転車のうち243台は所有者に引き取られ、その他は福祉施設に無償譲渡及び有価物として売却を行った。 放置自転車撤去台数等 (台) <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> <th style="text-align: center;">27</th> <th style="text-align: center;">28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去台数</td> <td style="text-align: center;">962</td> <td style="text-align: center;">795</td> <td style="text-align: center;">517</td> <td style="text-align: center;">530</td> </tr> <tr> <td>返還台数</td> <td style="text-align: center;">375</td> <td style="text-align: center;">387</td> <td style="text-align: center;">228</td> <td style="text-align: center;">243</td> </tr> <tr> <td>売却処理台数</td> <td style="text-align: center;">272</td> <td style="text-align: center;">248</td> <td style="text-align: center;">244</td> <td style="text-align: center;">183</td> </tr> </tbody> </table>			年度	25	26	27	28	撤去台数	962	795	517	530	返還台数	375	387	228	243	売却処理台数	272	248	244	183
年度	25	26	27	28																			
撤去台数	962	795	517	530																			
返還台数	375	387	228	243																			
売却処理台数	272	248	244	183																			
事業評価	自転車放置対策に係る啓発及び放置自転車の撤去などを実施したことにより、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、引き続き放置防止対策に努める必要がある。																						

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課															
		決算額	4,926千円															
事業内容	JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。																	
成果・実績	駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等が利用した。 自動車駐車場利用台数 (台) <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> <th style="text-align: center;">27</th> <th style="text-align: center;">28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td style="text-align: center;">19,375</td> <td style="text-align: center;">20,140</td> <td style="text-align: center;">19,994</td> <td style="text-align: center;">20,937</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td style="text-align: center;">75,055</td> <td style="text-align: center;">109,414</td> <td style="text-align: center;">100,144</td> <td style="text-align: center;">103,978</td> </tr> </tbody> </table>			年度	25	26	27	28	JR宇治駅前	19,375	20,140	19,994	20,937	近鉄大久保駅前	75,055	109,414	100,144	103,978
年度	25	26	27	28														
JR宇治駅前	19,375	20,140	19,994	20,937														
近鉄大久保駅前	75,055	109,414	100,144	103,978														
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、今後も適切な施設管理・運営に努める必要がある。																	

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	交通バリアフリー推進事業費	所管課	交通政策課
		決算額	5,761千円
事業内容	平成17年に策定した「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、市内のバリアフリー化に取り組んできたが、平成18年の法改正及び平成23年に国の基本方針が見直されたことを受け、全体構想を見直すとともに、改訂した全体構想に基づき、基本構想を策定するなど、さらに市内のバリアフリー化を推進する。		
成果・実績	平成26年度に宇治市交通バリアフリー検討委員会を設置し、宇治市交通バリアフリー全体構想を改訂する中で、「木幡」「黄檗」「伊勢田」の3地区を新たに重点整備地区に位置付けた。 平成28年度は改訂された全体構想に基づき、黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。JR宇治駅では、国・府・市が事業費の一部を補助し、内方線の整備が行われた。		
事業評価	バリアフリー化事業に取り組むことにより、高齢者・障害者等の移動の円滑化に努めることができた。市の財政見直し等考慮しながら、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	02 公共交通機関の整備促進	

事務事業名	JR奈良線複線化事業補助金	所管課	交通政策課
		決算額	106,361千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業について、京都府・本市を含む沿線市町・JR西日本で締結した「基本協定書」「実施等に関する協定書」及び「実施等に関する変更協定書」に基づき、補助金をJR西日本に支出し事業の推進を図る。		
成果・実績	<p>◎経過 平成25年度に締結した基本協定書に基づき、JR奈良線の高速化・複線化に向け、環境影響評価法に基づく、評価書の確定・公告手続きが平成27年度に完了した。</p> <p>◎実績 平成25年度からはじまった京都駅奈良線ホーム改良工事も平成28年度に完了した。また、市内では、沿線住民に対する工事説明会を5カ所で開催し、新田～城陽間で本体工事に着手した。</p>		
事業評価	今後も引き続き、京都府、沿線市町及び事業者と調整しながら、協定書等に基づく事業進捗に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	02 公共交通機関の整備促進	

事務事業名	地域公共交通活性化事業費	所管課	交通政策課																												
		決算額	4,250千円																												
事業内容	バス路線の再編等により公共交通の利用が困難となった明星町・西小倉・槇島の3地域において公共交通を確保するため、地域住民と協働で「宇治市のりあい交通事業」に取り組む。また、全市的な利用促進に取り組み、公共交通の活性化を図る。																														
成果・実績	<p>◎確保・維持 平成25年度に明星町・西小倉・槇島の3地域を対象とした宇治市のりあい交通事業を創設した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">明星町</th> <th style="text-align: center;">西小倉</th> <th style="text-align: center;">槇島</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">試験運行</td> <td>地域に沿った運行形態の模索</td> <td>地域に沿った運行計画の検討</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">本格運行 開始</td> <td>アンケート調査 サポート会員の募集</td> <td>地域に沿った運行計画の検討</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">本格運行 継続</td> <td>西小倉のりあいタクシー運営委員会設立、 交通事業者公募</td> <td>地域に沿った運行計画の検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎利用促進 利用促進の取組として、小学生を対象とした交通学習の実施及びおでかけマップの配布等を行うことで、公共交通の一つとしてバスの理解を深めることができた。また、宇治橋通り商店街で行われるわんさかフェスタに参加し、公共交通の利用促進を呼びかけた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">交通学習</th> <th style="text-align: center;">おでかけマップ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>配布枚数 延べ 3,440枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">三室戸小学校(2年) バス乗り方学習</td> <td>配布枚数 延べ 5,600枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">三室戸小学校(2年) バス乗り方学習</td> <td>配布枚数 延べ 7,000枚</td> </tr> </tbody> </table>				明星町	西小倉	槇島	平成26年度	試験運行	地域に沿った運行形態の模索	地域に沿った運行計画の検討	平成27年度	本格運行 開始	アンケート調査 サポート会員の募集	地域に沿った運行計画の検討	平成28年度	本格運行 継続	西小倉のりあいタクシー運営委員会設立、 交通事業者公募	地域に沿った運行計画の検討		交通学習	おでかけマップ	平成26年度	—	配布枚数 延べ 3,440枚	平成27年度	三室戸小学校(2年) バス乗り方学習	配布枚数 延べ 5,600枚	平成28年度	三室戸小学校(2年) バス乗り方学習	配布枚数 延べ 7,000枚
	明星町	西小倉	槇島																												
平成26年度	試験運行	地域に沿った運行形態の模索	地域に沿った運行計画の検討																												
平成27年度	本格運行 開始	アンケート調査 サポート会員の募集	地域に沿った運行計画の検討																												
平成28年度	本格運行 継続	西小倉のりあいタクシー運営委員会設立、 交通事業者公募	地域に沿った運行計画の検討																												
	交通学習	おでかけマップ																													
平成26年度	—	配布枚数 延べ 3,440枚																													
平成27年度	三室戸小学校(2年) バス乗り方学習	配布枚数 延べ 5,600枚																													
平成28年度	三室戸小学校(2年) バス乗り方学習	配布枚数 延べ 7,000枚																													
事業評価	「宇治市のりあい交通事業」及び「利用促進事業」に取り組むことにより、公共交通の確保に努めることができた。今後も地域住民と協働して移動手段確保に努めるとともに、全市的な公共交通の利用促進に努める必要がある。																														

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	事務事業点検評価事業費	所管課	教育総務課
		決算額	120千円
事業内容	<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、その権限に関する事務・事業の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに市民へ公表する。</p>		
成果・実績	<p>教育委員会の基本方針に沿って効果的な教育行政が実施できたか、学識者とともに、宇治市教育振興基本計画（平成26～33年度）の施策体系に沿った点検・評価を行い、合わせて各施策の指標値・目標値と実績値を報告書の中で示すことにより、市民への説明責任を果たした。</p> <p style="text-align: center;">学識経験者等謝礼 120千円</p>		
事業評価	<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、事務事業点検・評価を実施したことにより、効果的な教育行政を進めることができた。市民にとって、より分かりやすい点検・評価とするため、今後も学識者の意見を踏まえて目標達成度及び評価項目の設定などについて検討する必要がある。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	39,628千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、小・中学校の学校図書館図書を充実させるとともに、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	◎図書館教育充実事業費 22,059千円 拠点校7校及び代表校1校に学校司書を配置し、各学校を巡回して児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。 ◎図書館ボランティア養成事業費 69千円 ボランティア養成講座等開催数 2回 ボランティア登録者数 416人 ◎学校図書館図書充実費 小学校 9,800千円 中学校 7,700千円		
事業評価	図書の購入・配架、学校司書による支援及び図書館ボランティアの活動により、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図ることができた。事業の状況の把握、成果等の分析に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校教育課
		決算額	126,551千円
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断を実施し、環境衛生の確保に努めるとともに、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	園児、児童・生徒の健康診断及び各種検診・検査を実施した。 ◎小学校保健管理費 78,463千円 ◎中学校保健管理費 35,059千円 ◎幼稚園保健管理費 4,920千円 ◎小学校心臓検診充実費 5,376千円 ◎中学校心臓検診充実費 2,681千円 ◎結核予防対策費 52千円		
事業評価	適切に健康診断及び各種検診・検査を実施したことにより、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図ることができた。今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校教育課						
		決算額	16,518千円						
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の負担を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。								
成果・実績	笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童の送迎を含む） <table style="margin-left: 20px; width: 60%;"> <tr> <td>特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="text-align: right;">69千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td style="text-align: right;">525千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td style="text-align: right;">15,924千円</td> </tr> </table>			特認入学パンフレット印刷費	69千円	笠取地区通学バス等維持管理費	525千円	笠取地区通学バス等運行委託料	15,924千円
特認入学パンフレット印刷費	69千円								
笠取地区通学バス等維持管理費	525千円								
笠取地区通学バス等運行委託料	15,924千円								
事業評価	通学用輸送車及び給食配送車の運行により、へき地における教育水準の維持・向上を図ることができた。山間部の通学と特認校制度維持のため、今後も引き続き実施する。								



事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課				
		決算額	53,266千円				
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、教材備品の整備に関する規程を設けるなど学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材の充実を図る。						
成果・実績	小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。 <table style="margin-left: 20px; width: 60%;"> <tr> <td>◎小学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">36,054千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">17,212千円</td> </tr> </table>			◎小学校教材充実費	36,054千円	◎中学校教材充実費	17,212千円
◎小学校教材充実費	36,054千円						
◎中学校教材充実費	17,212千円						
事業評価	教材等の購入費用を適正に執行し、児童・生徒の教育環境を整備できた。国の方針等に基づき、教材の充実のため、今後も引き続き実施する。						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課
		決算額	137,779千円
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。		
成果・実績	◎小学校就学援助費 94,032千円 ◎中学校就学援助費 43,747千円		
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行したことにより、児童・生徒の教育機会を確保することができた。全ての様々な生活環境の子どもが均等に義務教育を受けられるようにするため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	私立幼稚園就園助成費補助金	所管課	学校教育課												
		決算額	253,082千円												
事業内容	宇治市内に居住し、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、国庫補助基準額による所得基準に応じて助成を行うことにより、保護者の経済的負担軽減と幼稚園教育の振興を図る。														
成果・実績	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">助成者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">満3歳児</td> <td style="text-align: center;">109</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3歳児</td> <td style="text-align: center;">560</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4歳児</td> <td style="text-align: center;">698</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5歳児</td> <td style="text-align: center;">734</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">2,101</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※満3歳児は3歳の誕生日を迎えた園児</p>			区分	助成者数（人）	満3歳児	109	3歳児	560	4歳児	698	5歳児	734	合計	2,101
区分	助成者数（人）														
満3歳児	109														
3歳児	560														
4歳児	698														
5歳児	734														
合計	2,101														
事業評価	国庫補助基準に沿って適正に助成したことにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。国の動向を注視し、今後も引き続き実施する。														

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	緊急安全対策事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	38,613千円
事業内容	幼稚園、小・中学校に、地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児、児童・生徒の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>◎地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 37,885千円 35校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視</p> <p>◎幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 728千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p>		
事業評価	幼稚園、小・中学校で各種安全対策を講じるとともに、私立幼稚園の安全対策補助金を適正に執行したことにより、園児、児童・生徒の安全を確保することができた。活動実態の把握、分析とともに、他の地域安全活動との連携を検討しながら安全確保に努める必要がある。		

事務事業名	学校版環境ISO実施事業費	所管課	学校教育課
		決算額	759千円
事業内容	幼稚園、小・中学校が環境問題に目を向け、身近な学校生活の中で環境に配慮した生活態度を実践するため、園児、児童・生徒、教職員が環境活動について計画、行動、点検、見直しを行う。		
成果・実績	各幼稚園、小・中学校において、園・校内の緑化運動及びごみの分別、ペットボトルのエコキャップ回収運動、節電・節水など、環境に配慮した学習及び活動を実施した。		
事業評価	学校版環境ISO事業を実施したことにより、自主的な環境活動を促進し環境意識を醸成することができた。		

平成28年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課
		決算額	10,861千円
事業内容	画一的な授業ではなく、地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。		
成果・実績	◎小学校「総合的な学習の時間」推進費	5,695千円	
	主な学習内容 ・国際（異文化）理解		
成果・実績	◎中学校「総合的な学習の時間」推進費	5,166千円	
	主な学習内容 ・国際（異文化）理解 ・緑化推進		
事業評価	社会人講師等によって従来の授業とは異なる総合的な学習を実施したことにより、幅広い教育振興を図ることができた。「宇治学」等体験的な学習機会の提供を考慮しながら、今後も引き続き実施していく必要がある。		

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課・一貫教育課
		決算額	6,287千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。		
成果・実績	◎小学校特別支援教育費	2,723千円	
	うち扶助費（学校教育課分） 2,462千円 うち備品等（一貫教育課分） 261千円		
	◎中学校特別支援教育費	1,516千円	
	うち扶助費（学校教育課分） 1,344千円 うち備品等（一貫教育課分） 172千円 小学校21校43学級、中学校10校19学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。		
成果・実績	◎小学校特別支援学級開設費（一貫教育課）	1,348千円	
	◎中学校特別支援学級開設費（一貫教育課）	700千円	
事業評価	就学奨励費の支給及び物品の購入などを実施したことにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会を確保することができた。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	1,745千円						
事業内容	児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。								
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">事業実施児童数</td> <td style="text-align: right;">9,321人</td> </tr> <tr> <td>事業実施率</td> <td style="text-align: right;">約90.4%</td> </tr> <tr> <td>平均実施回数</td> <td style="text-align: right;">25.5回</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			事業実施児童数	9,321人	事業実施率	約90.4%	平均実施回数	25.5回
事業実施児童数	9,321人								
事業実施率	約90.4%								
平均実施回数	25.5回								
事業評価	フッ化物洗口を実施したことにより、児童の虫歯予防を推進することができた。状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。								

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校教育課									
		決算額	205,756千円									
事業内容	小学校給食運営の中で、本市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の条件整備を行う。											
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">調理業務委託料</td> <td style="padding-right: 20px;">14校委託</td> <td style="text-align: right;">174,024千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員（学校栄養士）配置</td> <td>10校</td> <td style="text-align: right;">27,535千円</td> </tr> <tr> <td>PEN食器等購入費</td> <td>PEN食器等の購入費用</td> <td style="text-align: right;">4,197千円</td> </tr> </table>			調理業務委託料	14校委託	174,024千円	非常勤職員（学校栄養士）配置	10校	27,535千円	PEN食器等購入費	PEN食器等の購入費用	4,197千円
調理業務委託料	14校委託	174,024千円										
非常勤職員（学校栄養士）配置	10校	27,535千円										
PEN食器等購入費	PEN食器等の購入費用	4,197千円										
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、PEN食器の導入等、学校給食環境の整備を行うことにより、成長期にある児童の健全な育成を推進することができた。今後も計画的な給食食器の更新に努める必要がある。											

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	


事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校教育課																								
		決算額	5,344千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを基本としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	<p style="text-align: center;">利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">6.3%</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.3%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> <td>広野中学校</td> <td style="text-align: center;">0.3%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.3%</td> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> <td>木幡中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>榎島中学校</td> <td style="text-align: center;">1.5%</td> <td>黄檗中学校</td> <td style="text-align: center;">1.0%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	6.3%	西宇治中学校	0.3%	西小倉中学校	0.0%	広野中学校	0.3%	宇治中学校	0.3%	東宇治中学校	0.2%	北宇治中学校	0.2%	木幡中学校	0.2%	榎島中学校	1.5%	黄檗中学校	1.0%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	6.3%	西宇治中学校	0.3%																								
西小倉中学校	0.0%	広野中学校	0.3%																								
宇治中学校	0.3%	東宇治中学校	0.2%																								
北宇治中学校	0.2%	木幡中学校	0.2%																								
榎島中学校	1.5%	黄檗中学校	1.0%																								
事業評価	弁当を持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供したことにより、生徒の健全な発育を促進できた。利用状況の把握、分析に努める中で、今後のあり方について検討する必要がある。																										

事務事業名	多子世帯支援事業費	所管課	学校教育課
		決算額	11,751千円
事業内容	幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、幼稚園保育料に係る多子計算の年齢制限を小学校3年生から満18歳未満に拡大し、第3子以降の保育料無償化を行う。		
成果・実績	<p>対象世帯の幼稚園保育料について、補助金を交付することにより、多子世帯の経済的負担軽減に努めた。</p> <p style="margin-left: 40px;">補助金交付延べ人数 1,284人</p> <p style="margin-left: 40px;">補助金交付額 10,077千円</p>		
事業評価	京都府制度に基づき、多子世帯の経済的負担を軽減することができた。今後も国、京都府の動向を注視し、安心して子どもを産み育てる環境づくりに努める必要がある。		


平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	幼稚園、小・中学校維持整備事業	所管課	学校教育課
		決算額	857,218千円
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化と損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施するとともに、トイレ改修及び体育館非構造部材の耐震改修など大規模改造事業を実施する。		
成果・実績	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。		
	事業名	主な内容	事業費
	◎幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	2,904千円
	◎小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	48,720千円
	◎小学校施設整備費	各小学校施設の環境整備他	55,719千円
	◎小学校大規模改造事業費	三室戸小学校便所改修工事 木幡小学校体育館非構造部材耐震改修工事他	288,857千円
	◎中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	22,292千円
	◎中学校施設整備費	各中学校施設の環境整備他	13,300千円
	東宇治中学校便所改修工事 東宇治中学校体育館非構造部材耐震改修工事他	425,426千円	
事業評価	老朽化に対応し、計画的に改修工事に着手した。今後も計画的に施設の維持・保全に努め、施設の整備を図る必要がある。		

事務事業名	三室戸小学校増築事業費	所管課	学校教育課
		決算額	80,901千円
事業内容	児童数推計において児童数が増加するため、教室不足が見込まれる三室戸小学校の校舎増築等を実施する。		
成果・実績	教室不足が見込まれる三室戸小学校の環境整備を行った。		
	校舎増築工事他	77,420千円	
	工事に伴う移設他	3,481千円	
			
事業評価	校舎を増築することにより三室戸小学校における児童数の増加への対応を図り、学習環境の維持・向上に努めた。		

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局							
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部							
中分類	01 学校教育の充実								
小分類	02 学校教育環境の充実								
事務事業名	小倉小学校給食施設改築事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	254,004千円						
事業内容	施設の維持・保全を図るため、また給食調理室の衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生を確保するために、老朽化した小倉小学校給食室の改築等を実施する。								
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">給食棟他新築工事</td> <td style="text-align: right;">158,802千円</td> </tr> <tr> <td>給食棟解体及びサブグラウンド整備工事</td> <td style="text-align: right;">24,349千円</td> </tr> <tr> <td>工事に伴う移設他</td> <td style="text-align: right;">70,853千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>			給食棟他新築工事	158,802千円	給食棟解体及びサブグラウンド整備工事	24,349千円	工事に伴う移設他	70,853千円
給食棟他新築工事	158,802千円								
給食棟解体及びサブグラウンド整備工事	24,349千円								
工事に伴う移設他	70,853千円								
事業評価	給食調理室を改築することにより、衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生の維持・向上に努めた。								

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	生涯学習課		
		決算額	1,871千円		
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、子どもが仲間と楽しく学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。				
成果・実績	利用状況				
	視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室
	69件	128件	78件	13件	706人
	西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、コーラス、楽器演奏、バンド演奏など、日頃の活動の成果を発表した。				
事業評価	地域住民のニーズに応じた特別教室の開放により、地域の活性化を図ることができた。近年、登録団体数及び利用者数が減少傾向であり、地域の運営委員会及び事業のあり方について検討する必要がある。				

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	子どもの居場所づくり支援事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	230千円
事業内容	土曜日午前公民館の一室を開放し、公民館サークル及び地域ボランティアによる遊び及び自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導を行う。子どもに生活体験・社会体験・自然体験の機会を提供し、健やかな成長を促す。		
成果・実績	遊び及び自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導により、子どもたちが学校及び家庭では経験できない種々の体験をし、優しさ・たくましさを育む活動及び場所を提供・支援した。5公民館で開催回数は67回、延べ951人が参加した。		
事業評価	公民館サークル及び地域住民の協力による種々の体験活動を実施したことにより、地域の人との触れ合いを通して子どもの健やかな成長を促すことができた。市民のニーズに応じた地域ぐるみでの子育て支援となるように創意工夫して、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課																										
		決算額	134千円																										
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。																												
成果・実績	障害の種別に応じた教室及び講座を開催し、延べ415人の参加があった。																												
	各障害者教室開催状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級（2回）</td> <td>心身障害者</td> <td>80</td> <td>社会見学</td> <td>聴覚障害者</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">やまぶきコーヒーハウス（9回）</td> <td rowspan="2">心身障害者</td> <td rowspan="2">207</td> <td>社会見学</td> <td>肢体障害者</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>講座</td> <td>視覚障害者</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>社会見学</td> <td>視覚障害者</td> <td>26</td> <td>講座</td> <td>聴覚障害者</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>			内容	対象者	人数	内容	対象者	人数	やまぶき学級（2回）	心身障害者	80	社会見学	聴覚障害者	38	やまぶきコーヒーハウス（9回）	心身障害者	207	社会見学	肢体障害者	20	講座	視覚障害者	25	社会見学	視覚障害者	26	講座	聴覚障害者
内容	対象者	人数	内容	対象者	人数																								
やまぶき学級（2回）	心身障害者	80	社会見学	聴覚障害者	38																								
やまぶきコーヒーハウス（9回）	心身障害者	207	社会見学	肢体障害者	20																								
			講座	視覚障害者	25																								
社会見学	視覚障害者	26	講座	聴覚障害者	19																								
事業評価	障害者団体及びボランティアと連携した教室の開催により、学習機会の提供及び仲間づくりに取り組み、障害者の自立と社会参加を促進することができた。講座の新規参加者が少ないことが課題であり、事業の充実に向けて改善に取り組む必要がある。																												

事務事業名	人材バンク事業費	所管課	生涯学習課																																																						
		決算額	48千円																																																						
事業内容	市内を中心に活動する個人講師及びグループの人材情報などを集めた「宇治市生涯学習人材バンク」を構築し、市ホームページ上と冊子版（市内公共施設に配布）で情報を提供することにより、総合的な市民の学習活動を促進する。また、登録講師の指導技術向上と人材バンクの広報のため、研修会・イベント等を開催する。																																																								
成果・実績	ホームページと冊子版による情報提供のほか、広報及び登録講師の意識向上を目的とした研修会を開催して延べ16人が参加した。平成28年度は、宇治まなびんぐ2017で展示を行い、来場者に人材バンクの情報を提供した。																																																								
	登録者数の推移 （人） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>172</td> <td>137</td> <td>127</td> <td>121</td> <td>125</td> <td>144</td> <td>113</td> <td>118</td> <td>89</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td> 個人</td> <td>127</td> <td>98</td> <td>95</td> <td>91</td> <td>94</td> <td>110</td> <td>81</td> <td>87</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td> 団体</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>21</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>うち新規</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> ※運用開始時（平成19年1月11日）の登録者数：125件			年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	登録者数	172	137	127	121	125	144	113	118	89	90	個人	127	98	95	91	94	110	81	87	68	68	団体	45	39	32	30	31	34	32	31	21	22	うち新規	23	16	10	12	19	15	8	7	5
年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28																																															
登録者数	172	137	127	121	125	144	113	118	89	90																																															
個人	127	98	95	91	94	110	81	87	68	68																																															
団体	45	39	32	30	31	34	32	31	21	22																																															
うち新規	23	16	10	12	19	15	8	7	5	5																																															
事業評価	学びたい意欲を持つ人と自身の持つ力を発信したい人の双方のニーズに応え、市民の総合的な学習活動を促進することができた。今後は広報を強化して、より多くの市民に情報提供し、利用促進につなげるように努める必要がある。																																																								

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進



所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課	
		決算額	2,912千円	
事業内容	<p>公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲及び社会の変化に対応する各種講座及び教室の開設、文化活動事業など、学習機会を提供する。</p>			
成果・実績	<p>高齢者の生きがいがづくり・健康づくりを目的に鳳凰大学及び各公民館高齢者教室を開催し、子ども対象事業として茶道教室等を行った。また、市民が公民館で学習を通してつながりを作り、地域で活躍するスキルを身に付けてもらうように、各館の特色を活かして事業に取り組んだ。</p>			
	◎中央公民館活動費	1,530千円		
	◎宇治公民館活動費	261千円		
	◎木幡公民館活動費	358千円		
	◎小倉公民館活動費	442千円		
	◎広野公民館活動費	321千円		
	高齢者を対象とした学級・講座等			
	公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数
	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	4,694
		宇治鳳凰大学 大学祭	1	1,000
	宇治	宇治鳳凰学級	8	1,064
	木幡	許乃国教室	8	912
	小倉	小倉蓮の実教室	8	851
	広野	広野久里古教室	8	1,163
	公民館まつり等			
公民館名	事業名	回数	参加延べ人数	
中央	公民館まつり（2日間）	1	1,750	
	人形劇フェスティバル	1	200	
	初めての陶芸体験をしませんか	4	47	
宇治	公民館まつり（2日間）	1	2,000	
	宇治の形・学びの広場	3	72	
木幡	公民館まつり（3日間）	1	675	
	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	5	172	
小倉	公民館まつり（2日間）	1	894	
	茶香服大会	1	38	
	盆おどり大会・講習会	3	291	
	お茶を使ったスイーツづくり	2	30	
広野	公民館まつり（2日間）	1	2,000	
	ジャズコンサート	1	149	
	地域生涯学習 支援事業	今昔しゃべり場	10	56
		ひろの人形劇	8	152
事業評価	<p>公民館を拠点として多くの市民が参加・活動できる事業を実施したことにより、地域での交流及び生きがいがづくり、地域づくりを進めることができた。今後も地域貢献に取り組む人材の育成に向けて、事業内容の工夫に努める必要がある。</p>			

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課																								
		決算額	131,194千円																								
事業内容	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																										
成果・実績	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供するなど、生涯学習の推進を図った。平成11年度から平成28年度までの延べ利用者数は約155万人となった。</p> <p style="text-align: center;">利用者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊</td> <td>40,370</td> <td>39,281</td> <td>37,489</td> <td>40,759</td> <td>38,460</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td>57,500</td> <td>60,778</td> <td>58,359</td> <td>69,254</td> <td>72,732</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>97,870</td> <td>100,059</td> <td>95,848</td> <td>110,013</td> <td>111,192</td> </tr> </tbody> </table>			年度	24	25	26	27	28	宿泊	40,370	39,281	37,489	40,759	38,460	日帰り	57,500	60,778	58,359	69,254	72,732	合計	97,870	100,059	95,848	110,013	111,192
年度	24	25	26	27	28																						
宿泊	40,370	39,281	37,489	40,759	38,460																						
日帰り	57,500	60,778	58,359	69,254	72,732																						
合計	97,870	100,059	95,848	110,013	111,192																						
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営できた。様々な野外活動を通じた生涯学習の充実を図るため、今後も適切な施設管理に努める必要がある。																										

事務事業名	総合野外活動センター再整備事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	22,550千円
事業内容	来場者が安全・安心に施設利用できるように、大規模修繕にかかる経費を計画的に実施する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・改修設計 2,187千円 平成28年度は、管理棟及び宿泊棟の冷暖房機器改修の設計を行った。 ・改修工事 20,363千円 工作棟のデッキ改修及び外壁と屋根の塗装を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
事業評価	適切な改修工事を実施したことにより、利用者の安全・安心の確保及び利便性を高めることができた。今後も適切な施設管理に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	所管課	生涯学習課
		決算額	4,078千円
事業内容	<p>(一財)地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」として、平成19年度から平成28年度までの10年間、本市、宇治市教育委員会、(一財)宇治市体育協会、(公財)全日本ボウリング協会などの主催により中学生の全国ボウリング選手権大会を開催した。スポーツ推進とともに、多世代交流、地域交流などを図る。</p>		
成果・実績	<p>41の都道府県から選手194人の参加のもと、7月25日～27日の3日間で大会を実施した。さらに、大会参加者の宿泊所であるアクトパル宇治でお茶会・交流会を開催した。また、同大会の一環として、小学生を対象とした「ふれあいボウリング教室」及び小学4年生～中学2年生を対象とした「ジュニアボウリングスクール」を開催した。</p>		
事業評価	<p>大会の実施により、スポーツ推進及び地域交流を図ることができた。(一財)地域活性化センターの補助金が平成28年度に終了するため、これまでの実績等の検証、分析を行い、今後のスポーツ振興事業につなげていく必要がある。</p>		

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	生涯学習課																								
		決算額	3,987千円																								
事業内容	<p>市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。</p>																										
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">府民総体選手派遣費</td> <td style="text-align: right;">825千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加団体数</td> <td>23団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">世界大会等参加者激励金</td> <td style="text-align: right;">2,135千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">交付件数</td> <td>186件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">交付人数</td> <td>262人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">生涯スポーツ育成事業</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(一財)宇治市体育協会に委託</td> <td>参加団体数</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">ジュニア技術講習会</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">宇治市中学校体育連盟に委託</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">第24回宇部市・宇治市スポーツ交流大会</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;"></td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;"></td> <td style="text-align: right;">221人</td> </tr> </table>			府民総体選手派遣費	825千円	参加団体数	23団体	世界大会等参加者激励金	2,135千円	交付件数	186件	交付人数	262人	生涯スポーツ育成事業	300千円	(一財)宇治市体育協会に委託	参加団体数	ジュニア技術講習会	150千円	宇治市中学校体育連盟に委託	参加者数	第24回宇部市・宇治市スポーツ交流大会	500千円		参加者数		221人
府民総体選手派遣費	825千円																										
参加団体数	23団体																										
世界大会等参加者激励金	2,135千円																										
交付件数	186件																										
交付人数	262人																										
生涯スポーツ育成事業	300千円																										
(一財)宇治市体育協会に委託	参加団体数																										
ジュニア技術講習会	150千円																										
宇治市中学校体育連盟に委託	参加者数																										
第24回宇部市・宇治市スポーツ交流大会	500千円																										
	参加者数																										
	221人																										
事業評価	<p>基金を活用して各取組を実施したことにより、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図ることができた。今後も引き続き実施するが、基金は有限の財源であるため、実施については計画的な基金運用に努める必要がある。</p>																										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	生涯学習課																				
		決算額	4,505千円																				
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。																						
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進及び団体育成に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">市長杯等各種競技大会補助金</td> <td style="text-align: right;">965千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">12,380人</td> </tr> <tr> <td>障害者スポーツ大会補助金</td> <td style="text-align: right;">340千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">721人</td> </tr> <tr> <td>地域体育振興事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> <tr> <td>加盟数</td> <td style="text-align: right;">37,426世帯</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団育成事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,100千円</td> </tr> <tr> <td>団体数</td> <td style="text-align: right;">63団体</td> </tr> <tr> <td>宇治川マラソン大会事業補助金</td> <td style="text-align: right;">600千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">2,207人</td> </tr> </table>			市長杯等各種競技大会補助金	965千円	参加者数	12,380人	障害者スポーツ大会補助金	340千円	参加者数	721人	地域体育振興事業補助金	1,500千円	加盟数	37,426世帯	スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円	団体数	63団体	宇治川マラソン大会事業補助金	600千円	参加者数	2,207人
市長杯等各種競技大会補助金	965千円																						
参加者数	12,380人																						
障害者スポーツ大会補助金	340千円																						
参加者数	721人																						
地域体育振興事業補助金	1,500千円																						
加盟数	37,426世帯																						
スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円																						
団体数	63団体																						
宇治川マラソン大会事業補助金	600千円																						
参加者数	2,207人																						
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、本市の競技レベルの向上及び市民スポーツの推進を図ることができた。市民のニーズ等を考慮しながら、今後も引き続き実施する。																						

事務事業名	グラウンド・ゴルフ場整備事業費	所管課	生涯学習課								
		決算額	49,399千円								
事業内容	近年、高齢者を中心に競技者が増加しているグラウンド・ゴルフ場を整備することにより、スポーツ実施機会の増大と一層の競技人口拡大を図り、市民の健康増進に寄与する。										
成果・実績	<p>平成22年度に開所したグラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備し、平成29年秋頃の供用に向けて、造成工事及び張芝工事などに着手した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">整備概要</td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td style="text-align: right;">1コース8ホール（合計3コース24ホール）</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td style="text-align: right;">43台（合計102台）</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">東屋1棟（合計2棟）</td> </tr> </table>			整備概要		コース	1コース8ホール（合計3コース24ホール）	駐車場	43台（合計102台）	その他	東屋1棟（合計2棟）
整備概要											
コース	1コース8ホール（合計3コース24ホール）										
駐車場	43台（合計102台）										
その他	東屋1棟（合計2棟）										
事業評価	新たに第3コース及び駐車場を整備することにより、スポーツ実施機会の増大を図った。今後も引き続き、利用者の拡大に向けて、グラウンド・ゴルフ場を活用し、市民の健康増進に寄与する必要がある。										

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	講座等開催費	所管課	一貫教育課
		決算額	233千円
事業内容	講師謝礼等を助成することにより、学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修の実施を促し、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	<p>一般研修 開催数 24回 受講者数 732人 道徳教育公開授業講座、中堅教職員研修講座、人権教育研修講座など</p> <p>専門研修 開催数 2回 受講者数 42人 小学校外国語活動研修講座 小学校外国語活動公開授業講座</p> <p>情報教育研修 開催数 5回 受講者数 56人 ICT活用講座、情報モラル教育研修講座など</p>		
事業評価	多くの教職員が参加したことにより、指導力の向上を図ることができた。近年は大量退職に伴う新規採用の教職員が多く、多様な教育課題に対応できる学校全体の教育力の維持・向上と人材育成に努める必要があり、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	一貫教育課
		決算額	7,846千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置及び補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配付などを行う。		
成果・実績	<p>小学校では、全校児童を対象に少人数指導及び個別指導、補習授業などを実施した。</p> <p>中学校では、全校生徒を対象にした授業支援とともに、希望者を対象とした補習授業及びテスト前の学習相談会などを実施した。</p> <p>指導方法及び指導機会の方策について全小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配付等を行った。</p>		
事業評価	児童・生徒へきめ細かな個別指導を実施したことにより、学習意欲の向上と学力の充実を図るとともに、家庭訪問を通して進路指導をはじめ、家庭と連携した取組を進めることができた。今後とも、家庭との連携をはじめ、児童生徒への補習授業、学習相談及び授業改善などを進め、指導方法の工夫改善を図るため、課題支援の手法を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	教育研究費	所管課	一貫教育課
		決算額	359千円
事業内容	本市の学校教育において必要となる教育諸課題の解決と一層の教育内容の充実・振興に対応するため、教育研究員による実践研究を実施し、その成果を小中学校に還元する。		
成果・実績	5部会で教育研究を行い、その成果を公開授業及び本市教育委員会ホームページ、本市教職員研修講座などにより報告した。		
	教育研究員部会と研究内容		
	設置部会	部員数	主な研究内容
	学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究
	宇治学研究部	7	「宇治学」副読本作成に係る研究
	外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究
道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究	
情報教育研究部	6	教科指導における効果的なICT活用に係る研究	
事業評価	教育研究員の日常の教育実践に基づいた研究によって、本市学校教育の課題解決を図ることができた。その時々々の教育課題に対応する教育力の向上に資する取組であり、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	一貫教育課
		決算額	45,883千円
事業内容	児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を、幼稚園、小・中学校に派遣する。 また、教職員研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。		
成果・実績	8月より、JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。		
	英語指導助手	10人	
	小学校派遣日数	921日	
	中学校派遣日数	783日	
	幼稚園派遣日数	69日	
事業評価	英語指導助手の活用により、園児、児童・生徒の国際理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。今後は小学校での教科化等を視野に入れた英語指導助手の活用方法を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち		教育部
中分類	01 学校教育の充実		
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実		

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	一貫教育課
		決算額	47,242千円
事業内容	<p>義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。全ての中学校ブロックにチーフコーディネーターと教科連携教員を配置し、きめ細かな指導を進め、小中一貫教育を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。</p> <p style="text-align: right;">宇治市小中一貫教育推進協議会 144千円</p> <p style="text-align: center;">学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、本市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。</p> <p style="text-align: right;">小中一貫教育取組推進教員の配置 46,381千円</p> <p style="text-align: center;">小中一貫教育非常勤講師として、チーフコーディネーター後補充教員を全中学校ブロックで配置するとともに、府費小中連携教員配置校5校を除く中学校ブロックに教科連携教員を配置することで、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p style="text-align: right;">広報及び啓発 717千円</p> <p style="text-align: center;">各中学校ブロックの取組推進並びに啓発を目的としてブロック広報紙等を作成した。</p>		
事業評価	<p>ブロックの小中一貫教育の推進体制が一定整ってきたことにより、義務教育期間の系統性・継続性を考慮した指導等を実施することができた。今後は一貫教育の推進状況の把握、分析に努め、新たなステップとして学力向上の取組を進める必要がある。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	スクール・サイエンス・サポート事業費	所管課	一貫教育課
		決算額	386千円
事業内容	京都大学宇治キャンパスとの連携協力により、児童・生徒の「知りたい」、「学びたい」という学力向上の第一歩となる科学に対する興味・関心を高める事業として、京都大学宇治キャンパスによる出前授業・公開授業、中学校部活動への支援、施設利用・見学などの取組を進める。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市小学生理科教室（京都大学宇治キャンパス） 市立小学校5・6年生 20校 152名 ・ 京都大学施設訪問（京都大学宇治キャンパス） エネルギー工学研究所 南小倉小学校5年生 36名 化学研究所 北小倉小学校5年生 42名 ・ 宇治市中学生理科教室（宇治黄檗中学校理科室） 市立中学校理科部員 3校 22名 ・ 理科教育研修会（京都大学宇治キャンパス） 市立小中学校教員 34名 		
事業評価	教員研修、小学生の施設訪問及び小中学生の理科教室など様々な取組により、児童・生徒の科学に対する興味・関心及び疑問に思ったことを追求する学びの意欲などの学力向上の意識を高めることができた。今後も引き続き京都大学宇治キャンパスと連携協力を行い、児童・生徒の理数系教育の底上げに努める必要がある。		

事務事業名	「宇治学」推進事業費	所管課	一貫教育課
		決算額	7,142千円
事業内容	本市小中一貫教育の特色ある教育活動として「総合的な学習の時間」を「宇治学」と称し、全ての小中学校で実施している。この「宇治学」の指導充実を図るため、小学校3年生から中学校3年生までの「宇治学」副読本を作成し、全校に配布する。また小学校での体験学習としての宇治茶学習への支援を実施する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校3年生、6年生で宇治の特色及び課題などをテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方が学べるように副読本及び指導の手引きの作成及び配付 (テーマ) 小学校3年生・・・宇治茶のステキをつたえよう 小学校6年生・・・「ふるさと宇治」の魅力大発信 ・ 市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施 		
事業評価	児童・生徒に、地域の一員としての自覚を持って「ふるさと宇治」を愛し、より良い宇治を築こうとする自主的、実践的態度を養うため、「宇治学」（総合的な学習の時間）を展開できる副読本及び指導の手引を2つの学年で作成することができた。今後も引き続き、重点単元の副読本及び手引きの作成を行い、「宇治学」の指導充実に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	


事務事業名	青少年電話相談活動費	所管課	教育支援課																		
		決算額	3,773千円																		
事業内容	青少年の人的成長を育むため、市民ボランティア相談員が電話で青少年問題に係る相談を受ける。																				
成果・実績	<p>午前9時から午後5時まで3交替制で243日、相談を実施した。相談内容は「健康」「家族」「人生」「教育」に関わる相談が全体の6割を占めている。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">相談件数推移</th> <th colspan="4">(件)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>477</td> <td>471</td> <td>668</td> <td>519</td> <td>551</td> </tr> </tbody> </table>			相談件数推移		(件)				年度	24	25	26	27	28	件数	477	471	668	519	551
相談件数推移		(件)																			
年度	24	25	26	27	28																
件数	477	471	668	519	551																
事業評価	青少年及び保護者などが相談しやすい環境を整備することにより、青少年の人的成長に寄与することができた。市民ニーズ及び事業効果を踏まえて、京都府等本市以外の相談窓口との役割分担及び制度の周知など効果的・効率的な運営手法を検討する必要がある。																				

事務事業名	学校支援チーム活動費	所管課	教育支援課
		決算額	7,974千円
事業内容	いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
成果・実績	<p>学校等のみでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要したりする問題について、専門的な助言及び支援を行い、現場の教職員が幼児、児童・生徒と向き合う時間をより一層確保できるように、社会福祉士、臨床心理士などの専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーを配置することにより、学校支援の取組を進めた。</p> <p style="text-align: center;">支援チーム会議開催数 14回</p>		
事業評価	学校現場の円滑な運営を行うため、「宇治市学校支援チーム」の設置並びに顧問弁護士及びスクールソーシャルワーカーを配置したことにより、学校現場で起こる解決困難な問題等に対して、専門的、組織的な支援を行うことができた。問題事案は増加傾向にあるため、今後も効果的な学校支援の方法を検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	5,482千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	<p>少年補導委員として120人を委嘱し、毎月の校区補導、特別ブロック補導、県祭りでの全体補導、パネル展、地域懇談会、社会環境調査、浄化活動などを実施した。</p> <p>啓発パネル展 2回開催 (7月1日～7月8日、11月1日～11月11日) 地域懇談会(校区の小・中学校及び育友会・PTAと共催) 9中学校区で開催 (1中学校区は警報発令のため中止)</p>		
事業評価	地域住民を主体とする警察と連携した活動を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組んだ。各種団体との連携を図る中で、活動の維持、活性化に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	880千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを発表し、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、「第35回宇治市『中学生の主張』大会」を開催した。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>開催日 11月12日 開催場所 宇治市文化センター大ホール 発表者数 中学生11人 参加者数 582人</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  </div> </div>		
事業評価	中学生が学校及び家庭・地域での生活の中で、考え、悩み、求めていることを発表することにより、同世代の青少年が学び合うとともに、市民全般の中学生に対する理解と認識を深めることができた。一般市民の参加者の増加に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課
		決算額	2,491千円
事業内容	<p>青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。</p>		
成果・実績	<p>市内団体で組織されている青少年健全育成協議会の活動に対し支援を行った。また、次世代の地域活動を担う人材育成のため、ジュニアリーダーの養成学習会を府立青少年海洋センター（マリーンピア）で行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>青少年健全育成協議会補助金 1,500千円</p> <p>ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会 960千円</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>		
事業評価	<p>各種関係団体が連携しながら、活動を実施したことにより、青少年の健全育成を図ることができた。中・高校生を中心としたジュニアリーダー活動をより活性化するために、活動の内容及び広報の充実に努める必要がある。</p>		

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	教育支援課																
		決算額	9,730千円																
事業内容	<p>児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備、保護者に対する啓発などを行う。また、「いじめ防止月間」を設定し、いじめ防止の取組を強化する。</p>																		
成果・実績	<p>生徒指導の研究及び保護者への啓発を行うとともに、児童・生徒の問題行動に対し適切な指導を行うため、教職員に対して事例研究セミナー等を開催した。11月を「いじめ防止月間」として設定し、いじめ防止のための啓発活動を実施した。また、平成28年度は不登校児童・生徒を支援するモデル事業を府より受託し、コーディネーター、支援員及びSSWによる学校訪問により不登校児童・生徒の支援を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">問題行動</td> <td style="width: 15%;">延べ指導人数</td> <td style="width: 15%;">小学校</td> <td style="width: 55%;">578人（前年比 8人減）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>915人（前年比 37人増）</td> </tr> <tr> <td>不登校</td> <td>人数</td> <td>小学校</td> <td>74人（前年比 10人減）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>151人（前年比 50人減）</td> </tr> </table>			問題行動	延べ指導人数	小学校	578人（前年比 8人減）			中学校	915人（前年比 37人増）	不登校	人数	小学校	74人（前年比 10人減）			中学校	151人（前年比 50人減）
問題行動	延べ指導人数	小学校	578人（前年比 8人減）																
		中学校	915人（前年比 37人増）																
不登校	人数	小学校	74人（前年比 10人減）																
		中学校	151人（前年比 50人減）																
事業評価	<p>生徒指導の研究及び保護者への啓発などを実施したことにより、適切な生徒指導に努めることができた。今後は、複雑多様化する不登校問題に対応するため、モデル事業の効果を検証し、不登校対策全体の取組を整理する必要がある。</p>																		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	


事務事業名	適応指導教室運営費	所管課	教育支援課																	
		決算額	8,240千円																	
事業内容	不登校の児童・生徒が学校生活及び社会生活に適応できるように、教室を開設し、小集団による援助・指導を行う。																			
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて適応指導教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、学校復帰へ向けて支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">在籍児童・生徒数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">13人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td style="text-align: right;">5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分登校</td> <td style="text-align: right;">2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>好転</td> <td style="text-align: right;">5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変化なし</td> <td style="text-align: right;">1人</td> <td></td> </tr> </table>			在籍児童・生徒数		13人		改善状況	学校復帰	5人		部分登校	2人		好転	5人		変化なし	1人	
在籍児童・生徒数		13人																		
改善状況	学校復帰	5人																		
	部分登校	2人																		
	好転	5人																		
	変化なし	1人																		
事業評価	適応指導教室を通して支援・指導を行うことにより、児童・生徒の学校・社会生活への適応を促進することができた。複合した要因を持つ不登校児童・生徒が増加傾向にあり、学校及び関係機関との連携を強化する中で、効果的な教室運営に努める必要がある。																			

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	教育支援課				
		決算額	3,347千円				
事業内容	問題行動及び不登校の未然防止を図るため、児童・生徒が身近に感じられる兄姉的な若い世代の相談員を配置し、いつでも気軽に相談できる環境をつくる。						
成果・実績	<p>別室登校及び不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。小学生の不登校増加に伴い、平成26年度は2小学校に、平成27年度からは4小学校に拡充し、計17名派遣した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">対応延べ人数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">2,166人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>			対応延べ人数		2,166人	
対応延べ人数		2,166人					
事業評価	児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員を配置したことにより、家庭・学校・関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図ることができた。事業効果の分析に取り組む中で、今後も相談員となる人材の確保に努める必要がある。						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系			所管部局												
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち		教育部												
中分類	01 学校教育の充実														
小分類	03 総合的に進める教育の充実														
事務事業名	メンタルフレンド推進事業費		所管課	教育支援課											
			決算額	1,178千円											
事業内容	家庭に引きこもった状態の不登校児童・生徒宅へ学生ボランティアを派遣し、心のふれあいを通して学校復帰へのきっかけをつくる。														
成果・実績	<p>学生ボランティアが不登校、引きこもり状態の児童・生徒（小学校3年生～中学校3年生）の家庭を定期的に訪問し、「よき友」「よき兄妹」として寄り添いながら、生活に密着した相談活動を行い、学校生活への復帰を支援した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">派遣家庭児童・生徒数</td> <td style="text-align: right;">8人</td> </tr> <tr> <td>改善状況</td> <td>学校復帰 0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>部分登校 7人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>好転 1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>変化なし 0人</td> </tr> </table>					派遣家庭児童・生徒数	8人	改善状況	学校復帰 0人		部分登校 7人		好転 1人		変化なし 0人
派遣家庭児童・生徒数	8人														
改善状況	学校復帰 0人														
	部分登校 7人														
	好転 1人														
	変化なし 0人														
事業評価	児童・生徒に寄り添った相談を実施したことにより、学校復帰へのきっかけとすることができた。今後も学校と連携し、訪問対象家庭への働きかけを強化するなど、学校復帰に向けて効果的な支援に努める必要がある。														

総合計画の体系			所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち		教育部	
中分類	02 生涯学習の充実			
小分類	01 生涯学習の推進			

			所管課	教育支援課																
事務事業名	放課後子ども教室支援事業費		決算額	3,064千円																
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習及びスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。																			
成果・実績	<p>遊び及び学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターの派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%;">推進組織</td> <td style="width: 35%;">北楨つながりプロジェクト</td> <td style="width: 50%;">笠二っ子クラブ</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>北楨島小学校</td> <td>笠取第二小学校</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>5月7日～29年3月1日</td> <td>4月1日～29年3月30日</td> </tr> <tr> <td>開催日数</td> <td>23日</td> <td>168日</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>延べ1,393人</td> <td>延べ1,351人</td> </tr> </table> <div style="float: right; text-align: center;">  </div>					推進組織	北楨つながりプロジェクト	笠二っ子クラブ	開催場所	北楨島小学校	笠取第二小学校	開催期間	5月7日～29年3月1日	4月1日～29年3月30日	開催日数	23日	168日	参加人数	延べ1,393人	延べ1,351人
推進組織	北楨つながりプロジェクト	笠二っ子クラブ																		
開催場所	北楨島小学校	笠取第二小学校																		
開催期間	5月7日～29年3月1日	4月1日～29年3月30日																		
開催日数	23日	168日																		
参加人数	延べ1,393人	延べ1,351人																		
事業評価	放課後を活用した遊びと学びの場を提供することにより、子どもを地域で育てる社会教育の環境づくりを推進することができた。教室を持続的に運営するための地域の安定した協力体制の構築等が課題であり、人材の確保等を検討する必要がある。																			

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	企画展示費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	2,999千円
事業内容	<p>話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館藏品のみではなく、他館及び関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p> <p>様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介する展示を行った。</p> <p>源氏物語 かさねの色目 ―宇治十帖の世界― 平成28年2月18日～4月17日 染織史家吉岡幸雄さんが再現した『源氏物語』「かさねの色目」から、宇治十帖シリーズを中心に展示した。</p> <p>宇治市歴史資料館合同企画 なんといいってもお茶は宇治 4月21日～6月26日 宇治茶の歴史及び製法などについて紹介した。歴史資料館職員によるギャラリートークも実施した。</p> <p>源氏ワンダーランド ―平安時代の人々とくらし― 6月29日～9月11日 夏休み期間にあわせた小・中学生向けの企画展で、『源氏物語』が描かれた平安時代、平安京で暮らす貴族たちの生活に注目した。関連事業として、館長からの招待状を配布、源氏探検、ギャラリートークを実施した。</p> <p>源氏物語の音楽 9月14日～11月27日 『源氏物語』の中に描かれる雅楽、舞楽及び楽器を紹介した。京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授の田鍬智志さんに再現演奏を依頼し、音源を編集した映像を上映するとともに、演奏の実演も盛り込んだギャラリートークを実施した。</p> <p>超絶技巧！銅版画の世界 ―描かれた京都― 11月30日～平成29年2月12日 銅版画は銅板に直接針で線刻し印刷したもので、細かい描写が可能になり、幕末から明治時代に流行した。銅版画に描かれる京都の名所を紹介した。</p> <p>江戸時代の源氏物語 ―見立てとやつし― 平成29年2月15日～4月23日 江戸時代に出版され、人気を博した『修紫田舎源氏』をはじめ、往来物、錦絵、双六などを通して、豊かな源氏文化を紹介した。ギャラリートークも実施した。</p>		
成果・実績			
事業評価	<p>毎回テーマを工夫した話題性のある企画展の開催により、観覧者に満足度の高い展示を提供することができた。今後も、他施設等と連携を図り、魅力ある企画展を開催するとともに、積極的な広報を実施し、リピーターを含む入館者の増加に努める必要がある。</p>		



平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	1,150千円
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	旅行情報誌等、計5誌に当館の広告を掲載した。広告には観覧料の割引を付けるなど、来館者増加に向けて、積極的に周知・PRを行った。引き続き関東地方の鉄道会社設置のフリーペーパーを用いた広報を行い、関東方面からの誘客を図るほか、英文情報誌を2誌に拡大し、外国人観光客に向けた広報を強化した。		
事業評価	旅行雑誌等への広告掲載を中心とした広報活動及び関東地方の鉄道会社設置のフリーペーパーを用いた広報を引き続き行うとともに、近年増加している外国人観光客に向けた広報を強化した。今後も国内外の観光客の誘致を図り、入館者の確保に努める必要がある。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	536千円
事業内容	源氏物語及び平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会及び講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧し、源氏物語及び平安時代の文化について、興味及び関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
成果・実績	<p>連続講座、源氏物語セミナーは、最新の研究を織り交ぜた講義により、深く学べる場を提供した。新たに子ども体験型教室を年間を通して開催した。また「かるた教室」は事業内容を見直し、ワークショップを取り入れて開催した。さらに参加・体験型事業では落語を取り上げ、古典の魅力、広がりについて紹介した。</p> <p>連続講座「橋をめぐる物語 ―宇治橋・かけ橋・夢浮橋―」（全10回） 5月～平成29年3月 参加者数 延べ867人 （ただし第10回は講師の都合により中止。）</p> <p>入門講座「宇治ワンダーランド ―虚と実の連鎖―」（全8回） 6月～平成29年2月 参加者数 延べ806人</p> <p>子ども体験型教室「しかぞすむ ―生きるいろはを源氏でも―」（全6回） 5月～平成29年2月 参加者数 延べ53人</p> <p>源氏物語セミナー「声にだして楽しむ『源氏物語』」 10月15日 参加者数 119人</p> <p>かるた教室「ことばと表現 ―伝えるカルタ教室―」 平成29年1月29日 参加者数 20人</p> <p>源氏 DE 落語 落語と小倉百人一首 平成29年3月19日 参加者数 59人</p>		
事業評価	子どもから大人まで幅広い世代が参加・体験できる講座等を実施し、多くの学習機会を提供したことにより、源氏物語及び平安時代の文化への理解を深めることができた。今後も、多様な事業を展開することにより、新たな参加者の獲得に努める必要がある。		



平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	4,968千円
事業内容	国内外の多くの来館者が、源氏物語と平安時代の文化に親しめる施設として、施設全体の充実を目指し、開館20周年の平成30年にリニューアルをする。		
成果・実績	「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本構想」、「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本設計」を策定した。		
事業評価	源氏物語ミュージアムリニューアルの基本構想及び基本設計を策定した。今後は、「観光」と「生涯学習」の拠点として再整備を行い、新規来館・再来館者の増加を目指し引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	1,883千円

事業内容 宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センター及び公民館などで、市民のライフステージに対応した講座・事業を実施し、学習の機会を提供する。

各種講座を実施し、学習機会の確保と学習情報提供の充実など生涯学習を推進した。

社会・時代の変化に対応する講座

事業名	回数	参加人数
環境講座「里山の科学～里山林の有効活用～」	3	76
安心Myコミュニティのための防災減災	3	65
インターネットを使用した講座 人とどう向き合うか?	1	-
近現代史を学ぶ 「戦争はなぜ起きるのか」	3	129
暮らしに役立つ金融経済講座	1	90

青少年を対象とする講座・事業

事業名	回数	参加人数
こどもスポーツチャンバラ道場	5	59
夏休み子ども★わくわくフェア (2日間)	1	2,493
小学生のための講座「理科出前実験教室」	5	84
自分リサーチ講座	2	14

成果・実績



近現代史を学ぶ 「戦争はなぜ起きるのか」



夏休み子ども★わくわくフェア

教養講座

事業名	回数	参加人数
国際交流講座「こんにちは！AETです」	1	14
古典に親しむ講座「万葉集の味わい方」	3	174
日本の城郭講座	3	223
生物の不思議講座「イルカの不思議」	3	43

映画鑑賞事業

事業名	回数	参加人数
文化庁優秀映画鑑賞推進事業 (2日間)	1	169
第19回バリアフリー映画上映会「殿、利息でござる！」	1	370

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	1,883千円

成果・実績	生涯学習団体等の育成・人材養成と活用		
	事業名	回数	参加人数
	センター協力者・グループ交流会	1	22
	ロビー展 ミニ講習会	10	161
	うじ市民活動サポート事業（9事業）	16	790
	ファシリテーション入門講座	4	95
	はじめよう！セカンドライフ	6	91
	Uji★手づくり市	6	101
	孫育て・子育て講座	3	150
	家庭の教育力向上のための講座		
事業名	回数	参加人数	
おやこっこらんど	12	757	
中学生の福祉体験事業の受け入れ	1	10	
小学生の親のための講座「宇治茶の魅力を発見！」	2	23	
思春期講座「思春期の子どもの心と身体のケア」	2	56	



ファシリテーション入門講座



小学生の親のための講座

事業評価	講座等を開催することにより、市民の生涯学習の充実、地域での市民交流、地域で活動する人材の育成を図ることができた。今後も引き続き、市民ニーズの把握・分析に努め、市民が主体的に生涯学習に取り組む機会となるように努める必要がある。
------	--

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局													
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部													
中分類	02 生涯学習の充実														
小分類	01 生涯学習の推進														
事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	生涯学習センター												
		決算額	150千円												
事業内容	<p>高齢者が学び及び活動の成果を、豊かな暮らしの創造及び新しい地域づくりに活かすこと、また、若年者が学び及び活動の成果を、高齢者の豊かな暮らしの創造及び世代間交流などを目指した新しい地域づくりに活かすことを目的として、すでに自主活動に取り組んでいる団体が新しい活動を展開していくための支援を行った。</p>														
成果・実績	<p style="text-align: center;">平成28年度採択事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">団体名</th> <th style="width: 15%;">支援金</th> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 20%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わいわいTRY塾</td> <td style="text-align: center;">5万円</td> <td>おしゃべりサロン150回記念イベント</td> <td style="text-align: center;">170</td> </tr> <tr> <td>宇治市民大学運営スタッフ会</td> <td style="text-align: center;">10万円</td> <td>村井康彦著『平等院創建と浄土思想 王朝貴族の夢』（小冊子）刊行事業</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>			団体名	支援金	内容	参加者数	わいわいTRY塾	5万円	おしゃべりサロン150回記念イベント	170	宇治市民大学運営スタッフ会	10万円	村井康彦著『平等院創建と浄土思想 王朝貴族の夢』（小冊子）刊行事業	—
団体名	支援金	内容	参加者数												
わいわいTRY塾	5万円	おしゃべりサロン150回記念イベント	170												
宇治市民大学運営スタッフ会	10万円	村井康彦著『平等院創建と浄土思想 王朝貴族の夢』（小冊子）刊行事業	—												
事業評価	<p>新たな高齢者活動の事業を企画、実施する団体を支援することにより、高齢者の生きがいがづくりと参加者同士の交流を図ることができた。平成28年度までのモデル事業であり、今後は、事業効果を検証しつつ、自主的な活動を促進し、生涯学習グループの活性化及び多世代交流に努める必要がある。</p>														

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	21,963千円

事業内容	地域の情報拠点として、多様化し高度化する市民の生涯学習を支えるとともに読書活動を支援し、また、地域課題の解決支援及び情報提供などの利用者ニーズに応えるため、図書、雑誌、新聞をはじめ、郷土資料及び行政資料などを幅広く収集することにより、利用者に資料・情報を提供する。
-------------	--

成果・実績	◎中央図書館資料提供費 13,375千円 ◎東宇治図書館資料提供費 4,294千円 ◎西宇治図書館資料提供費 4,294千円				
	◎資料数				
	館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)
	中央図書館	5,322	186,427	85	11
	東宇治図書館	2,316	64,052	48	9
	西宇治図書館	2,536	72,552	48	9
	合計	10,174	323,031	181	29
	◎利用状況				
	館名等	貸出点数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率 (%)
	中央図書館	393,722	94,491	76,640	40.1
東宇治図書館	194,802	47,642			
西宇治図書館	213,647	54,873			
団体貸出	6,822	-			
	合計	808,993			
◎団体貸出					
16団体（地域文庫・家庭文庫、笠取地区、青少年センター）に、5,349冊の貸出を行った。					
22団体（幼稚園、小・中学校）に、1,473冊の貸出を行った。					
◎予約配本サービス					
図書館から遠い地域の利用者へのサービス向上のため、予約図書を週1回、4月21日から新設した男女共同参画支援センターを含めて計6カ所の配本所に搬送し、15,718冊の貸出を行った。					
◎資料の活用（リサイクル事業：年1回）					
図書館資料の有効活用を図るため「リサイクル市」を10月9日に開催し、除籍した図書及び保存期限の過ぎた雑誌などを市民に提供した。					
リサイクルした冊数 6,971冊					

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	21,963千円

成果・実績	<p>読書の普及に向けて下記の取組を実施した。</p> <p>◎図書展示</p> <p>成人書 中央図書館：「そうだ！京都を読もう」ほか12回 東宇治図書館：「本に出会う本」ほか13回 西宇治図書館：「オトナ旅 ゆったりのんびり」ほか11回</p> <p>児童書 中央図書館：「赤ちゃんはコレ！」ほか15回 東宇治図書館：「えほんでしんりんよく」ほか12回 西宇治図書館：「はる！ワクワク！」ほか10回</p> <p>◎読書推進事業</p> <p>読書活動推進のため、季節や読書週間にあわせた企画事業（夏休み行事、クリスマス会、工作教室、講演会、朗読会など）を実施した。</p> <p>中央図書館：読書週間記念講演会「秀吉の野望と太閤堤」ほか14回 延べ参加者734人 東宇治図書館：冬の読書推進事業講演会「豊臣秀吉と宇治の景観」ほか9回 延べ参加者360人 西宇治図書館：読書推進講座「火伏せの神・愛宕さんと秋葉さん」ほか6回 延べ参加者429人</p> <p>◎おはなしかい（出張おはなし会を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>19</td> <td>399</td> <td rowspan="3">絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサートなど</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>29</td> <td>425</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>11</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎学校等連携</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">館名</th> <th colspan="2">図書館見学 (小学校・幼稚園等)</th> <th colspan="2">中学生の 職場体験学習</th> </tr> <tr> <th>学校等数 (校・園)</th> <th>参加者数</th> <th>学校数 (校)</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>9</td> <td>800</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>5</td> <td>487</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>5</td> <td>348</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	19	399	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサートなど	東宇治図書館	29	425	西宇治図書館	11	66	館名	図書館見学 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習		学校等数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数	中央図書館	9	800	5	10	東宇治図書館	5	487	3	6	西宇治図書館	5	348	4	8
	館名	回数	参加者数	内容																																			
中央図書館	19	399	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサートなど																																				
東宇治図書館	29	425																																					
西宇治図書館	11	66																																					
館名	図書館見学 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習																																				
	学校等数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数																																			
中央図書館	9	800	5	10																																			
東宇治図書館	5	487	3	6																																			
西宇治図書館	5	348	4	8																																			
事業評価	<p>幅広い資料の収集等の取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の生涯学習を促進することができた。今後も、運営・整備手法を検討しながら、多様なニーズへの対応に努める必要がある。</p>																																						


平成28年度決算成果説明書

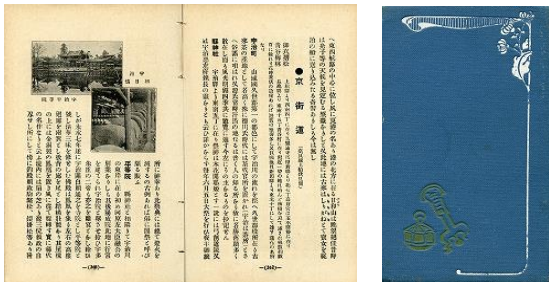
総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	図書館事業計画策定費	所管課	中央図書館
		決算額	195千円
事業内容	<p>「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、利用者や社会の多様化したニーズに対応するため（仮称）宇治市図書館事業計画を策定する。 平成28年度は、計画策定の基礎資料とするため図書館市民ニーズ調査及び利用者アンケートを実施した。</p>		
成果・実績	<p>◎図書館市民ニーズ調査 実施期間：6月25日から7月15日まで 調査対象：満18歳以上の市民2,000人（無作為抽出） 調査方法：郵送による無記名アンケート方式 回収結果：有効回答数801件</p> <p>◎利用者アンケート 実施期間：11月16日から12月11日まで 調査対象：中央、東宇治、西宇治図書館の概ね18歳以上の来館者 調査方法：館内配付による無記名アンケート方式 回収結果：有効回答数1,402件</p>		
事業評価	<p>図書館市民ニーズ調査及び利用者アンケートを実施したほか、開館時間の延長を施行した結果、的確な市民ニーズを把握することができ、（仮称）宇治市図書館事業計画策定に係る基礎資料を収集することができた。今後も市民ニーズの把握に努める中、計画策定を目指し引き続き実施する。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	


事務事業名	資料調査整理費	所管課	歴史資料館
		決算額	227千円
事業内容	本市関係歴史資料について、旧家及び社寺、博物館などが所蔵する資料の調査を行い、データの充実を図るとともに、収蔵資料調査報告書により成果を広く公開する。		
成果・実績	<p>本市関係歴史資料を調査し、資料の収集を行い、当館が所蔵する宇治茶関係民具資料の調査成果をまとめた「収蔵資料調査報告書19 宇治茶の民具」を刊行した。</p> <p>収蔵資料調査報告書発行数 400部</p> <div style="text-align: right;">  <p>「収蔵資料調査報告書19 宇治茶の民具」</p> </div>		
事業評価	歴史資料の調査を行い、その結果を報告書としてまとめ、刊行したことにより、本市の歴史・文化を広く公開することができ、市民の生涯学習の促進を図ることができた。今後も引き続き実施する。		

事務事業名	資料収集保存費	所管課	歴史資料館
		決算額	458千円
事業内容	資料を購入して充実を図るとともに、これらをより良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸及び収蔵庫の環境維持に努める。		
成果・実績	<p>本市関係歴史資料として下記の資料等を購入した。</p> <p>主な購入資料 山城宇治図 西部鉄道管理局線名勝遊覧案内 鉄道院所属路線図ポスター</p> <div style="text-align: right;">  <p>「西部鉄道管理局線名勝遊覧案内」表紙と奈良線部分</p> </div>		
事業評価	資料の収集及び保存・管理を適切に行うことにより、資料館に留まらず、他館への貸出等、広く活用を図ることができた。今後も資料の充実・保管・整理に努めていくとともに、活用を図っていく必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及

所管部局
教育部

事務事業名	特別展示費	所管課	歴史資料館
		決算額	1,768千円
事業内容	本市の歴史に関する多様なテーマについて、調査・研究成果を市民に還元し、後世に伝えるため、展示、図録刊行、講演会開催を実施する。テーマは、その年に相応しい時宜を得たものを心掛け、原物資料、写真パネル・映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努める。		
成果・実績	<p>特別展を開催するとともに、図録を刊行し、講演会を開催した。</p> <p>展覧会名 「JR奈良線120年 進め!!奈良鉄道」 会期 10月1日～11月20日 入場者数 2,483人</p> <p>講演会「近代日本の旅行文化と宇治」 講師 高木博志（京都大学教授） 開催日時 11月11日 参加人数 93人</p>  <p>展覧会チラシ</p>		
事業評価	時宜に合った関心の高いテーマを取り上げた展覧会及び講演会を実施したことにより、市民が歴史資料に親しむ機会を提供し、宇治の歴史について理解を深めることができた。今後も引き続き、工夫を凝らした話題性の高い展示を実施し、積極的な広報を図っていく必要がある。		


事務事業名	企画展示費	所管課	歴史資料館															
		決算額	168千円															
事業内容	開館以来収集してきた資料を活用した企画展を開催する。多種多様な収蔵資料をテーマごとに精選して、市民が宇治の歴史及び文化を身近に感じられる内容とする。また、写真展等市民参加型の展覧会も開催する。																	
成果・実績	<p>宇治の歴史及び文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、展覧会を開催した。なお、戦争遺品展は本市平和都市推進協議会の主催、当館の共催事業である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>展覧会名</th> <th>会期</th> <th>目録配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵はがき大流行－100年前の風景－</td> <td>5月14日～6月26日</td> <td>468</td> </tr> <tr> <td>夏のおもひで。－暮らしの道具とおぐら池－ 「国民学校の日（戦争遺品展）」</td> <td>7月16日～9月11日</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>ちょっと昔の街と暮らし－キモノから洋服へ－</td> <td>12月3日～29年2月5日</td> <td>477</td> </tr> <tr> <td>ひな人形と五月人形</td> <td>29年2月25日～4月23日</td> <td>790</td> </tr> </tbody> </table> <p>入場者推計：11,000人</p>			展覧会名	会期	目録配布数	絵はがき大流行－100年前の風景－	5月14日～6月26日	468	夏のおもひで。－暮らしの道具とおぐら池－ 「国民学校の日（戦争遺品展）」	7月16日～9月11日	325	ちょっと昔の街と暮らし－キモノから洋服へ－	12月3日～29年2月5日	477	ひな人形と五月人形	29年2月25日～4月23日	790
展覧会名	会期	目録配布数																
絵はがき大流行－100年前の風景－	5月14日～6月26日	468																
夏のおもひで。－暮らしの道具とおぐら池－ 「国民学校の日（戦争遺品展）」	7月16日～9月11日	325																
ちょっと昔の街と暮らし－キモノから洋服へ－	12月3日～29年2月5日	477																
ひな人形と五月人形	29年2月25日～4月23日	790																
事業評価	市民が宇治の歴史及び文化を身近に感じられるテーマを選び、展示を実施したことにより、市民の生涯学習の促進を図ることができた。今後も様々な角度から市民に親しまれるテーマを設定し、内容の充実に努めながら、引き続き実施する。																	

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部	
中分類	02 生涯学習の充実		
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及		




事務事業名	教育普及活動費	所管課	歴史資料館																			
		決算額	113千円																			
事業内容	歴史講座、古文書講習会を開催し、調査・研究成果を広く公開する。講師は、他の博物館及び大学などからも迎えて市民の歴史研究に資するとともに、博物館活動への理解を深める。																					
成果・実績	歴史講座2回と古文書講習会を開催し、あわせて延べ308人の参加があった。																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種別</th> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 35%;">テーマ</th> <th style="width: 15%;">講師</th> <th style="width: 20%;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">歴史講座</td> <td>10月12日</td> <td>進め!!奈良鉄道－展示解説</td> <td>館員</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>10月27日</td> <td>奈良鉄道と関西鉄道 －明治期関西鉄道網の形成－</td> <td>三木理史 (奈良大学教授)</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>古文書講習会</td> <td>12月13・20日、29年1月11・13日</td> <td>宇治郷留日記をよむ</td> <td>館員</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table>			種別	開催日	テーマ	講師	参加者	歴史講座	10月12日	進め!!奈良鉄道－展示解説	館員	84	10月27日	奈良鉄道と関西鉄道 －明治期関西鉄道網の形成－	三木理史 (奈良大学教授)	126	古文書講習会	12月13・20日、29年1月11・13日	宇治郷留日記をよむ	館員	98
種別	開催日	テーマ	講師	参加者																		
歴史講座	10月12日	進め!!奈良鉄道－展示解説	館員	84																		
	10月27日	奈良鉄道と関西鉄道 －明治期関西鉄道網の形成－	三木理史 (奈良大学教授)	126																		
古文書講習会	12月13・20日、29年1月11・13日	宇治郷留日記をよむ	館員	98																		
事業評価	各講座を開催することにより、市民が宇治の歴史と文化について理解を深めることができた。今後も多くの学習機会の提供に努める必要がある。																					

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部	
中分類	02 生涯学習の充実		
小分類	01 生涯学習の推進		
事務事業名	大久保青少年センター活動費	所管課	大久保青少年センター
		決算額	1,928千円
事業内容	青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性及び協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツなどの活動事業を実施する。また、各種教室・催し物の開催及びこどもクラブでの活動の育成指導を行う。		
成果・実績	<p>子どもたちの参加意識が高くなっており、目的をもったのびのびと主体的に活動する場面が多くなった。また学校、学年、地域を越えて友達関係の輪が、さらに広がってきた。</p> <p>◎教室・各種事業 実施回数 57回 参加者数 2,394人</p> <p>◎こどもクラブ 実施回数 156回 参加者数 2,774人</p> <div style="text-align: center;">  <p>こどもクラブ（科学クラブ）の実験風景</p> </div>		
事業評価	各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図ることができた。事業内容を工夫し、参加者の増加に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	


事務事業名	消防団活動費	所管課	消防総務課																
		決算額	37,630千円																
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修などを逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎消防団員の報酬</td> <td style="width: 15%;">378人</td> <td style="width: 15%;">12,852千円</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;"></td> </tr> <tr> <td>◎消防団員退職報償金</td> <td>9人</td> <td>2,449千円</td> </tr> <tr> <td>◎出場費用弁償</td> <td>延べ5,383人</td> <td>8,622千円</td> </tr> <tr> <td>◎消防団資機材（消防団用消防ホース等）購入</td> <td></td> <td>157千円</td> </tr> <tr> <td>◎京都府消防協会宇城久支部負担金等</td> <td></td> <td>659千円</td> </tr> </table>			◎消防団員の報酬	378人	12,852千円		◎消防団員退職報償金	9人	2,449千円	◎出場費用弁償	延べ5,383人	8,622千円	◎消防団資機材（消防団用消防ホース等）購入		157千円	◎京都府消防協会宇城久支部負担金等		659千円
◎消防団員の報酬	378人	12,852千円																	
◎消防団員退職報償金	9人	2,449千円																	
◎出場費用弁償	延べ5,383人	8,622千円																	
◎消防団資機材（消防団用消防ホース等）購入		157千円																	
◎京都府消防協会宇城久支部負担金等		659千円																	
事業評価	消防団によるきめ細やかな予防活動・啓発活動を実施し、地域一体となった安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、消防団員の確保等による消防団活動の活性化に努める必要がある。																		

事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課																												
		決算額	3,538千円																												
事業内容	全国消防長会のほか、総務省消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">研修実績（主なもの）</td> </tr> <tr> <td style="width: 40%; text-align: center;">研修名</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">場所</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">期間</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">人数</td> </tr> <tr> <td>初任教育</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>123日</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>専科教育（救急科、救助科、警防科）</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>66日</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>専科教育 （危険物科、予防査察科、特殊災害科、火災調査科）</td> <td>京都市消防学校</td> <td>32日</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>消防大学校（新任消防長・学校長科、幹部科）</td> <td>消防大学校</td> <td>43日</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>近畿救急医学会</td> <td>大阪府・京都府・奈良県</td> <td>4日</td> <td>4人</td> </tr> </table>			研修実績（主なもの）				研修名	場所	期間	人数	初任教育	京都府立消防学校	123日	2人	専科教育（救急科、救助科、警防科）	京都府立消防学校	66日	4人	専科教育 （危険物科、予防査察科、特殊災害科、火災調査科）	京都市消防学校	32日	4人	消防大学校（新任消防長・学校長科、幹部科）	消防大学校	43日	2人	近畿救急医学会	大阪府・京都府・奈良県	4日	4人
研修実績（主なもの）																															
研修名	場所	期間	人数																												
初任教育	京都府立消防学校	123日	2人																												
専科教育（救急科、救助科、警防科）	京都府立消防学校	66日	4人																												
専科教育 （危険物科、予防査察科、特殊災害科、火災調査科）	京都市消防学校	32日	4人																												
消防大学校（新任消防長・学校長科、幹部科）	消防大学校	43日	2人																												
近畿救急医学会	大阪府・京都府・奈良県	4日	4人																												
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講及び各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も複雑多様化、専門化している災害等に対応するため、計画的な職員の知識・技能の向上に努める必要がある。																														

平成 2 8 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	637千円
事業内容	<p>市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で住みよい災害に強いまちづくりを推進する。また、防火啓発チラシ等を配布することにより、市及び消防を身近なものとし、より相談しやすく親しみやすい環境づくりを目指す。</p>		
成果・実績	<p>事業所への防火啓発ポスター、消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本、市民への防火啓発リーフレットの作成配布などにより、火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。</p> <p>また、市民に訓練の重要性及び初期消火における消火器の有効性を認識してもらうため、町内会等の消火訓練に使用した消火器及び初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。</p>		
事業評価	<p>防火啓発ポスター及びリーフレットの作成配布などを実施したことにより、火災予防への意識高揚及び火災発生の防止効果につなげることができた。より効果的な事業内容の工夫に努めつつ、今後も引き続き実施する。</p>		

事務事業名	高度救急設備整備費	所管課	警防救急課				
		決算額	27,789千円				
事業内容	<p>プレホスピタルケア充実強化及び高度救急業務の推進を図るため、現在使用している救急車及び資機材の更新整備を行う。</p>						
成果・実績	<p>高度な救急救命処置を行うために必要な高規格救急車及び資機材の更新整備を行い東消防署へ配置した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <table style="border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">高規格救急車</td> <td>17,220千円</td> </tr> <tr> <td>高規格救急車用資機材</td> <td>10,562千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: center;">  <p>高規格救急車</p> </div> </div>			高規格救急車	17,220千円	高規格救急車用資機材	10,562千円
高規格救急車	17,220千円						
高規格救急車用資機材	10,562千円						
事業評価	<p>救急車及び資機材の整備更新により、市民生活の安全・安心の確保及び救急高度化の推進を図ることができた。計画的な整備更新を今後も引き続き実施する。</p>						

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	消防水利維持管理・拡充事業費	所管課	警防救急課
		決算額	4,742千円
事業内容	消火活動において、消防水利が有効に活用できるように維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消火栓等を新設し、消防水利の充実を図る。		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利等の維持管理、新設を行った。</p> <p>◎消火栓維持管理 消火栓維持管理として、炭山・菟道・広野町・五ヶ庄の各地区において、消火栓6基の維持管理に係る工事を行った。</p> <p>◎消防水利新設 消火栓新設工事実施計画分として、広野町地区において2基設置した。</p>		
事業評価	消火栓の補修・改修及び新設をしたことにより、消防水利を確保し、火災へ備えることができた。消防水利等の維持管理、拡充を今後も引き続き実施する。		


事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防救急課
		決算額	175,909千円
事業内容	老朽化している消防車両等を更新整備するとともに、災害活動時の安全管理対策につながる各種装備・機械器具について、軽量化・高機能化等を行う。		
成果・実績	<p>◎30m級はしご付消防自動車の更新整備業務 169,992千円</p> <p>◎消防用広報車の更新整備業務 1,901千円</p> <p>◎消防用ホース更新整備業務 消防用ホース85本の更新整備</p> <p>◎空気呼吸器本体及び面体の更新整備業務 空気呼吸器本体4基の更新整備 面体6基の更新整備</p>		
事業評価	各種装備・機械器具の更新により、被害の軽減及び隊員の安全管理を図ることができた。今後も引き続き必要な数量及び機能を精査する中で、計画的な消防機械器具の更新に努める必要がある。		



平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	専門職員養成費	所管課	警防救急課																
		決算額	6,307千円																
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																		
成果・実績	<p>救急救命士の新規養成2人と、処置拡大救急救命士として気管挿管認定2人及び平成26年度から開始の拡大2処置3人の養成を行い、救急高度化の充実・強化を図った。</p> <p>救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>場 所</th> <th>期 間</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7カ月</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内及び市外医療機関</td> <td>30症例</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>拡大2処置追加講習</td> <td>振興財団救急救命九州研修所</td> <td>10日</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	場 所	期 間	人数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	2人	気管挿管病院実習	市内及び市外医療機関	30症例	2人	拡大2処置追加講習	振興財団救急救命九州研修所	10日	3人
研修名	場 所	期 間	人数																
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	2人																
気管挿管病院実習	市内及び市外医療機関	30症例	2人																
拡大2処置追加講習	振興財団救急救命九州研修所	10日	3人																
事業評価	救急隊員の資質・技能を向上させることにより、救急高度化の充実・強化を図ることができた。今後も引き続き計画的な救急救命士の養成に努める必要がある。																		

事務事業名	AED整備費	所管課	警防救急課
		決算額	1,838千円
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。設置AEDと同型のAEDトレーナーを活用し、適切な取り扱いの習得に努める。		
成果・実績	<p>平成25年度において整備（5年間リース契約、平成30年度まで）し、市内公共施設87カ所に設置したAEDの維持管理を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>AED (自動体外式除細動器)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>AEDマーク</p> </div> </div>		
事業評価	AEDを設置し心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備し、救命率の向上を図ることができた。安全・安心なまちづくりのため、効果的、効率的な維持管理に努める必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局
		決算額	221千円
事業内容	議会を円滑に行うための改革を行う事業として、各常任委員会活動充実のための研修会及び市民に開かれた議会を目指し、本会議の全会議及び常任委員会の生中継と録画配信を行った。		
成果・実績	◎委員会研修 64千円 常任委員会の委員会活動充実のため研修会を行った。		
	委員会	研修内容	参加人数
	総務	京都・宇治を襲う内陸地震	35
	建設水道	宇治の景観保全について	21
	市民環境	なぜ、いま、ワークライフバランスか～経営学の視点から～	20
	文教福祉	子供の貧困問題について	46
	◎議会映像インターネット配信経費 156千円 録画映像アクセス数 5,804件		
事業評価	常任委員会活動充実のための研修会を実施したことにより、政策的課題の把握と分析に努めることができた。また本会議・常任委員会のインターネット配信により、市民に議会の情報をより広く発信できた。今後も引き続き、議会改革に取り組み開かれた議会を目指し、さらなる議会運営の活性化に努める必要がある。		

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	4,534千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
成果・実績	◎議会だより発行経費 4,047千円		
		発行回数	4回
		発行部数	81,800部/回
	◎市政概要発行経費 312千円		
		発行回数	1回
	発行部数	250部	
事業評価	議会だよりを各戸配布したことにより、全市民へ議会の情報を発信することができた。今後も市民の議会への関心を高めるため、情報発信のあり方について検討する必要がある。		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	24千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、「市政を見る会」の開催をはじめ、啓発ポスター・標語の募集、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>また、模擬投票の実施を通じて、主に若年層に対する啓発を行った。</p>		
事業評価	各種啓発活動等を行ったことにより、投票率の向上に取り組んだ。特に若年層の投票を促進できるような啓発活動を引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	参議院議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	46,193千円																
事業内容	任期満了に伴う参議院議員通常選挙を執行する。																		
成果・実績	<p>7月10日に第24回参議院議員通常選挙を執行した。</p> <p>執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: center;">74,739</td> <td style="text-align: center;">39,678</td> <td style="text-align: center;">53.09%</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: center;">81,325</td> <td style="text-align: center;">41,125</td> <td style="text-align: center;">50.57%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">156,064</td> <td style="text-align: center;">80,803</td> <td style="text-align: center;">51.78%</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率	男	74,739	39,678	53.09%	女	81,325	41,125	50.57%	合計	156,064	80,803	51.78%
	当日の有権者数	投票者数	投票率																
男	74,739	39,678	53.09%																
女	81,325	41,125	50.57%																
合計	156,064	80,803	51.78%																
事業評価	今後も迅速・正確な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	市長選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	43,093千円																
事業内容	任期満了に伴う市長選挙を執行する。																		
成果・実績	12月11日に市長選挙を執行した。 執行状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">73,909</td> <td style="text-align: right;">27,096</td> <td style="text-align: right;">36.66%</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">80,541</td> <td style="text-align: right;">28,573</td> <td style="text-align: right;">35.48%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">154,450</td> <td style="text-align: right;">55,669</td> <td style="text-align: right;">36.04%</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率	男	73,909	27,096	36.66%	女	80,541	28,573	35.48%	合計	154,450	55,669	36.04%
	当日の有権者数	投票者数	投票率																
男	73,909	27,096	36.66%																
女	80,541	28,573	35.48%																
合計	154,450	55,669	36.04%																
事業評価	今後も迅速・正確な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																		

事務事業名	巨椋池土地改良区総代選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	192千円																
事業内容	任期満了に伴う巨椋池土地改良区総代選挙を執行する。																		
成果・実績	8月7日に巨椋池土地改良区総代選挙を執行する予定であったが、定数50に対して候補者が50人であったため、無投票で候補者全員が当選した。 執行状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">1,803</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">419</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,222</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率	男	1,803	-	-	女	419	-	-	合計	2,222	-	-
	当日の有権者数	投票者数	投票率																
男	1,803	-	-																
女	419	-	-																
合計	2,222	-	-																
事業評価	適正な選挙事務の執行に努めた。																		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	459千円
事業内容	<p>本市の行政及び財務に関する事務の執行並びに経営に係る事業の管理が地方自治法の主旨に沿ってなされているかを主眼に厳正、公平の態度保持と指導監査を第一義として、違法、不当行為の防止と事務事業の改善に資す。例月現金出納検査、定期監査、随時監査、決算審査などを行う。</p>		
成果・実績	<p>定期監査は、19課2室3事務局6館2校を抽出し実施した。 随時監査は、三室戸小学校校舎増築他工事を抽出し実施した。 例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。 決算審査は、一般会計・4特別会計・2公営企業会計及び基金運用状況について実施した。 住民監査請求による監査についても実施した。 健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。 また、全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の構成員として総会、研修会などに参加し、監査等の手法、内容の改善を図り、監査機能の充実、強化に努めた。</p>		
事業評価	<p>全国都市監査委員会総会及び研修会への参加等により、監査機能の向上を図り事務事業の指導監査を適正に行うことができた。</p>		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	423千円
事業内容	<p>地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の審査請求及び勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定などを行う。</p>		
成果・実績	<p>宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回開催し、職員団体登録事項変更に伴う審査等を行った。また、臨時会を4回開催し、公平委員会規則の一部改正の議決等を行った。 このほか、全国公平委員会連合会、同近畿支部の構成員として、総会、事務研究会などに参加したほか、京都府公平委員会連合会会長市として総会、事務研究会を開催し、公平委員会業務の推進に努めた。</p>		
事業評価	<p>全国公平委員会連合会総会及び研究会への参加等により、審査機能の向上を図り適正に審査を行うことができた。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	51千円
事業内容	<p>地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税義務者からの審査申出について審査、決定する。</p>		
成果・実績	<p>土地1件の審査申出を受け、委員会を7回開催した。 また、(一財)資産評価システム研究センターが主催する研修会に参加するとともに、事務局職員を講師として派遣し、審査委員会業務の推進に努めた。</p>		
事業評価	<p>審査申出について、適正に審査を行うことができた。また、研修会への参加等により固定資産税制度の現状と課題及び審査委員会の運営について見識を深めることができた。</p>		

平成28年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	その他
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	998千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、京都府国有農地等管理処分事業事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員会総会を12回開催し、農地法に基づく農地の権利移動及び転用などについての審議を行ったほか、租税特別措置法に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認などについて審議を行った。</p> <p>また、各部会等の活動及び研修会等を通じて、農地行政の適正な執行に努めた。</p> <p>一方、農業委員による農地利用状況調査を実施し、農政活動の中で関係機関との連携を図りながら、農地の適正管理を呼びかけるとともに、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応及び加入促進事業に取り組んだ。</p> <p>さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。</p>		
事業評価	農業委員会等に関する法律等に基づき、適正に農地行政経費を執行し、農地利用の審議及び農家への啓発などを図ることができた。今後も円滑な委員会運営に努める必要がある。		

用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,853,382	3,399,206	在 庫 用 品	1,545,824	
4,146,618	6,382,295	預 金	2,235,677	
	2,045,153	未 収 金	2,045,153	
	1,736,300	未 払 金	1,736,300	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	13,562,954	小 計	13,562,954	6,000,000
		払 出 差 益	499,329	499,329
		受 取 利 息	48	48
		雑 利 益		
		雑 損 失		
499,377	499,377	一般会計繰出金		
499,377	499,377	小 計	499,377	499,377
6,499,377	14,062,331	合 計	14,062,331	6,499,377